

The 67th National Convention of IPSJ
平成17年



第67回全国大会 大会案内 / プログラム

躍—新しい時代を切り拓く

2005.3.2 (水) ▶ 4 (金)

会場：電気通信大学

東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

《大会会期中》

Tel (080)5684-9822

Fax (0424)88-2412

《聴講参加費》(税込)

正会員3,000円 正会員(CD付)8,000円 非会員6,000円 学生無料

《講演論文集》(税込)

4冊セット(CD-ROM1枚付)	43,000円
分冊	9,000円
CD-ROM	7,000円



社団法人 情報処理学会

Information Processing Society of Japan
<http://www.ipsj.or.jp/>

第67回全国大会スポンサー

MATHEMATICAL
SYSTEMS INC.
株式会社 数理システム

とめ
有限会社 とめ研究所



日本パーソナルコンピュータ株式会社
日本パーソナルコンピュータ株式会社

HITACHI
Inspire the Next
株式会社 日立製作所

プログラム目次

会場案内図	1
電気通信大学キャンパス図	2
館内案内図	3
プログラム概要	7
講演論文集分類と内容	11
イベント企画	12
イベント企画概要	16
プログラム詳細	32

(第1分冊 アーキテクチャ)

4A 設計自動化技術 (2) (一般セッション)	32
6B プロセッサアーキテクチャ (2) (一般セッション)	32
1C システムデザインと運用法 (一般セッション)	32
2C OS 構成法とシステム評価 (一般セッション)	32
3C 組込み/携帯機器向けシステム (一般セッション)	32
6C 並列・分散システム (一般セッション)	32
1D 数値計算 (一般セッション)	32
2Q ハイパフォーマンズコンピューティング (学生セッション)	32
3ZA 設計自動化技術 (1) (学生セッション)	33
4ZA システムソフトウェア実現技術 (学生セッション)	33
1ZB プロセッサアーキテクチャ (1) (学生セッション)	33
2ZB 耐故障・自己適応型アーキテクチャ (学生セッション)	33
3ZB 特定用途向けアーキテクチャ (学生セッション)	33
4ZB メモリ・通信アーキテクチャと評価技術 (学生セッション)	33
5ZB 分散・並列ソフトウェア (学生セッション)	34
デモセッション	34

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

2F ソフトウェアプロセス (一般セッション)	34
3F プログラミング (一般セッション)	34
4F アルゴリズムとデータ構造 (一般セッション)	34
5F 開発・設計技法 (一般セッション)	34
1N アルゴリズムと最適化 (学生セッション)	34
2N 数理モデル化の理論と実践 (学生セッション)	35
3N ソフトウェア設計 (学生セッション)	35
4N プログラミング言語処理系 (学生セッション)	35
6N プログラミング支援 (学生セッション)	35
1S ソフトウェアの保守と検証 (学生セッション)	35
デモセッション	35

(第2分冊 人工知能と認知科学)

2G 情報検索・抽出 (一般セッション)	36
3G 音楽情報科学 (一般セッション)	36
4G 画像処理・色解析 (一般セッション)	36
5G 画像圧縮と画像DB (一般セッション)	36
6G 3次元画像解析・人物画像解析 (一般セッション)	36
1J 自然言語解析 (一般セッション)	36
2J 自然言語インタフェース・e-learning (一般セッション)	36
3J 学習・遺伝的アルゴリズム・人工生命 (一般セッション)	37
4J オントロジ・応用システム (一般セッション)	37
5J 要約・対話 (一般セッション)	37
1L 画像処理 (学生セッション)	37
2L 画像処理・認識 (学生セッション)	37
3L 3次元形状復元 (学生セッション)	37
4L 検出・追跡技術 (学生セッション)	37
5L 人物画像処理・インタフェースでの応用 (学生セッション)	37
6L ゲーム (学生セッション)	38
1M ヒューマノイドロボット (学生セッション)	38
2M 移動ロボット (学生セッション)	38

3M 学習・エージェントモデル (学生セッション)	38
4M ニューラルネットワーク (学生セッション)	38
5M 遺伝的アルゴリズム (学生セッション)	38
6M 情報検索・自然言語インタフェース (学生セッション)	39
1R オントロジ・知識ベース (学生セッション)	39
2R 人工生命 (学生セッション)	39
3R 音楽情報科学 (学生セッション)	39
4R 音声認識・対話 (学生セッション)	39
5R Web 情報抽出・文書検索・文書分類 (学生セッション)	39
6R Web・応用システム (学生セッション)	40
1ZA 自然言語解析・自動要約 (学生セッション)	40
デモセッション	40

(第3分冊 データベースとメディア)

1E メタデータ (一般セッション)	41
2E 情報検索技術 (一般セッション)	41
3E コンテンツ管理 (一般セッション)	41
1K データウェアハウス (一般セッション)	41
2K 画像DB (一般セッション)	41
3K XML (一般セッション)	41
4K データ発掘 (一般セッション)	41
5K 地理DB (一般セッション)	41
6K 情報流通 (一般セッション)	42
3Q Web 応用 (学生セッション)	42
4Q コンテンツの管理・認証システム (学生セッション)	42
5Q 情報検索技術 (学生セッション)	42
6Q Web を用いたコミュニケーション (学生セッション)	42
1U Web マイニング (学生セッション)	42
2U Blog (学生セッション)	43
3U 情報フィルタリング・推薦システム (学生セッション)	43
4U Web ページの検索 (学生セッション)	43
1W データ発掘 (学生セッション)	43
4W XML・地理DB (学生セッション)	43
デモセッション	43

(第3分冊 ネットワーク)

1A ネットワーク家電 (一般セッション)	43
2A ネットワークシステム (一般セッション)	44
3A ネットワークセキュリティ (3) (一般セッション)	44
6A モバイルネットワークアーキテクチャ (一般セッション)	44
1B ネットワークセキュリティ (1) (一般セッション)	44
2B ネットワークセキュリティ (2) (一般セッション)	44
3B ユビキタスコンピューティング (一般セッション)	44
4B センサネットワーク (一般セッション)	44
4C RFID (一般セッション)	45
5C ワイヤレスシステム (一般セッション)	45
2D 分散システム (一般セッション)	45
4E 位置情報 (一般セッション)	45
6F ITS (一般セッション)	45
6P 情報家電とホームネットワーク (学生セッション)	45
2S 分散・無線ネットワーク (学生セッション)	46
3S ロボネット・ネットワーク (学生セッション)	46
4S データ転送方式 (学生セッション)	46
5S センサネットワークとRFID (学生セッション)	46
6S モバイルネットワークと応用 (学生セッション)	46
1T グリッドコンピューティング (学生セッション)	46
2T マルチメディアネットワーク (学生セッション)	46
3T セキュリティ (ウイルス・攻撃解析) (学生セッション)	47
4T SIP・ビデオ通信 (学生セッション)	47
5T アドホック・ネットワーク (学生セッション)	47
6T ルーティング・パフォーマンス (学生セッション)	47
5U モバイル通信方式 (学生セッション)	47

6U	モバイルアプリケーション (2) (学生セッション)	47
2W	プライバシー・運用 (学生セッション)	48
3W	画像処理 (学生セッション)	48
5W	ネットワークセキュリティ (学生セッション)	48
6W	認証・分散セキュリティ (学生セッション)	48
5Z	モバイルアプリケーション (1) (学生セッション)	48
5ZA	ナビゲーションシステム (学生セッション)	48
6ZA	位置検出手法 (学生セッション)	48
	デモセッション	49

(第4分冊 インタフェース)

1H	仮想現実感 (一般セッション)	50
2H	感性情報処理 (一般セッション)	50
3H	コミュニケーションとインタフェース (一般セッション)	50
4H	マルチモーダルインタフェース (一般セッション)	50
5H	グラフィクスとCAD (一般セッション)	50
6H	グループウェア (一般セッション)	50
1X	知的ヒューマンインタフェース (学生セッション)	50
2X	協調作業のインタフェース (学生セッション)	50
3X	計算機システムのインタフェース (学生セッション)	51
4X	コミュニケーションとインタフェース (学生セッション)	51
5X	感性情報処理 (学生セッション)	51
6X	マルチモーダルインタフェース (学生セッション)	51
1Y	レンダリング (1) (学生セッション)	51
2Y	レンダリング (2) (学生セッション)	51
3Y	モデリング及びCAD (学生セッション)	51
4Y	可視化 (学生セッション)	52
5Y	アニメーション (学生セッション)	52
6Y	CG一般 (学生セッション)	52
1Z	仮想現実感 (学生セッション)	52
2Z	コミュニケーション支援 (学生セッション)	52
3Z	学習支援・ナレッジマネジメント (学生セッション)	52
4Z	コミュニティ支援・ネットワークエンターテイメント (学生セッション)	53
	デモセッション	53

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

5A	CAI・教育学 (2) (一般セッション)	53
5B	情報と人間社会 (一般セッション)	53
3D	CAI・教育学 (1) (一般セッション)	53
4D	教育システム (一般セッション)	53
5D	情報教育 (一般セッション)	53
6D	CAI・教育学 (3) (一般セッション)	53
5E	情報システムの運用監視 (一般セッション)	54
6E	情報システムの事例 (一般セッション)	54
1P	CAI・教育学 (学生セッション)	54
2P	教育システム (1) (学生セッション)	54
3P	教育システム (2) (学生セッション)	54
4P	教育支援 (学生セッション)	54
5P	教育システム (3) (学生セッション)	55
1V	情報システムの社会への応用 (学生セッション)	55
2V	医療画像処理 (学生セッション)	55
3V	情報システムの構築 (学生セッション)	55
4V	情報システムの分析・設計・運用 (学生セッション)	55
5V	意思決定支援システム (学生セッション)	55
6V	医療情報処理 (学生セッション)	56

(第4分冊 特別トラック)

特別トラック (1) バイオ情報学

2TT1	バイオ情報学 (特別トラック (1))	56
------	---------------------------	----

特別トラック (2) 経営に貢献するIT

5TT2	方法論 (特別トラック (2))	56
6TT2	システム事例 (特別トラック (2))	56

特別トラック (3) システム検証技術 - その可能性・方向性

1TT3	システム検証応用 (特別トラック (3))	56
------	-----------------------------	----

会場案内図

■電車〔調布駅下車《北口》→ 徒歩約5分〕

◎調布駅までのアクセス

- ・新宿駅（京王線）→調布駅
- ・渋谷駅（京王井の頭線）→明大前（京王線）→調布駅
- ・東京駅（JR中央線）→新宿駅（京王線）→調布駅
- ・羽田空港（京浜急行線）→品川駅（JR山手線）→新宿駅（京王線）→調布駅
- ・新横浜駅（横浜線）→橋本駅（京王相模原線）→調布駅
- ・横浜駅（横浜線）→橋本駅（京王相模原線）→調布駅
- ・上野駅（JR山手線）→新宿駅（京王線）→調布駅
- ・品川駅（JR山手線）→新宿駅（京王線）→調布駅

■バスをご利用でのアクセス

◎吉祥寺駅からのバス

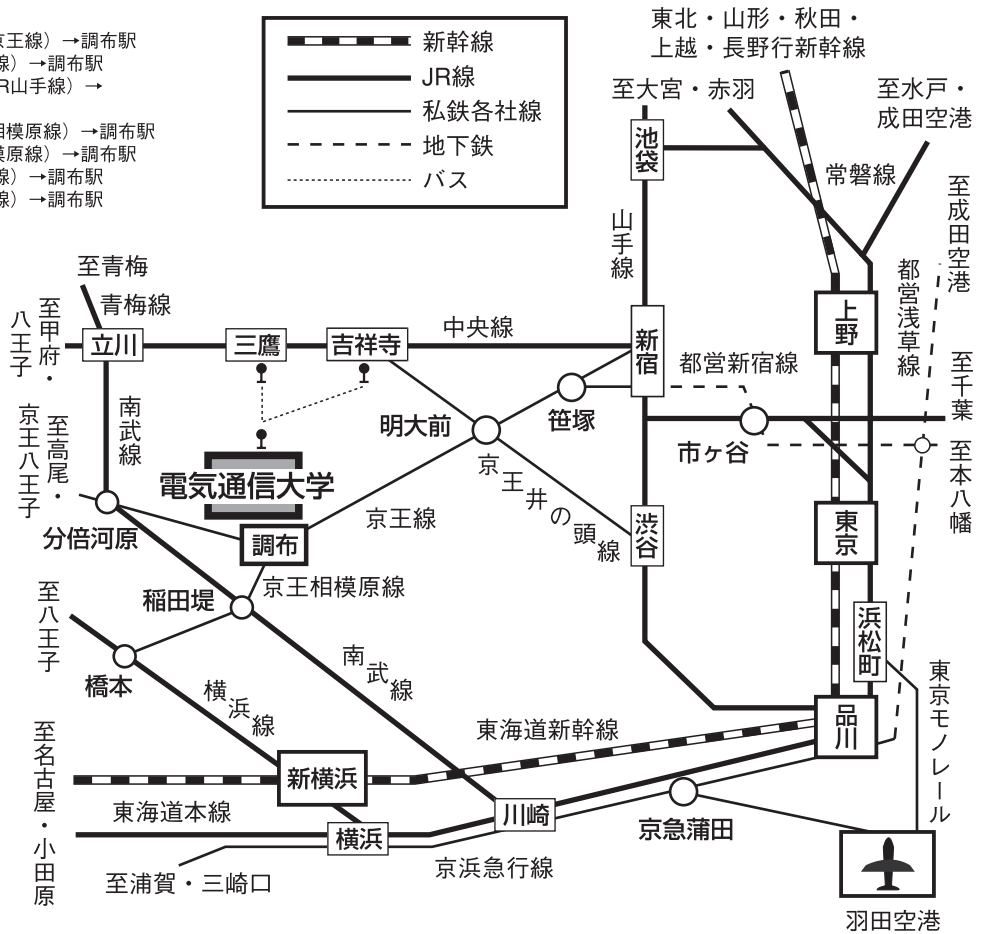
- ・吉14系統「調布駅北口」行（約30分）（8番のりば）→「布田一丁目」
- ・吉05系統「調布駅北口」行（約35分）（6番のりば）→「電気通信大学前」
- ・吉06系統「調布駅北口」行（約35分）（4番のりば）→「電通大学生寮前」

◎三鷹駅からのバス

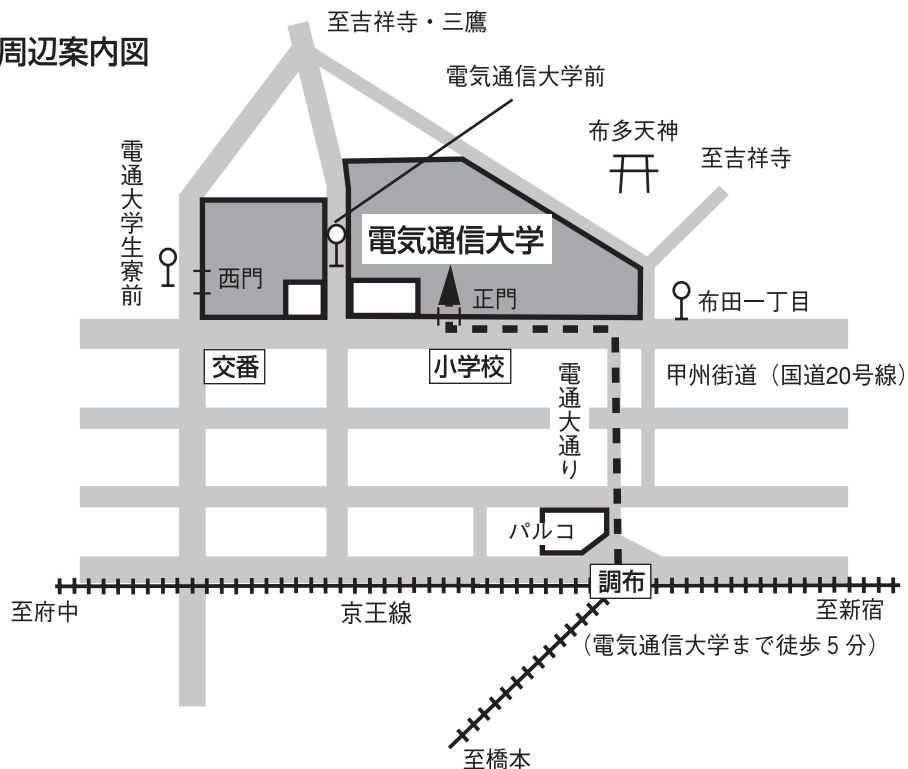
- ・鷹51系統「調布駅北口」行（約30分）（3番のりば）→「電気通信大学前」
- ・鷹56系統「調布駅北口」行（約25分）（6番のりば）→「電通大学生寮前」

◎羽田空港直行リムジンバス（京王バス）

- ・羽田空港→調布駅北口（所要時間60～90分）



電気通信大学周辺案内図

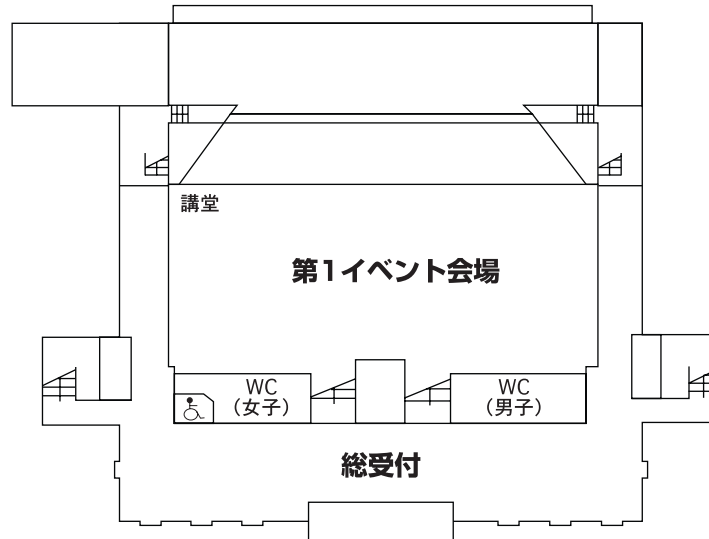


電気通信大学キャンパス図



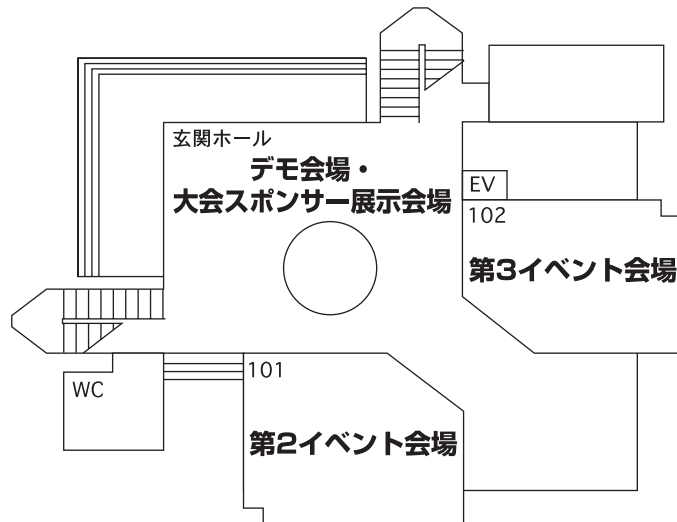
館内案内図

講堂

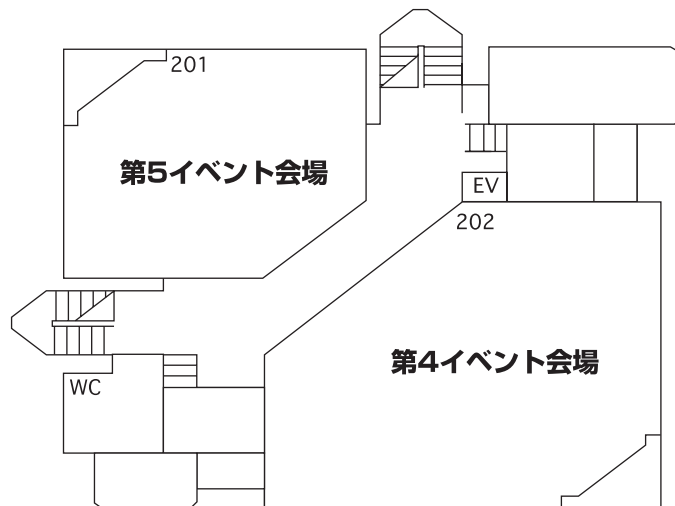


B棟

1F

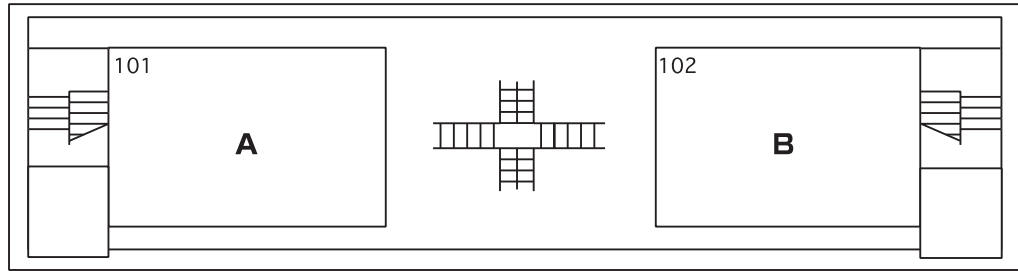


2F

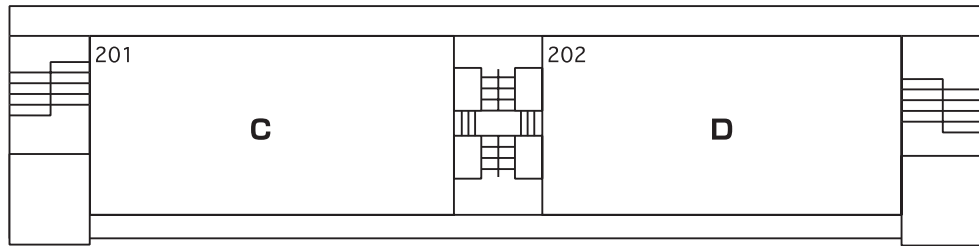


A棟

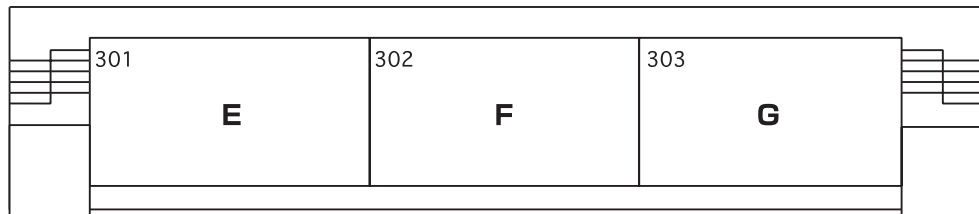
1F



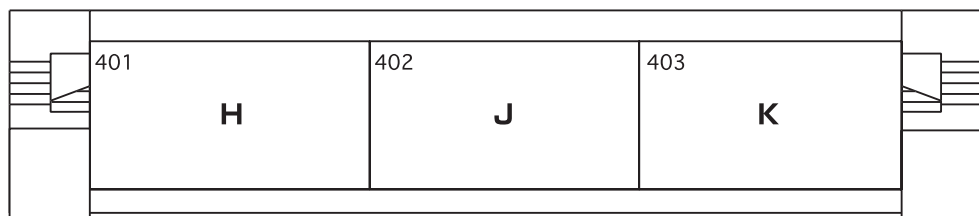
2F



3F

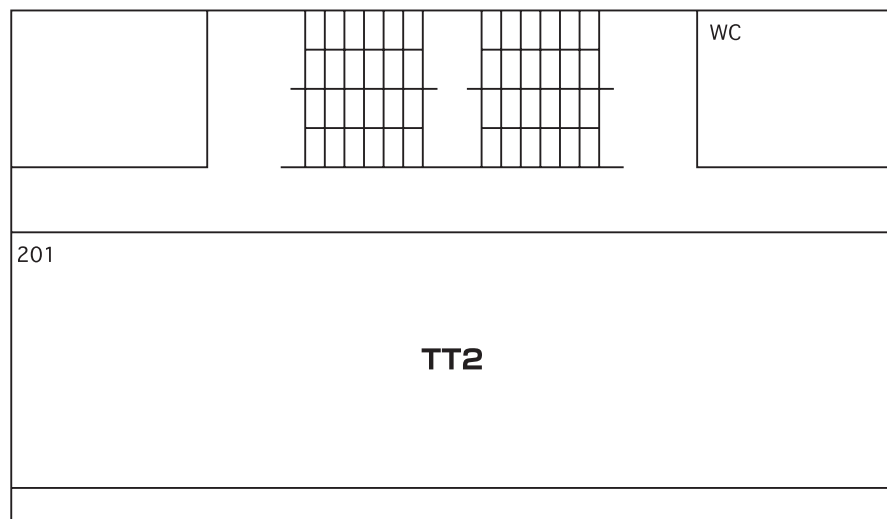


4F



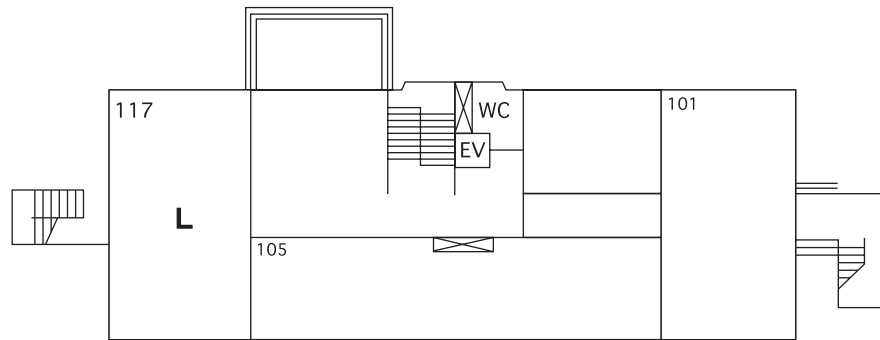
C棟

2F

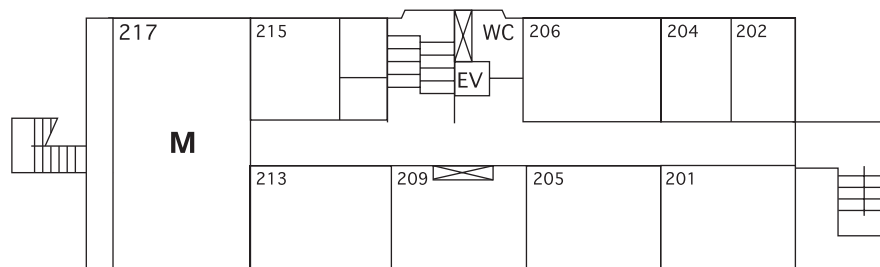


西1号館

1F

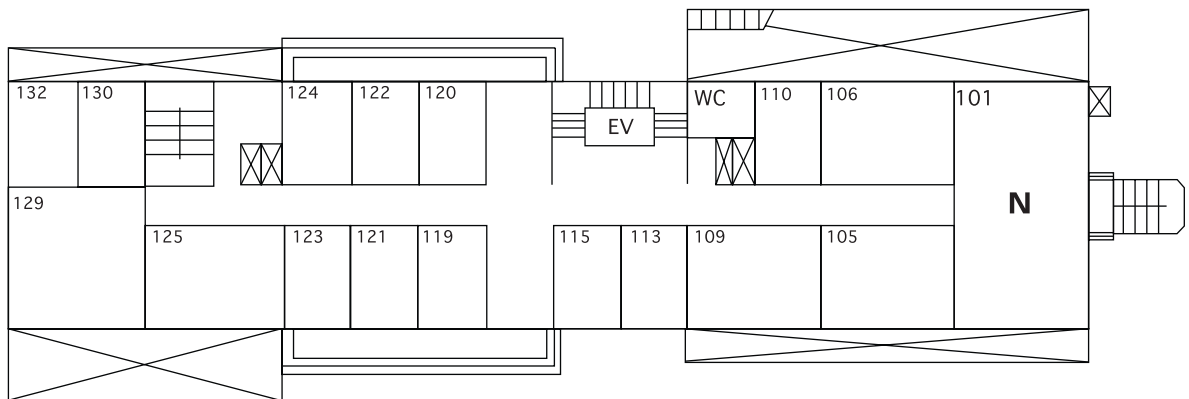


2F

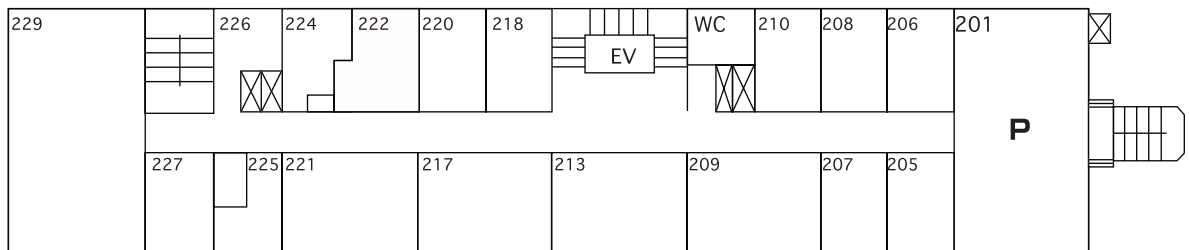


西2号館

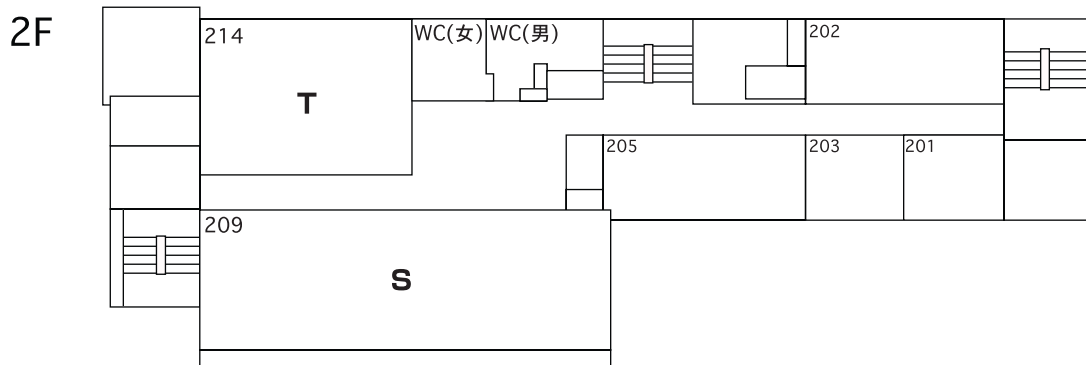
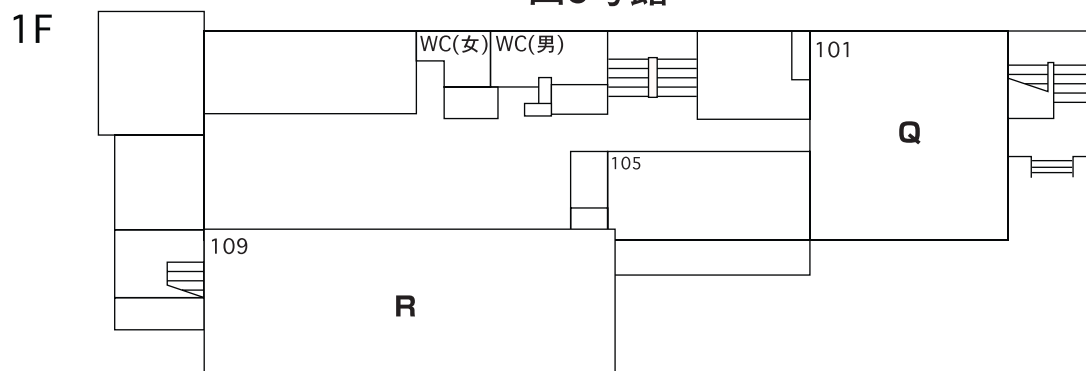
1F



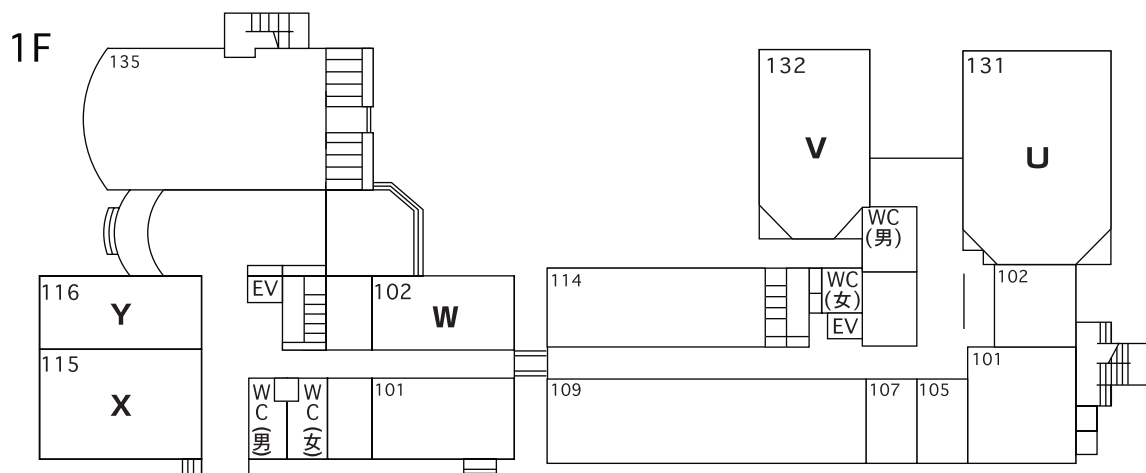
2F



西5号館

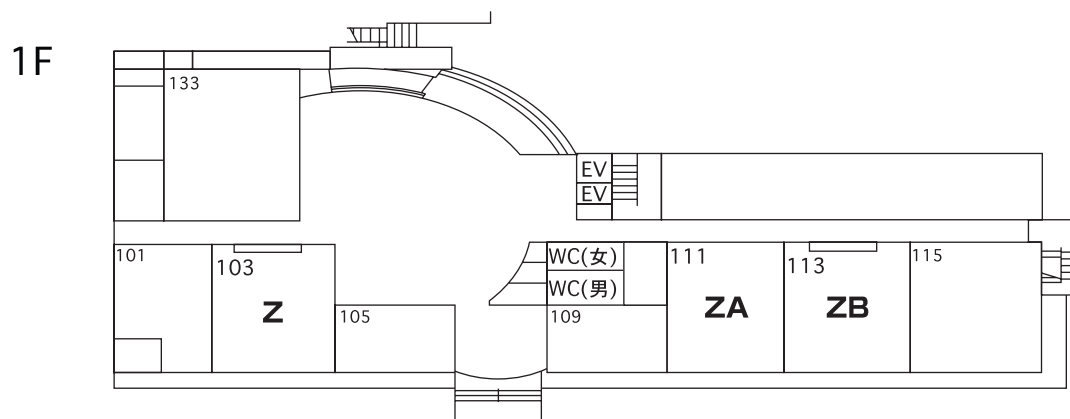


西9号館



西8号館

IS棟



情報処理学会 第 67 回全国大会 プログラム概要

日	会場	第1イベント会場	第2イベント会場	第3イベント会場	第4イベント会場	第5イベント会場	特別トラック 一般公募
時間		講堂 1F 講堂	B棟 1F 101教室	B棟 1F 102教室	B棟 2F 202教室	B棟 2F 201教室	TT2 C棟 2F 201教室
3月2日 (水)	9:30	開会式 表彰式 認証式					
	10:10	招待講演 (1) John Atanasoff (1903-1995) - Electronic Prometheus Blagovest Sendov (ブルガリア大使/元IFIP会長)					
	11:10	招待講演 (2) A New Approach to Information Technology Gerald L. Engel (IEEE Computer Society会長)					
	12:10						
	13:15	特別セッション (4) 平成18年度教科『情報』 入学試験シンポジウム 13:15 - 13:20 シンポジウム開催宣言 城 和貴 (奈良女子大) 13:20 - 14:00 公開模擬試験 - あなたは何点取れますか? - 14:00 - 14:30 基調講演 東京農工大学での教科『情報』 試行試験の試み 中森 真理雄 (農工大) 14:40 - 15:00 採点結果発表および 出題の意図、解答例の説明 15:00 - 17:00 パネル討論 教科『情報』について どのような入試を期待しますか?	特別トラック(1) バイオ情報学 13:15 - 14:15 基調講演 (1) バイオ情報学における知識処理 - データベースから文蔵まで 佐藤 賢二 (北陸先端大) 14:15 - 15:15 基調講演 (2) バイオ情報学 - コンピュータで生命の変化を知る - 遺伝子発現解析からシステム生物学へ 石井 信 (奈良先端大)	特別トラック (3) システム検証技術 - その可能性・方向性 13:15 - 14:15 基調講演 抽象化の数理 - 数理的技法での スケラビリティを得るために 木下 佳樹 (産総研)	特別セッション (5) 組込みシステム産業の将来と それを支える技術者育成 13:15 - 14:15 基調講演 (1) 組込みシステム技術動向 高田 広章 (名大) 14:15 - 15:15 基調講演 (2) 組込みソフトウェア産業の実態 ~ 2005年版技術者個人向け調査速報 ~ 田丸 喜一郎 (東芝)	特別セッション (6) 温故知新 石田 亨 (京大) 上田 和紀 (早大) 植村 俊亮 (奈良先端大) 後藤 滋樹 (早大) 竹内 郁雄 (電通大) 田中 穂積 (東工大) 玉井 哲雄 (東大) 土居 範久 (中央大) 中川 正樹 (農工大) 中島 秀之 (はこだて未来大) 中田 育男 (法政大) 萩谷 昌己 (東大) 湯浅 太一 (京大) 米澤 明憲 (東大) 和田 英一 (IIJ)	
	15:15						
	15:30		15:30 - 17:00 特別トラック (1) 一般公募 バイオ情報学 小長谷明彦 (理研)	14:30 - 16:00 特別トラック (3) 一般公募 システム検証応用 櫻田 英樹 (NTT)	15:30 - 17:30 パネル討論 組込みシステム技術者の 将来像と育成戦略		
	17:30		④ 56	④ 56	23	24	
3月3日 (木)	9:30						
	12:00						
	13:00	招待講演 (3) もうひとつの大学改革 益田 隆司 (電通大学長/情報処理学会会長)					
	14:00						
4	14:30		特別セッション(3) 情報漏洩対策 14:30 - 15:15 基調講演 技術者/研究者 (エンジニア) の 法的責任 ~ 個人情報保護法完全施行を控えて ~ 奥村 徹 (奥村&田中法律事務所) 15:30 - 17:00 パネル討論 情報漏洩対策における 技術と法律	研究会企画 研究会の分野開拓 シンポジウム 講演7件 パネル討論			
	17:00		21	28			
3月4日 (金)	9:30		シンポジウム 高度IT技術者の育成と 産業界からの期待 講演4件 総合討論	標準化セッション (1) ISO/IEC JTC 1/SC 25 情報機器間の 相互接続に関する 国際標準化の動向 講演5件 (同日展示あり)	特別セッション(2) パネル討論 これからは プロセッサはいらない?		特別トラック (2) 方法論 坂下 善彦 (湘南工科大)
	12:00		28	29	20		④ 56
	13:00	招待講演 (4) 日本型伝統的ソフトウェア産業の 終焉! ? 有賀 貞一 (CSK 代表取締役副会長)					
	14:00						
	14:30		特別セッション (1) 情報系21世紀COEの現在と 今後の展望 14:30 - 15:30 基調講演 21世紀COEプログラムと大学改革 近藤 弘 (文部科学省) 15:45 - 17:00 パネル討論 情報系21世紀COEにおける 研究教育の現在と今後の展望	標準化セッション (2) ISO/IEC JTC1/SC32における 「データの管理と交換」 標準化活動の紹介 講演6件	特別トラック (2) 経営に貢献するIT 14:10 - 15:10 基調講演 インタングリブル・アセット ~ ITの企業戦略的価値 田村 拓 (CSK)		15:20 - 17:20 特別トラック (2) システム事例 辻 秀一 (東海大)
	17:00		19	30	18		④ 56

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

情報処理学会 第 67 回全国大会

日	会場 時間	一般セッション A A棟 1F 101教室	一般セッション B A棟 1F 102教室	一般セッション C A棟 2F 201教室	一般セッション D A棟 2F 202教室	一般セッション E A棟 3F 301教室	一般セッション F A棟 3F 302教室	一般セッション G A棟 3F 303教室	一般セッション H A棟 4F 401教室	一般セッション J A棟 4F 402教室
3月2日 (水)	9:30									
	10:10									
	11:10									
	11:10									
	12:10									
	13:15	1 ネットワーク家電 奈古屋広昭 (一橋大) ③ 43	ネットワークセキュリティ(1) 村山 優子 (岩手県大) ③ 44	システムデザインと 運用法 河野 健二 (電通大) ① 32	数値計算 高橋 大介 (筑波大) ① 32	メタデータ 阪口 哲男 (筑波大) ③ 41			仮想現実感 近藤 邦雄 (埼玉大) ④ 50	自然言語解析 中野 幹生 (ホンダ・リサーチ・ インスティテュート・ ジャパン) ② 36
3月3日 (木)	15:15	2 ネットワーク システム 渥美 幸雄 (専修大) ③ 44	ネットワーク セキュリティ(2) 寺田 真敏 (日立) ③ 44	OS構成法と システム評価 品川 高廣 (農工大) ① 32	分散システム 松浦 敏雄 (大阪市大) ③ 45	情報検索技術 岸田 和明 (駿河台大) ③ 41	ソフトウェア プロセス 青木 利晃 (北陸先端大) ① 34	情報検索・抽出 村田 真樹 (NICT) ② 36	感性情報処理 高田 眞吾 (慶大) ④ 50	自然言語 インタフェース・ e-learning 内山 将夫 (NICT) ② 36
	17:30									
	9:30	3 ネットワーク セキュリティ(3) 菊池 浩明 (東海大) ③ 44	ユビキタス コンピューティング 斉藤 健 (東芝) ③ 44	組込み／ 携帯機器向け システム 千葉 滋 (東工大) ① 32	CAI・教育学(1) 宮寺 庸造 (学芸大) ④ 53	コンテンツ管理 吉田 稔 (東大) ③ 41	プログラミング 脇田 建 (東工大) ① 34	音楽情報科学 嵯峨山茂樹 (東大) ② 36	コミュニケーションと インタフェース 坂根 裕 (静岡大) ④ 50	学習・遺伝的 アルゴリズム・ 人工生命 川村 秀憲 (北大) ② 37
3月4日 (金)	12:00									
	13:00									
	14:00	4 設計自動化技術(2) 堤 利幸 (明大) ① 32	センサ ネットワーク 渡辺 尚 (静岡大) ③ 44	RFID 戸辺 義人 (電機大) ③ 45	教育システム 高岡 詠子 (千歳科技大) ④ 53	位置情報 堀内 浩規 (KDDI研) ③ 45	アルゴリズムと データ構造 古賀 久志 (電通大) ① 34	画像処理・色解析 坂上 義秋 (本田技研) ② 36	マルチモーダル インタフェース 志築文太郎 (筑波大) ④ 50	オントロジ・ 応用システム 柴田 直樹 (滋賀大) ② 37
3月4日 (金)	17:00									
	9:30	5 CAI・ 教育学(2) 山崎 謙介 (学芸大) ④ 53	情報と人間社会 神沼 靖子 (埼玉大) ④ 53	ワイヤレス システム 石原 進 (静岡大) ③ 45	情報教育 立田 ルミ (独協大) ④ 53	情報システムの 運用監視 清水 則之 (名桜大) ④ 54	開発・設計技法 丸山 勝久 (立命館大) ① 34	画像圧縮と 画像DB 島野美保子 (松下) ② 36	グラフィックスと CAD 山口 泰 (東大) ④ 50	要約・対話 奥村 学 (東工大) ② 37
	12:00									
	13:00									
	14:00	6 モバイル ネットワーク アーキテクチャ 丹 康雄 (北陸先端大) ③ 44	プロセッサ アーキテクチャ(2) 横田 隆史 (宇都宮大) ① 32	並列・ 分散システム 中條 拓伯 (農工大) ① 32	CAI・教育学(3) 角田 博保 (電通大) ④ 53	情報システムの 事例 阿部 昭博 (岩手県大) ④ 54	ITS 屋代 智之 (千葉工大) ③ 45	3次元画像解析・ 人物画像解析 西村 拓一 (産総研) ② 36	グループウェア 関 一也 (電通大) ④ 50	
3月4日 (金)	17:00									

プログラム概要

一般セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション
K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U
A棟 4F 403教室	西1号館 1F 117教室	西1号館 2F 217教室	西2号館 1F 101教室	西2号館 2F 201教室	西5号館 1F 101教室	西5号館 1F 109教室	西5号館 2F 209教室	西5号館 2F 214教室	西8号館 1F 131教室
データウェアハウス 原田リリアン (富士通研) ③ 41	画像処理 中原 智治 (松下電工) ② 37	ヒューマノイド ロボット 小野 哲雄 (はこだて未来大) ② 38	アルゴリズムと 最適化 塚田 恭章 (NTT) ① 34	CAI・教育工学 志水 信幸 (ソフトピア ジャパン) ④ 54		オントロジ・ 知識ベース 木村 和広 (東芝) ② 39	ソフトウェアの 保守と検証 山崎 克之 (KDDI研) ① 35	グリッド コンピューティング 串田 高幸 (日本IBM) ③ 46	Webマイニング 浦本 直彦 (日本IBM) ③ 42
画像DB 野村 直之 (リコー) ③ 41	画像処理・認識 森 靖英 (日立) ② 37	移動ロボット 矢入 健久 (東大) ② 38	数理モデル化の 理論と実践 高階 知巳 (ニコンシステム) ① 35	教育システム(1) 曾我 真人 (和歌山大) ④ 54		人工生命 服部可奈子 (東芝) ② 39	分散・無線 ネットワーク 秋山 康智 (三菱) ③ 45	マルチメディア ネットワーク 西山 智 (YRP) ③ 46	Blog 赤峯 享 (NEC) ③ 43
XML 天笠 俊之 (奈良先端大) ③ 41	3次元形状復元 石山 壘 (NEC) ② 37	学習・ エージェント モデル 山田 誠二 (国立情報学研) ② 38	ソフトウェア設計 河野 知行 (アイ・アイ・エム) ① 35	教育システム(2) 石田 喬也 (三菱) ④ 54	Web応用 酒井 哲也 (東芝) ③ 42	音楽情報科学 青野 裕司 (NTT) ② 39	ロボネット・ ネットワーク 上田 博唯 (NICT) ③ 46	セキュリティ (ウイルス・ 攻撃解析) 鳥居 悟 (富士通研) ③ 47	情報フィルタリング・ 推薦システム 鈴木 優 (東芝) ③ 43
データ発掘 安形 輝 (亜細亜大) ③ 41	検出・追跡技術 二宮 芳樹 (豊田中研) ② 37	ニューラル ネットワーク 栗原 聡 (阪大) ② 38	プログラミング 言語処理系 千葉 雄司 (日立) ① 35	教育支援 中平 勝子 (長岡技科大) ④ 54	コンテンツの管理・ 認証システム 亀田 能成 (筑波大) ③ 42	音声認識・対話 畑崎香一郎 (NEC) ② 39	データ転送方式 佐藤 文明 (静岡大) ③ 46	SIP・ビデオ通信 中後 明 (富士通研) ③ 47	Webページの検索 石田 栄美 (駿河台大) ③ 43
地理DB 遠山 元道 (慶大) ③ 41	人物画像処理・ インタフェースでの 応用 川出 雅人 (オムロン) ② 37	遺伝的 アルゴリズム 西野 哲朗 (電通大) ② 38		教育システム(3) 福村 好美 (長岡技科大) ④ 55	情報検索技術 岩山 真 (日立) ③ 42	Web情報抽出・ 文書検索・ 文書分類 仲尾 由雄 (富士通研) ② 39	センサネットワークと RFID 佐藤 一郎 (国立情報学研) ③ 46	アドホック・ ネットワーク 尾上 裕子 (NTTドコモ) ③ 47	モバイル通信方式 後藤 真孝 (東芝) ③ 47
情報流通 橋本 泰一 (東工大) ③ 42	ゲーム 伊藤 毅志 (電通大) ② 38	情報検索・ 自然言語 インタフェース 今一 修 (日立) ② 39	プログラミング支援 伊知地 宏 (ラムダ数学教育研) ① 35	情報家電と ホームネットワーク 坂東 忠秋 (日立) ③ 45	Webを用いた コミュニケーション 中野美由紀 (東大) ③ 42	Web・ 応用システム 河野 浩之 (南山大) ② 40	モバイル ネットワークと 応用 森 英悟 (ノキア・ ジャパン) ③ 46	ルーティング・ パフォーマンス 廣森 聡仁 (阪大) ③ 47	モバイル アプリケーション(2) 横田 英俊 (KDDI研) ③ 47

情報処理学会 第 67 回全国大会 プログラム概要

日	会場 時間	学生セッション V 西8号館 1F 132教室	学生セッション W 西9号館 1F 102教室	学生セッション X 西9号館 1F 115教室	学生セッション Y 西9号館 1F 116教室	学生セッション Z IS棟 1F 103教室	学生セッション ZA IS棟 1F 111教室	学生セッション ZB IS棟 1F 113教室	デモセッション デモセッション会場 B棟 1F 玄関ホール
3月2日 (水)	9:30								デモセッション
	10:10								
	11:10								
	11:10								
	12:10								
	13:15	情報システムの 社会への応用 刀川 真 (NTTデータ) ④ 55	データ発掘 市川 哲彦 (山口大) ③ 43	知的ヒューマン インタフェース 藤代 一成 (東北大) ④ 50	レンダリング (1) 松岡 裕人 (NTT) ④ 52	仮想現実感 井上 智雄 (筑波大) ④ 52	自然言語解析・ 自動要約 出羽 達也 (東芝) ② 40	プロセッサ アーキテクチャ(1) 西 直樹 (NEC) ① 33	
3月3日 (木)	15:15	医療画像処理 井宮 淳 (千葉大) ④ 55	プライバシー・ 運用 井上 真杉 (NICT) ③ 48	協調作業の インタフェース 大平 雅雄 (奈良先端大) ④ 50	レンダリング (2) 柿本 正憲 (日本SGI) ④ 52	コミュニケーション 支援 星 徹 (東京工科大) ④ 52		耐故障・ 自己適応型 アーキテクチャ 安里 彰 (富士通研) ① 33	デモセッション
	17:30								
	9:30	情報システムの構築 富澤 眞樹 (前橋工科大) ④ 55	画像処理 内藤 整 (KDDI研) ③ 48	計算機システムの インタフェース 椎尾 一郎 (玉川大) ④ 51	モデリング及び CAD 山内 結子 (NHK放送技研) ④ 52	学習支援・ ナレッジマネジメント 吉野 孝 (和歌山大) ④ 52	設計自動化技術 (1) 島崎 健二 (松下) ① 33	特定用途向け アーキテクチャ 木村 哲郎 (東芝) ① 33	
	12:00								
	13:00								
	14:00	情報システムの 分析・設計・運用 中挾知延子 (東洋大) ④ 55	XML・地理DB 石谷 康人 (東芝) ③ 43	コミュニケーションと インタフェース 加藤 直樹 (学芸大) ④ 51	可視化 茅 暁陽 (山梨大) ④ 53	コミュニティ支援・ ネットワーク エンターテインメント 爰川 知宏 (NTT) ④ 53	システム ソフトウェア 実現技術 盛合 敏 (NTT) ① 33	メモリ・通信 アーキテクチャと 評価技術 天野 英晴 (慶大) ① 33	
3月4日 (金)	17:00								
	9:30	意思決定 支援システム 伊東 俊彦 (愛知淑徳大) ④ 56	ネットワーク セキュリティ 田端 利宏 (九大) ③ 48	感性情報処理 高田 眞吾 (慶大) ④ 51	アニメーション 藤木 淳 (産総研) ④ 53	モバイル アプリケーション(1) 藤野 信次 (富士通研) ③ 48	ナビゲーション システム 関 清隆 (鉄道総研) ③ 48	分散・ 並列ソフトウェア 佐藤 真琴 (日立) ① 34	デモセッション
	12:00								
	13:00								
	14:00								
	14:30	医療情報処理 山口 高平 (慶大) ④ 56	認証・ 分散セキュリティ 田中 俊昭 (KDDI研) ③ 48	マルチモーダル インタフェース 安村 通晃 (慶大) ④ 51	CG一般 穴井 宏和 (富士通研) ④ 53		位置検出手法 久保田浩司 (NTT) ③ 48		
	17:00								

第 67 回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内は会場名)

●第 1 分冊

- ・アーキテクチャ
計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング, 設計自動化
(4A, 6B, 1C ~ 3C, 6C, 1D, 2Q, 3ZA, 4ZA, 1ZB ~ 5ZB)
(デモセッション: デ-08, デ-09, デ-13, デ-14)
- ・ソフトウェア科学・工学
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング
(2F ~ 5F, 1N ~ 4N, 6N, 1S)
(デモセッション: デ-02)

●第 2 分冊

- ・人工知能と認知科学
人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学
(2G ~ 6G, 1J ~ 5J, 1L ~ 6L, 1M ~ 6M, 1R ~ 6R, 1ZA)
(デモセッション: デ-10)

●第 3 分冊

- ・データベースとメディア
データベース, 情報検索, メディアと情報
(1E ~ 3E, 1K ~ 6K, 3Q ~ 6Q, 1U ~ 4U, 1W, 4W)
(デモセッション: デ-03, デ-04, デ-11, デ-12)
- ・ネットワーク
マルチメディア通信と分散処理, 分散システム運用, マルチメディア符号化, モバイルコンピューティング
(1A ~ 3A, 6A, 1B ~ 4B, 4C, 5C, 2D, 4E, 6F, 6P, 2S ~ 6S, 1T ~ 6T, 5U, 6U, 2W, 3W, 5W, 6W, 5Z, 5ZA, 6ZA)
(デモセッション: デ-01, デ-05, デ-06)

●第 4 分冊

- ・インタフェース
ヒューマンインタフェース, グループウェア, グラフィクスと CAD, 仮想現実感
(1H ~ 6H, 1X ~ 6X, 1Y ~ 6Y, 1Z ~ 4Z)
(デモセッション: デ-07, デ-15)
- ・コンピュータと人間社会
情報システム, コンピュータ教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, 標準化, その他
(5A, 5B, 3D ~ 6D, 5E, 6E, 1P ~ 5P, 1V ~ 6V)
- ・特別トラック (1) バイオ情報学
(2TT1)
- ・特別トラック (2) 経営に貢献する IT
(5TT2, 6TT2)
- ・特別トラック (3) システム検証技術-その可能性・方向性
(1TT3)

- イベント企画 -

- ・招待講演(1):「John Atanasoff (1903-1995) - Electronic Prometheus」
Blagovest Sendov (ブルガリア大使, 元 IFIP 会長)
- ・招待講演(2):「A New Approach to Information Technology」
Gerald L. Engel (IEEE Computer Society 会長)
- ・招待講演(3):「もうひとつの大学改革」益田 隆司 (電気通信大学学長 / 本学会会長)
- ・招待講演(4):「日本型伝統的ソフトウェア産業の終焉!？」有賀 貞一 (CSK 代表取締役副会長)
- ・特別トラック(1): バイオ情報学
- ・特別トラック(2): 経営に貢献する IT
- ・特別トラック(3): システム検証技術 - その可能性・方向性
- ・特別セッション(1): 情報系 21 世紀 COE の現在と今後の展望
- ・特別セッション(2): これからはプロセッサはいらない?
- ・特別セッション(3): 情報漏洩対策
- ・特別セッション(4): 平成 18 年度 教科『情報』入学試験シンポジウム
- ・特別セッション(5): 組込みシステム産業の将来とそれを支える技術者育成
- ・特別セッション(6): 温故知新
- ・シンポジウム: 高度 IT 技術者の育成と産業界からの期待
- ・研究会企画: 研究会の新分野開拓シンポジウム
- ・標準化セッション(1): ISO/IEC JTC1/ SC25 情報機器間の相互接続に関する国際標準化の動向
- ・標準化セッション(2): ISO/IEC JTC1/ SC32 における「データの管理と交換」標準化活動の紹介

- 会場別プログラム -

【第 1 イベント会場 (講堂)】		
日	時 間	内 容
2 日 (水)	9:30-10:10	[9:30- 9:50] 開会式 / 第 66 回全国大会優秀賞・奨励賞表彰式 開会の挨拶: 益田 隆司 (本学会会長) プログラム委員長挨拶: 竹内 郁雄 (電通大) 第 66 回全国大会優秀賞・奨励賞表彰状授与: 益田 隆司 (本学会会長) [9:50-10:00] フェロー認証式 表彰状授与: 益田 隆司 (本学会会長) [10:00-10:05] 学会活動貢献賞表彰式 表彰状授与: 益田 隆司 (本学会会長) [10:05-10:10] 優秀教育賞 優秀教材賞表彰式 表彰状授与: 益田 隆司 (本学会会長)
	10:10-11:10	招待講演(1): John Atanasoff (1903-1995) - Electronic Prometheus Blagovest Sendov (ブルガリア大使, 元 IFIP 会長)
	11:10-12:10	招待講演(2): A New Approach to Information Technology Gerald L. Engel (IEEE Computer Society 会長)
		特別セッション(4): 平成 18 年度教科『情報』入学試験シンポジウム
	13:15-13:20	シンポジウム開催宣言 城 和貴 (奈良女子大)
	13:20-14:00	公開模擬試験「あなたは何点取れますか?」
	14:00-14:30	基調講演: 東京農工大学での教科『情報』試行試験の試み 中森 真理雄 (農工大)
	14:40-15:00	採点結果発表および出題の意図, 解答例の説明
	15:00-17:00	パネル討論: 教科『情報』についてどのような入試を期待しますか? 司 会: 中條拓伯 (農工大) パネリスト: 小原 格 (都立町田高校), 城 和貴 (奈良女子大), 中森 真理雄 (農工大), 古瀬 慶博 (三菱スペース・ソフトウェア), 現役高校生 (当日会場にて募集)
	3 日 (木)	招待講演(3): もうひとつの大学改革 益田 隆司 (電気通信大学学長 / 本学会会長)
4 日 (金)	13:00-14:00	招待講演(4): 日本型伝統的ソフトウェア産業の終焉! ? 有賀 貞一 (CSK 代表取締役副会長)

【第2 イベント会場 (B棟 1F 101 教室)】		
日	時 間	内 容
2 日 (水)	特別トラック (1)：バイオ情報学	
	13:15-14:15	基調講演 (1)：バイオ情報学における知識処理-データベースから文献まで 佐藤 賢二 (北陸先端大)
	14:15-15:15	基調講演 (2)：バイオ情報学-コンピュータで生命の変化を知る-遺伝子発現解析からシステム生物学へ 石井 信 (奈良先端大)
	15:30-17:00	一般公募発表 3件
3 日 (木)	特別セッション (3)：情報漏洩対策	
	14:30-15:15	基調講演：技術者／研究者（エンジニア）の法的責任 個人情報保護法完全施行を控えて 奥村 徹 (奥村 & 田中法律事務所)
	15:30-17:00	パネル討論：情報漏洩対策における技術と法律 司 会：林 淑隆 (キャノンシステムソリューションズ) パネリスト：大木 栄二郎 (IBM ビジネスコンサルティングサービス), 奥村 徹 (奥村 & 田中法律事務所), 小島 肇 (龍谷大), 白川 理 (キャノンシステムソリューションズ)
4 日 (金)	シンポジウム：高度IT技術者の育成と産業界からの期待	
	9:30-9:35	あいさつ 米田 英一
	9:35-10:05	講演 (1)：産業界が期待するIT技術者 繁野 高仁 (KDDI)
	10:05-10:25	講演 (2)：IT技術者研修の動向 角田 千晴 (JUAS)
	10:25-10:45	講演 (3)：IT専門大学院 大場善次郎 (北大 / 東大)
	10:45-11:05	講演 (4)：アクレディテーション活動報告 掛下 哲郎 (佐賀大)
	11:05-12:00	総合討論
	特別セッション (1)：情報系21世紀COEの現在と今後の展望	
	14:30-15:30	基調講演：21世紀COEプログラムと大学改革 近藤 弘 (文部科学省)
	15:45-17:00	パネル討論：情報系21世紀COEにおける研究教育の現在と今後の展望 司 会：森 辰則 (横浜国大) パネリスト：知識社会基盤構築のための情報学拠点形成 田中 克己 (京大) 電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ 辻井 重男 (情報セキュリティ大学院大) 大規模知識資源の体系化と活用基盤構築 古井 貞熙 (東工大) 社会情報基盤のための音声・映像の知的統合 間瀬 健二 (名大)

【第3 イベント会場 (B棟 1F 102 教室)】		
日	時 間	内 容
2 日 (水)	特別トラック (3)：システム検証技術-その可能性・方向性	
	13:15-14:15	基調講演：抽象化の数理-数理的技法でのスケーラビリティを得るために 木下 佳樹 (産総研)
	14:30-16:00	一般公募発表 3件
3 日 (木)	研究会企画：研究会の新分野開拓シンポジウム	
	14:30-14:40	講演 (1)：最近の調査研究の動きと新分野開拓の状況について 萩谷 昌己 (調査研究運営委員長 / 東大)
	14:40-14:50	講演 (2)：バイオ情報学研究会の紹介 植村 俊亮 (主査 / 奈良先端大)
	14:50-15:00	講演 (3)：エンタテインメントコンピューティング研究会の紹介 星野 准一 (主査 / 筑波大)
	15:00-15:10	講演 (4)：ネットワーク生態学研究グループの紹介 上林 憲行 (主査 / 東京工科大)
	15:10-15:20	講演 (5)：CS領域における新分野開拓の可能性 富田 悦次 (CS領域委員長 / 電通大)
	15:20-15:30	講演 (6)：IE領域における新分野開拓の可能性 竹林 洋一 (IE領域委員長 / 静岡大)
	15:30-15:40	講演 (7)：FR領域における新分野開拓の可能性 平田 圭二 (FR領域委員長 / NTT)
	15:50-16:50	パネル討論「情報処理への新たな挑戦」 司会：萩谷昌己 (調査研究運営委員長 / 東大) パネリスト：上記講演者 + 次期調査研究運営委員長
	16:50-17:00	次期調査研究運営委員長の挨拶

【第3 イベント会場 (B棟 1F 102 教室)】

日	時 間	内 容
4	標準化セッション (1) : ISO/IEC JTC 1/SC 25 情報機器間の相互接続に関する国際標準化の動向 ※同日併設展示あり	
	9:30-9:50	講演 (1) : ホームネットワーク国際標準化の諸問題 山本 和幸 (松下電工)
	9:50-10:10	講演 (2) : エコネットの標準化戦略 新谷 保之 (松下電器)
	10:10-10:30	講演 (3) : 構内配線の国際標準化動向 宮島 義昭 (住友電工)
	10:30-10:50	講演 (4) : コンピュータ周辺機器インタフェースの国際標準化動向 脇村 慶明 (アトー)
	10:50-11:10	講演 (5) : レスポンシブリンクとは 山崎 信行 (慶大)
(金)	標準化セッション (2) : ISO/IEC JTC1/SC32 における「データの管理と交換」標準化活動の紹介	
	14:30-14:55	講演 (1) : SC32 における標準開発と日本の貢献 芝野 耕司 (東京外語大)
	14:55-15:20	講演 (2) : 電子商取引 (Open-edi) のための参照モデルとその後の標準化動向 森田 勝弘 (法務省)
	15:20-15:45	講演 (3) : メタデータ規格と海外事例紹介 大林 正晴 (管理工学研)
	15:45-16:10	講演 (4) : SQL 標準化の最新動向 土田 正士 (日立)
	16:10-16:35	講演 (5) : SQL マルチメディアパッケージ標準化の最新動向 鈴木 健司 (東京国際大)
	16:35-17:00	講演 (6) : メタモデル相互運用枠組みの標準化動向 堀内 一 (東京国際大)

【第4 イベント会場 (B棟 2F 202 教室)】

日	時 間	内 容
2	特別セッション (5) : 組込みシステム産業の将来とそれを支える技術者育成	
	13:15-14:15	基調講演 (1) : 組込みシステム技術動向 高田 広章 (名大)
	14:15-15:15	基調講演 (2) : 組込みソフトウェア産業の実態 -2005 年版技術者個人向け調査速報- 田丸 喜一郎 (東芝)
(水)	15:30-17:30	パネル討論 : 組込みシステム技術者の将来像と育成戦略 司 会 : 大原 茂之 (東海大) パネリスト : 祝谷 和宏 (経済産業省), 清尾 克彦 (三菱), 高田 広章 (名大), 西 康晴 (電通大), 渡辺 登 (IPA)
4	特別セッション (2) : これからはプロセッサはいらない?	
	9:30-12:00	パネル討論 : これからはプロセッサはいらない? 司 会 : 今井 正治 (阪大) パネリスト : 天野 英晴 (慶大), 佐藤 友美 (アイビーフレックス), 富山 宏之 (名大), 宮森 高 (東芝), 村上 和彰 (九大), 若林 一敏 (NEC)
	特別トラック (2) : 経営に貢献する IT	
(金)	14:10-15:10	基調講演 : インタナジブル・アセット ~ IT の企業戦略的価値 田村 拓 (CSK)
	一般公募発表 午前 9:30-12:00 : 5 件, 午後 15:20-17:20 : 4 件 【TT2 会場 (C 棟 2F 201 教室)】	

【第5 イベント会場 (B棟 2F 201 教室)】

日	時 間	内 容
2	特別セッション (6) : 温故知新	
	13:15-13:30	講演 (1) ファームウェア開発支援システム CHEF の広域コンパクト化方式 (第 23 回大会, 1981) 石田 亨 (京大)
	13:30-13:45	講演 (2) 並列論理型言語のコンパイル技法 (第 30 回大会, 1985) 上田 和紀 (早大)
	13:45-14:00	講演 (3) 漢文字符の変換 (第 13 回大会, 1972) 植村 俊亮 (奈良先端大)
	14:00-14:15	講演 (4) プログラム・シンセシス (自動合成) の理論的側面 (第 17 回大会, 1976) 後藤 滋樹 (早大)
	14:15-14:30	講演 (5) "プログラミング画法" の提案 (第 17 回大会, 1976) 竹内 郁雄 (電通大)
日	14:30-14:45	講演 (6) 自然言語解析の研究とその周辺 (第 16 回大会, 1975 / 第 17 回大会, 1976) 田中 穂積 (東工大)
	14:45-15:00	講演 (7) CAP プロジェクト (1) -ねらいと構想- (第 32 回大会, 1986) 玉井 哲雄 (東大)
	15:00-15:15	講演 (8) KEIO-TOSBAC タイムシェアリングシステム (情報処理月例会, 1968) 土居 範久 (中央大)
	15:30-15:45	講演 (9) オンライン手書き文字認識から手書きインタフェースそして発想支援環境へ (第 24 回大会, 1982) 中川 正樹 (農工大)
	15:45-16:00	講演 (10) 多重世界機構による時間の表現と問題解決 (第 33 回大会, 1986) 中島 秀之 (はこだて未来大)
	16:00-16:15	講演 (11) HITAC 5020 ソフトウェアシステム (2) -HARP5020 (第 5 回プロシン, 1964) 中田 育男 (法政大)
(水)	16:15-16:30	講演 (12) Lazy Reduction による HA の Normalization (第 23 回大会, 1981) 萩谷 昌己 (東大)
	16:30-16:45	講演 (13) 汎用計算機に適した実時間ごみ集め (記号処理研究会 41-4, 1987) 湯浅 太一 (京大)
	16:45-17:00	講演 (14) 述語理論における証明手続について -Theorem Prover TP-I- (会誌 Vol. 14-2, 1973) 米澤 明憲 (東大)
	17:00-17:15	講演 (15) Tape Operated Calculating and Copying Robot (電気四学会連合大会, 1957) 和田 英一 (IIT)

【一般セッション：A～K会場（10会場）】 A棟
【学生セッション：L～ZB会場（16会場）】 西1, 2, 5, 8, 9号館, IS棟
【特別トラック（2）一般セッション：TT2会場（1会場）】 C棟
2日（水）[13:15～15:15, 15:30～17:30], 3日（木）[9:30～12:00, 14:30～17:00], 4日（金）[9:30～12:00, 14:30～17:00]

【デモセッション：デモ会場（1会場）】 B棟1F 玄関ホール
2日（水）[9:30～17:30], 3日（木）[9:30～17:00], 4日（金）[9:30～17:00]

【懇親会会場】 大学会館3F 職員食堂
2日（水）[18:00～20:00]

招待講演・特別トラック・特別セッション・ シンポジウム・研究会企画・標準化セッションの概要

招待講演 (1) : John Atanasoff (1903-1995) - Electronic Prometheus

3月2日(水) 10:10-11:10 [第1 イベント会場 (講堂)]

Blagovest Sendov (ブルガリア大使/元 IFIP 会長)

[講演概要]

The remarkable technological invention of John Atanasoff, an American of Bulgarian origin, is electronic digital computing. He is undoubtedly the first man to step over the boundary between mechanical and electronic processing of digitalized information. In the long history of automatizing of computing, starting with the abacus and the ball-frame, until the ABC - the Atanasoff Bery Computer, there is not a single exception in recording the digits not by a mechanical medium. We are still at the beginning of an explosive development of information technologies, when we are all looking ahead in wait of new achievements. Gradually the natural cultural interest in historical facts will grow and they prove that John Atanasoff has opened the door to the modern information age. From a technical point of view the first competent defense of the contributions of John Atanasoff was made by Arthur and Alice Burks in their extensive historical article "The ENIAC: First general-purpose electronic computer", Annals of the History of Computing, 34, (1981) 310 - 399. The article is very competent and convincing since Arthur Bruks had worked with Eckert and Mauchly and kept the richest documentation about ENIAC and original parts from that remarkable machine. It is natural to ask the question: why these competent publications written by very famous authors, didn't lead to the categorical and complete recognition of John Atanasoff? The answer of this question is not an easy and unambiguous one. I'll try to offer some explanation.

[略歴]

Acad. Blagovest Hristov Sendov, Curriculum Vitae.

Born: 8 February 1932, Asenovgrad, Bulgaria. 1956 - Graduated in Mathematics from Sofia University, Sofia, Bulgaria. 1964 - PhD in Mathematics, Sofia University, Sofia, Bulgaria. 1967 - Doctor of Sciences, Steclov Mathematical Institute, Moscow. 1960-1961 - Specialization in Numerical Analysis, Moscow University, Russia. 1968 - Specialization in Computer Science, Imperial College, London. 1981 - Conferred the Scientific Degree "Academician". 1956-2003 - Lecturer, Associate Professor and Professor in Numerical Analysis and Computer Science, Sofia University. 1970-1973 - Dean, Faculty of Mathematics, Sofia University. 1973-1979 - Rector, Sofia University. 1980-1988 - Vice-President, Bulgarian Academy of Sciences. 1988-1991 - President, Bulgarian Academy of Sciences. 1975-1990 - Member of the Bulgarian Parliament. 1997-2003 - President and Vice-President of the Bulgarian Parliament. From 19.12.2003 Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of Bulgaria to Japan. 1980-1985 - Vice-President and President of the International Association of the Universities, now Honorary President. 1989-1992 - President of International Federation for Information Processing (IFIP), now Honorary President. Over 200 scientific publications in the fields of: Approximation Theory, Computer Science, Mathematical Biology, Computational Geometry, Education. Married with three children.



招待講演 (2) : A New Approach to Information Technology

3月2日(水) 11:10-12:10 [第1 イベント会場 (講堂)]

Gerald L. Engel (IEEE Computer Society 会長)

[講演概要]

The IEEE Computer Society has long been involved in defining the areas that are included in our fields of interest, and supporting practitioners in these fields. Specific projects, dating back to the start of the computing field have established standards for the areas of computer science and computer engineering. More recently, this has been extended to include the developing areas of software engineering and information systems. The rapid development of new subdisciplines within computing have proved to be a significant challenge. Nowhere can this be better seen than in discussions of the area that is currently being referred to as information technology. What is this area? How does it differ from the more established disciplines of computer science, computer engineering, software engineering and information systems? How does it fit in with these other more established disciplines? This talk will focus on the efforts of the IEEE Computer Society to address information technology. The basic goals of our efforts in the area are to expand the IEEE Computer Society's audience to include the large community of technical practitioners in IT. The effort will leverage the strength of the largest technical society in the world to provide services to technical professionals who may not be in our normal constituency and to support these individuals throughout their careers. The talk will provide details of the current status of the project, and will provide an opportunity for input into the future direction for this project, and others that may develop to address other emerging areas of computing.

[略歴]

Gerald L. Engel is the 2005 President of the IEEE Computer Society. He also serves as the Society representative to the IFIP General Assembly. Among other positions in the Computer Society, he has served as Vice President for Conferences and Tutorials and Vice President for Education. He is a Past President of the IEEE Society on the Social Implications of Technology. Engel is a Past-President of CSAB, and a member of the Board of Directors of ABET. He has served as a Division Director of IEEE. Engel is Professor of Computer Science and Engineering at the University of Connecticut. His doctorate is from Pennsylvania State University. Prior to Connecticut he has held positions at Old Dominion University, Christopher Newport College and the Virginia Institute of Marine Science. From 1991 - 1995 he was a program director in the CISE Directorate at the National Science Foundation, and acting deputy division director for Computer and Computation Research in 1994-1995. His research is in computer science and engineering education, and social and ethical issues in computing. He has received numerous awards for his work and service, including the 2000 Merwin Distinguished Service Award. He is a Fellow of the IEEE and the ACM.



招待講演（3）：もうひとつの大学改革

3月3日（木）13:00-14:00 [第1 イベント会場（講堂）]

益田 隆司（電通大学長／情報処理学会会長）

[講演概要]

明治以来の経緯から日本の大学には明確な序列構造があります。序列から競い合いの構造をつくり出すことが必要です。序列が支配しているために、日本の大学では、教員にも学生にも流動性がありません。上位大学では、多くの教員は自大学出身者が占めます。その比率が80パーセントを超す部局も稀ではありません。また、学部から大学院への進学においても学生の多くは出身大学の大学院に進学します。この傾向は上位大学においては特に顕著です。欧米のトップレベルの研究大学と基本的に異なった構造となっています。教員、学生のモビリティのなさは、これから将来を考えた場合、日本の大学の本質的な欠陥になると考えています。このような閉鎖的な構造を保持したままでは、法人化がなされました。法人化によって、それぞれの大学は自由度が増し、個性化が図れる環境が整ったといわれますが、現実はそのように動いていません。法人化を含めてこれまでの大学改革はどれも器の改革に留まっています。必要なことは、教員、学生のモビリティをいかにしてあげるかといった大学の内部構造の改革ではないかと考えています。こういったことに問題提起をします。



[略歴]

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年同修士課程修了。同年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学電子・情報工学系講師、助教授、教授。昭和63年東京大学理学部情報科学科教授。平成7-9年理学部長、大学院理学系研究科長。平成12年電気通信大学教授。平成13年同副学長。平成14年同電気通信学部長。平成16年より同学長。本会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事を歴任。現在、会長。論文賞（5回）。専門はオペレーティングシステム。

招待講演（4）：日本型伝統的ソフトウェア産業の終焉！？

3月4日（金）13:00-14:00 [第1 イベント会場（講堂）]

有賀 貞一（CSK 代表取締役副会長）

[講演概要]

日本の企業情報システム開発が本格化して約30年が経過した。70～80年代、システム化の効果が認識されるにつれ、システム化ニーズは急拡大した。本来であれば、システム構築のできる人材の育成を伴って行われるべきものが、「素人急ごしらえ軍団」による派遣的力仕事でおこなわれた。しかし、30年経っても、必要なスキルを持つ人材を育成すべき高等教育機関は、世の中の動きについていけずその責務を果たせていない。ソフトウェア産業も、一度覚えた派遣的ビジネスのうまみから逃れられず、ビジネスモデルの変革が出来ずに経過している。利用者側も業務の効率化、ビジネスプロセスの再構築、情報システム化の範囲・IT活用範囲の拡大への対応等に関し変革が遅れている。

改めて、旧来の情報システムの範疇、価値基準を超えた発想によるIT活用が必要である。これに対し伝統的なソフトウェア産業には対応する能力があるのか大いに疑問である。改めて、新しいITの活用方向を見定め、対応のための人材、組織、プレイヤーの競争環境、産業構造等を考え直すことが必要である。



[略歴]

(株)CSK 代表取締役副会長、1947年生。70年一橋大学経済学部卒。大学時代自習でコンピュータを学ぶ。同年(株)野村電子計算センター（後に野村コンピュータシステム）入社、88年合併により(株)野村総合研究所、90年同取締役、94年同常務取締役。その間流通、製造、金融等各種情報システムの構築、ニューヨーク駐在員事務所長、ネットワーク事業、金融関係システム商品事業の立上げ、公共SIビジネスの獲得などを経験。また人材育成、技術者試験、生産性向上などに注力。97年(株)CSK 転職、専務取締役、00年同代表取締役副社長、04年より現職。その間金融システム事業本部長、生産性向上委員会委員長等。現在経済産業省情報処理技術者試験委員、日本情報サービス産業協会常任理事・人材育成委員会委員長等。情報処理学会員。

特別トラック（1）：バイオ情報学

[全体概要]

近年、科学における情報処理技術の役割はますます大きくなっており、理論、実験につぐ3本目の柱と位置づけられている。このことは、生命科学の領域でも同じであり、生命科学における情報処理技術の役割は非常に大きくなってきている。一方、情報処理技術からみると、生命科学は、その市場規模、社会へのインパクトの大きさなどから、アプリケーションとして非常に有望である。この特別トラックでは、データベース、解析技術、情報知識抽出、生命モデリング、生命科学の情報科学への応用、インフラストラクチャなど、バイオ情報学に関する研究発表を通じて、生命科学における情報処理技術の役割や可能性、融合領域であるバイオ情報学的重要性について議論したい。

●基調講演（1） 3月2日（水）13:15-14:15 [第2 イベント会場（B棟1F 101教室）]

「バイオ情報学における知識処理 - データベースから文献まで」

佐藤 賢二（北陸先端大）

[講演概要]

生命に関する分子レベルの理解が急速に進んだ結果、現代の生命科学はデータ駆動型の研究スタイルが主流になりつつある。効率化・自動化されたハイスループトンな実験手法により大量の実験結果が生み出され、それらを格納したデータベースは加速度的に増大を続けている。さらに、新しい実験手法や新しい研究プロジェクトにより、かつてはごく僅かしか知られていなかったような実験結果が大規模かつ網羅的に集積した新しいデータベースも登場している。これらをいかに組み合わせ高度な解析を行ない、新しい知見の発見や有用な薬剤の開発に結びつけるかがいま問われているわけであるが、そのためには多様な情報処理技術を適切に応用して生命科学者の知的作業を支援することが必要である。本講演では、データベースの概要から最近の話題である文献からの知識抽出まで、知識処理に関連する各種のトピックスを紹介した上で、生命科学における知識処理の重要性と問題点について議論したい。



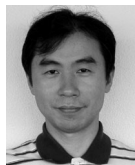
[略歴]

1989年 九州大学大学院工学研究科修了
1996年 九州大学博士（工学）
1989年 九州大学情報処理教育センター助手
1993年 九州大学工学部助手
1995年 九州大学情報処理教育センター助手
1998年 北陸先端科学技術大学院大学助教授

●基調講演 (2) 3月2日(水) 14:15-15:15 [第2イベント会場 (B棟1F 101教室)]
「バイオ情報学- コンピュータで生命の変化を知る - 遺伝子発現解析からシステム生物学へ」
石井 信 (奈良先端大)

[講演概要]

近年の生命科学情報の急激な増大は、生命科学が情報科学抜きでは最早議論できないことを示唆している。本講演では、まず、実験条件(サンプル)および対象(遺伝子, タンパク質, など)の両方にわたって網羅的に計測して得られる -omics データの計算機解析法について述べる。特に網羅的遺伝子発現解析における、クラスター解析, 特徴抽出, 可視化などの手法について述べ、実際の癌関連データへの応用例を示す。次に、生命現象のマクロスコピックな理解を目的としたシステム同定法、特に線形ダイナミカルシステムを用いた同定法について述べ、バクテリアの細胞周期制御解析への応用例を示す。最後に、計算機上に生命のモデルを構築する研究、いわゆるシステム生物学研究について、神経細胞の成長を題材として、生化学モデルと物理モデルの統合的モデルとそれを用いたシミュレーションについて述べる。このように計算機は、生命現象のメカニズムを理解し、かつその変化の予測することを通じて、基礎生物学、基礎医学に寄与すると考えられる。



[略歴]

1986年東京大学工学部卒業, 1988年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学博士。(株)リコー中央研究所研究員, ATR人間情報通信研究所研究員, 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授を経て, 2001年より奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。専門は論理生命学, 統計的学習理論, バイオインフォマティクス, 強化学習アルゴリズム, システム生物学, ロボット, 認知心理学, マルチエージェントなどの融合領域研究を実施している。

特別トラック (2): 経営に貢献するIT

[全体概要]

今日、企業や政府/自治体など組織の経営はITとの密着化が進行し、もはや両者は不可分となっている。そしてITが組織経営に真に貢献するには、組織の戦略を立案する技術と、それをシステムとして実現する技術を総合する必要がある。しかし、従来の取組みは様々な領域に分断され、その一方で新たな技術領域も生まれ、関連する技術の全体像を把握するのは困難である。そこでこの特別トラックでは関連する研究/事例発表を集め、技術領域の枠を横断して全体像を浮かび上がらせることを目標とする。

●基調講演 3月4日(金) 14:10-15:10 [第4イベント会場 (B棟2F 202教室)]
「インタンジブル・アセット～ITの企業戦略的価値」

田村 拓 (CSK)

[講演概要]

ITが企業の最重要資源のひとつであることは疑う余地がない。しかし、ニコラス・カーが2003年 Harvard Business Review に発表した「IT Doesn't Matter (もはやITに戦略的価値はない)」は、企業トップ、とりわけCEOの間で大きな反響を呼んだと言われる。われわれがマサチューセッツ工科大学(MIT)スローンスクールのエリック・プリニョルフソン教授と行っている共同研究によれば、IT投資のうち、目に見えるコンピュータ投資と「インタンジブル・アセット(見えざる資産)」への投資比率は1対9であり、企業は目に見えるハード、ソフトにかかる費用だけでなく、業務プロセスや社員教育、取引先との関係、顧客満足度といった「インタンジブル・アセット」への投資により目を向けるべきだと考えられる。このテーマから企業戦略にとつてのITの価値を再考し、企業における今後のITのあり方について展望したい。



[略歴]

1985年東京大学経済学部卒(BS), 91ニューヨーク大学Stern経営大学院卒(MBA)ファイナンス専攻。NTT, NTTデータを経てCSKに入社。グループ経営戦略のほか、ITと生産性に関するMITスローン経営大学院との共同研究を担当。また社会貢献推進活動として、21世紀の人材育成を標榜し、こども向けワークショップを展開する「CAMP (Children's Art Museum and Park)」を推進中。現在、CSK執行役員総合企画部長兼社会貢献推進室長。

特別トラック (3): システム検証技術 - その可能性・方向性

[全体概要]

システム検証技術は、システムの信頼性を向上し、また開発者を助ける道具として広く研究されてきた。さらに、情報技術が社会に急速に浸透しつつある今、その重要性は社会基盤の信頼性向上と開発を行う企業の競争力向上の両面においてますます高まっている。この特別トラックでは、システム検証技術とそれに関連する技術(仕様記述, テスト手法, プログラム解析・合成など)とその応用の研究発表を通じ、これらの技術の可能性、方向性を議論する。

基調講演として、木下佳樹氏(産業技術総合研究所システム検証研究センター長)をお招きし、産総研におけるシステム検証研究の活動を中心にシステム検証技術について講演をいただく。

●基調講演 3月2日(水) 13:15-14:15 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「抽象化の数理 - 数理的技法でのスケーラビリティを得るために」

木下 佳樹 (産総研)

[講演概要]

システム検証の数理的技法(formal methods)の基本的問題に、状態数や証明図などのシステムの記述が大きくなりすぎるという現象がある。抽象化はこの問題を解決するためのひとつのアプローチである。抽象化では、検証を行なおうとする具体的体系とは別の抽象的体系を用意する。抽象的体系では、システムの記述が十分に小さくなるようにし、しかも両体系の項や論理式を関係づけておいて「具体的体系の論理式を示すためには、関係づけられた抽象的体系の論理式を示せば十分である」という命題が成り立つようにしておく。そして、検証は記述がコンパクトにすむ抽象的体系で行う。モデル検査に関連して、抽象化を支援するソフトウェアツールの研究が盛んにおこなわれているが、ツール作りのよりよい指針を得るためにも、抽象化に関する数理的モデルの研究が必要であろう。本講演では、模倣、抽象解釈、論理的关系などの概念に基づく抽象化の数理的モデルを紹介する。また、これらを緩変換の概念を用いて説明し、相互の関連を明らかにする。



[略歴]

1956年生。東京大学大学院理学系研究科博士課程情報科学専攻修了、理学博士(情報科学専攻)。テキサスインスツルメンツ、電子技術総合研究所などを経て、現在、独立行政法人産業技術総合研究所システム検証研究センター長。千葉大学、筑波大学、東京大学などで非常勤講師として圏論の初歩を講義。1992-3エディンバラ大学基礎計算機科学研究所客員研究員。算譜意味論、とくに詳細化、抽象化の数理モデルの研究に携わる。

特別セッション (1)：情報系 21 世紀 COE の現在と今後の展望

〔全体概要〕

21 世紀 COE プログラムは、我が国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るために、文部科学省によって平成 14 年より行われている事業で、この事業に基づき様々な分野で先進的な研究・教育がなされているが、情報系の各拠点もその重要な一角を占めている。同プログラムにおいては、個別研究課題の先進性もさることながら、それを支える研究体制のあり方、ならびに、学生を含む若手研究者を第一線の研究者に育て上げる教育体制といった組織作りとその運用が鍵となっている。このような状況を踏まえ、本セッションでは、まず、文部科学省で同プログラムを担当されている担当官の方にご講演をいただき、大学改革という観点から同プログラムを概観する。さらに、幾つかの情報系拠点から拠点リーダ等をパネリストにお迎えし、組織作りとその運用を主題としたパネルディスカッションにより、情報系 21 世紀 COE の現状と今後について討論をする。本セッションを通じ、情報分野の研究・教育について、現在行われている先進的な試みの要点を参加者の皆さんと共有するとともに、今後のあり方について展望したいと考えている。

●基調講演 3 月 4 日 (金) 14:30-15:30 [第 2 イベント会場 (B 棟 1F 101 教室)]
「21 世紀 COE プログラムと大学改革」

近藤 弘 (文部科学省)

〔講演概要〕

「21 世紀 COE プログラム」は、「大学の構造改革」の一環として、第三者評価に基づく競争原理の導入により国公私立大学を通じた大学間の競い合いが活発に行われる中で、世界最高水準の研究教育拠点的形成を重点的に支援し、国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進するものです。これまで 3 年間で、国公私立大学を通じ、274 件 (93 大学) の特色ある世界的な研究教育拠点が選定されています。各大学においては、学長のリーダーシップのもとで全学的な観点から、研究面での特色の見極めや研究教育体制の構築の検討が盛んに行われるなど、国公私立を通じた大学全体の活性化のために非常に役立っているとさまざまな方面から伺っており、本プログラムは、効果を挙げつつあると考えています。本講演では、大学の構造改革全体での本プログラムの位置づけや、主なねらい、これまでの成果を中心として、今後の大学改革の方向性や、本プログラムの行方などについてもお話します。



〔略歴〕

1961 年東京都生まれ。東京農工大学工学部卒業。1985 年東京農工大学工学部。1988 年文部省高等教育局専門教育課。1993 年文部省高等教育局大学課。1993 年文部省高等教育局大学課大学院係主任。1994 年文部省高等教育局大学課大学院係長。1994 年文部省高等教育局大学課大学改革推進室長。1997 年文部省高等教育局企画課大学設置審査係長。2000 年国立教育研究所会計課長。2001 年国立教育政策研究所会計課長。2001 年九州大学主計課長。2003 年文部科学省高等教育局大学課課長補佐。2004 年文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐。

●パネル討論 3 月 4 日 (金) 15:45-17:00 [第 2 イベント会場 (B 棟 1F 101 教室)]
「情報系 21 世紀 COE における研究教育の現在と今後の展望」

〔討論概要〕

21 世紀 COE プログラムにおいては、個別研究課題の先進性もさることながら、それを支える研究体制のあり方、ならびに、学生を含む若手研究者を第一線の研究者に育て上げる教育体制といった組織作りとその運用が鍵となっております。このような状況を踏まえ、本パネル討論では、文部科学省で同プログラムに従事されている担当官、ならびに、幾つかの情報系拠点から拠点リーダ等をパネリストにお迎えし、組織作りとその運用を主題として、情報系 21 世紀 COE の現状と今後についてご討論いただきます。特に、拠点リーダの皆様には、各拠点で行なわれているユニークな取り組みについて簡単にご紹介頂き、その後の討論での題材として話題提供をして頂く予定です。



司会：森 辰則 (横浜国大)

〔略歴〕

1986 年横浜国立大学工学部情報工学科卒業。1991 年同大学大学院工学研究科博士課程後期修了。工学博士。同年、同大学工学部助手着任。同講師を経て現在、同大学大学院環境情報研究院助教授。自然言語処理、情報検索、情報抽出などの研究に従事。第 67 回全国大会プログラム委員会 本セッション担当委員。



パネリスト：田中 克己 (京大)

〔略歴〕

1974 年京大・工卒。1976 年同大学院修士課程了。1979 年神戸大・教養部・助手、1986 年工学部助教授、1994 年工学部教授を経て、2001 年より京大大学院情報学研究科社会情報学専攻教授。京大・工博。主にデータベースとマルチメディア情報システムの研究に従事。ACM TODS Area Editor、情報処理学会論文誌：データベース共同編集委員長など歴任。情報処理学会フェロー、日本データベース学会副会長。



パネリスト：辻井 重男 (情報セキュリティ大学院大)

〔略歴〕

昭和 33 年東京工業大学工学部電気工学コース卒業。中央大学教授、東京工業大学名誉教授。工学博士。電子情報通信学会会長、総務省電波管理審議会会長等歴任。現在、IEEE Japan Council Chair。著書「暗号—ポストモダンの情報セキュリティ」(講談社メチエ選書)、「暗号と情報社会」(文藝春秋社)ほか多数。



パネリスト：古井 貞照 (東工大)

〔略歴〕

昭 43 東大・工・計数卒。昭 45 同大学院修士課程了。NTT 電気通信研究所入社。ベル研究所客員研究員、NTT 基礎研究所第四研究室長、ヒューマンインタフェース研究所音声情報研究部長、同古井特別研究室長を経て、平 9 東京工業大学大学院情報理工学研究科計算工学専攻教授。工博。専門は、音声を中心とするマルチメディア情報処理。科学技術庁、IEEE、電子情報通信学会、日本音響学会などより論文賞、業績賞など受賞。IEEE、米国音響学会および電子情報通信学会 Fellow。ISCA (国際音声通信学会) 会長。



パネリスト：間瀬 健二 (名大)

〔略歴〕

1979 年名大・工学部・電気卒。1981 年同大学院工学研究科修士 (情報) 課程修了。同年日本電信電話公社 (現在 NTT) 入社。1988～89 年米国 MIT メディア研究所客員研究員。1995～2001 年 (株)ATR 知能映像通信研究所第二研究室室長。2001-2002 年 ATR メディア情報科学研究所第一研究室室長。2002 年より名古屋大学情報連携基盤センター教授。人工知能学会 1999 年度論文賞。IEEE、ACM、情報処理学会、電子情報通信学会、VR 学会、画像電子学会各会員。博士 (工学)。コミュニケーション支援のためのインタフェースエージェントの研究を推進している。

特別セッション (2)：これからはプロセッサはいらない？

[全体概要]

プロセッサは、その登場以来ずっと、情報処理を行う主役であり続けている。しかし、ムーアの法則のもとでの爆発的な半導体設計技術の進歩のもと、プロセッサを使わない形での情報処理がしだいに現実的・実用的なものに近づきつつある。回路で高度・柔軟な情報処理をしようとすると大量の論理ゲートが必要になってしまいが、昨今の半導体のポテンシャルは、そのスレッショルドを越しつつある。具体的には、高位ビヘイビア合成手法のようにプログラム記述から回路を得ようとする技術や、コンフィギュラブル・プロセッサ、ダイナミック・リコンフィギュラブル・ハードウェアのような「やわらかい(可塑性のある)」回路の技術などが進展しているが、これらは「硬いプロセッサの存在を想定しない情報処理」という大きな流れに位置づけられる。これらの技術は発展途上であり、実用性を疑う批判もないわけではないが、次第に実用的な価値が現れつつある。通常硬いプロセッサの性能向上が徐々に行き詰まりつつある中、こうした流れが半導体の潜在能力をどこまで引き出し、何をもたらしてくれるのかを考える。

●パネル討論 3月4日(金) 9:30-12:00 [第4イベント会場 (B棟 2F 202教室)]
「これからはプロセッサはいらない？」

[討論概要]

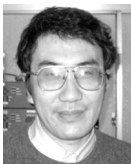
長年にわたり情報処理の主役の座を占め続けてきた汎用プロセッサは、使用可能なハードウェア量に強い制約のもとで様々な処理を効率良く行えるアーキテクチャである。一方「ムーアの法則」に象徴される半導体の集積度の指数関数的な向上の結果、ハードウェア量に対する制約が大幅に緩まりつつある。その結果、ビヘイビア合成のように逐次的な動作記述から論理回路を生成する技術や、コンフィギュラブル・プロセッサ、ダイナミック・リコンフィギュラブル・プロセッサのような「柔い(可塑性のある)」回路の実装が可能になってきた。これらのアーキテクチャは「硬いプロセッサの存在を想定しない情報処理」という技術トレンドの中に位置づけられる。これらの技術はまだ発展途上ではあるが、実用化の可能性も徐々に見えつつある。汎用プロセッサの性能向上が行き詰まりつつある中、このようなアーキテクチャが半導体の潜在能力をどこまで引き出し、何をもたらしてくれるのかを考える。



司会：今井 正治 (阪大)

[略歴]

1974年名大・工・電気卒。1979年同大学院博士後期課程修了(工博)。同年豊橋技科大奉職。同教授を経て1996年阪大・院・基礎工学研究科教授。その間、1984年から1985年にかけて米国サウスカロライナ大・工・客員助教授(文部省在外研究員)。これまで組合せ最適化アルゴリズム、ハードウェア/ソフトウェア協調設計、システムレベル設計手法などの研究に従事。IEEE, ACM, 電子情報通信学会, 情報処理学会各会員。



パネリスト：天野 英晴 (慶大)

[略歴]

1986年慶應義塾大学理工学研究科博士課程修了, 工学博士, 同年同大学電気工学科助手。
1990年Stanford大学 Visiting Assistant Professorを経て2001年より, 慶應義塾大学理工学部情報工学科教授。
情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会主査, 電子情報通信学会第2種リコンフィギュラブルシステム研究会副委員長。



パネリスト：佐藤 友美 (アイピーフレックス)

[略歴]

1958年生まれ。アイピーフレックス(株)取締役副社長, CTO。1983年茨城大学工学部卒業後日立電線エンジニアリング(株)入社。
以後数社を経て2000年アイピーフレックス(株)を設立, 現在に至る。
実績: パケット交換型/回線交換型光LANの開発, インテル互換CPUの機能検証方式確立, 386/486インテル完全互換マイクロプロセッサ開発, MPEG1ビデオ・デコーダLSI開発, MPEG2ビデオ・エンコーダLSI開発, アプリケーション特化型DSP・VUPU発明・開発。現在DAPDNAを発明・開発・商品化。



パネリスト：富山 宏之 (名大)

[略歴]

1999年3月に九州大学・大学院情報科学研究科・博士後期課程を修了。その後、カリフォルニア大学アーバイン校、(財)九州システム情報技術研究所の研究員を経て、2003年4月に名古屋大学・大学院情報科学研究科の講師となり、現在、同助教授。LSIの上流設計などの研究に従事。



パネリスト：宮森 高 (東芝)

[略歴]

1985年慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業。1987年同大学理工学部電気工学専攻修士課程修了。同年株式会社東芝入社。半導体技術研究所、マイクロエレクトロニクス研究所にて、マクロプロセッサの研究開発に従事。1996-98年米国スタンフォード大学に客員研究員として滞在中、プロセッサに密結合するリコンフィギュラブルアレイプロセッサを研究する。帰国後、マルチメディアSoCに組み込まれるコンフィギュラブルプロセッサの研究開発に従事。現在、株式会社東芝SoC研究開発センター主査。



パネリスト：村上 和彰 (九大)

[略歴]

1984年、京都大学工学研究科情報工学専攻修士課程修了。博士(工学)。1987年より九州大学。現在、大学院システム情報科学研究院情報理学部教授、および、情報基盤センター長。一貫して、コンピュータシステムアーキテクチャ、システムLSIアーキテクチャ、高性能&低消費電力計算、等の研究に従事。現在は、科学技術振興調整費で科学技術計算専用システムの開発、知的クラスター創成事業で動的システム最適化技術SysteMorph、同じくSoCプラットフォームRedefis、等の研究開発を遂行中。



パネリスト：若林 一敏 (NEC)

[略歴]

'84年東京大学工学部卒業、'86年東京大学大学院修士修了。現在、NECシステムデバイス研究所システムCAD研究部長。
LSIの設計方法論、自動設計ツールの研究開発に従事。長年開発してきたC記述からのハードウェア合成技術がやっと実用化し、上流での形式検証や、動的再構成チップのコンパイラの実用化を目指している。
情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE会員。

特別セッション (3)：情報漏洩対策

〔全体概要〕

顧客情報漏洩事件が頻発し、社会問題となっている。社内秘に扱われる個人情報や社内文書などの情報漏洩は、社会的信用を失い、また経済的なダメージも多大であるため、情報漏洩対策は企業の経営課題の一つとして注目されている。情報漏洩対策の実現のためには技術的対策が不可欠である。virus などから情報を守るためには、firewall や anti-virus だけでは完璧とは言えず、通信やセキュリティなどの技術が必要であり、また、それら全てをマネジメントするトータルソリューションも必要である。さらに、顧客情報漏洩事件に見られるように、技術は人が使うものであるため、技術だけでは万全な対策は困難である。来年4月に施行される個人情報保護法を含め、研究者・技術者側も法的対応を早急に検討していく必要もある。

そのような状況を踏まえ、この特別セッションでは、情報漏洩対策の可能性と方向性を検討する。

●基調講演 3月3日(木) 14:30-15:15 [第2イベント会場 (B棟1F 101教室)] 「技術者/研究者(エンジニア)の法的責任～個人情報保護法完全施行を控えて」

奥村 徹 (奥村 & 田中法律事務所)

〔講演概要〕

「個人情報の保護に関する法律」が2005年4月1日に完全施行されることになり、各事業者において対応が進んでいるところであるが、このように個人情報の重要性が意識されるに至って、技術者・研究者レベルにおいてはいかなる点に注意すべきであろうか。

情報システムに関連する各種法令に触れながら、法律の世界における「情報」の位置付けや「情報」に関する法的責任(著作権、不正アクセス、情報漏洩等)、法律と現実のギャップに言及したい。



〔略歴〕

1963年11月 大阪府豊中市生まれ、大阪府立北野高等学校、中央大学法学部卒。

1998年4月 弁護士登録。

論文「児童ポルノの罪の訴訟法的検討と弁護のヒント(季刊刑事弁護 NO30)」 「不正アクセスの禁止等に関する法律の運用(罪数判断を中心に)(CSS2003)」 「インターネット上の児童ポルノの擬律(EIP2003)」

●パネル討論 3月3日(木) 15:30-17:00 [第2イベント会場 (B棟1F 101教室)] 「情報漏洩対策における技術と法律」

〔討論概要〕

情報通信インフラの普及によって情報システムが一般にも身近になったことで、情報漏洩事件をはじめとした情報システムに関する事件は、今や一般的な事件として報道されている。また、追従するように不正アクセス禁止法などの法整備がなされており、4月からは個人情報保護法の完全施行を控えている。このような状況において、情報システムの研究開発に従事する研究者/技術者は技術だけではなく、法律面や経営面に関してもより良く知ることが一層重要になってくる。このパネル討論では、経営、法律、技術、学術の各方面の関係者をお呼びし、情報漏洩対策をはじめとした情報システムの法的・技術的問題点や、学生のみならず研究者/技術者に対して、「情報」に対するどのような教育(啓蒙活動)が必要になってくるかについて討論を行う。



司会：林 淑隆 (キャノンシステムソリューションズ)

〔略歴〕

1998年徳島大学大学院工学研究科システム工学修了。博士(工学)。同年、住友金属工業株式会社入社を経て、現在に至る。ネットワーク、セキュリティなどを中心に、システム設計/研究開発に従事。



パネリスト：大木 栄二郎 (IBM ビジネスコンサルティングサービス)

〔略歴〕

昭和45年日本アイビーエム株式会社に入社。平成5年コンサルティング事業部へ移籍しセキュリティ・コンサルティングの分野を確立。経済産業省や総務省、内閣官房、警察庁などのセキュリティ関連研究会委員を歴任。現在は、IBM ビジネスコンサルティングサービス株式会社チーフ・セキュリティ・オフィサー、パートナー、IBM ディスティングイッシュト・エンジニア、IBM アカデミー会員。セキュリティマネジメント学会常任理事総務部会長・個人情報保護研究会主査、ネットワークリスクマネジメント協会幹事・メールマガジン『啓・警・契』編集長、情報処理学会会員、日本セキュリティ監査協会理事・スキル部会長、地方公共団体セキュリティ対策支援フォーラム幹事・セキュリティ監査部会長、著書「経営戦略としての情報セキュリティ」、「経営戦略としての個人情報保護と対策」等。

パネリスト：奥村 徹 (奥村 & 田中法律事務所)

略歴・写真は基調講演を参照。



パネリスト：小島 肇 (龍谷大)

〔略歴〕

愛知工業大学電子工学科卒。菱友計算(株)中部支社を経て龍谷大学理工学部へ(電子情報学科 実習助手)。理工学部のコンピュータ及びネットワークを管理。



パネリスト：白川 理 (キャノンシステムソリューションズ)

〔略歴〕

セキュリティソリューション事業部・セキュリティ研究室長。

H2 阪大・基礎工・情報卒業。H4 同大大学院修士課程了。同年住友金属工業(株)入社、IT部門の業務に従事。H13(株)住友金属システムソリューションズ・セキュリティソリューション部 課長。H15キャノンシステムソリューションズ(株)・セキュリティソリューション事業部・セキュリティ研究室長。現在、情報漏洩対策セキュリティソフトウェア製品の企画、研究開発及び開発プロジェクト管理業務に従事。

特別セッション (4)：平成 18 年度教科『情報』入学試験シンポジウム

[全体概要]

平成 18 年度入試から、高等学校において新教科『情報』を受講した受験生が大学受験に臨むことになる。それに対して、個別学力検査において、いくつかの大学が教科『情報』を受験科目に採用し、可否の判定に用いる予定でいる。また、その入試に備え、現在の高校 3 年生や『情報』担当教諭を対象とした試行試験を実施している大学もある。本シンポジウムでは、現状の『情報』の教科内容をもとに、模擬試験を実施して、現役の高校生、高校教諭とともに、情報専門の教育機関関係者や情報関連の企業の方々に解答していただく。その後、問題の内容と解答例を示し、その採点結果をもとに、受験者の感想を聞いた上で、出題の質や『情報』を受験科目に取り入れることによる効果について、パネルディスカッションの形で議論を進める。未来の情報関連の産業・学問を担う若い世代をいかに情報関連に引き込めるかという期待を込めて、受験科目『情報』の可能性について探っていく。

●基調講演 3月2日(水) 14:00-14:30 [第1 イベント会場 (講堂)]

「東京農工大学での教科『情報』試行試験の試み」

中森 真理雄 (農工大)

[講演概要]

平成 15 年度から高等学校の新しい学習指導要領が実施され、新設の教科「情報」が必修となった。この最初の高校生が平成 18 年度大学入試を受ける。東京農工大学情報コミュニケーション工学科では、入試個別学力検査に「情報」を出題することにしており、平成 16 年度に 3 回の試行試験を実施する(2 回目まで終了)。情報科学に対する社会の理解は皮相的であり、サイエンスとしての面はほとんど知られていない。しかし、サイエンスとしての情報科学の理解を欠いた IT 機器活用能力は発展性がなく、すぐに陳腐化する。「情報」入試の試行では、サイエンスとしての情報科学の基礎学力を測る問題を出題した。この試みは、情報科学がどのような学問であるかを学内外に宣言する絶好の機会であり、高等学校における「情報」教育に影響を及ぼすことは必至である。また、「情報」入試を受けた学生の情報学科卒業時の実力が現在の情報学科卒業生を上回することは間違いない。「情報」入試を実施する大学が増えることを期待したい。



[略歴]

1971 年東京大学工学部計数工学科卒業。1977 年同大学院工学系研究科計数工学専門課程修了。工博。同年東京農工大学工学部数理情報工学科講師。現在同大学情報コミュニケーション工学科教授。同大学図書館副館長。アルゴリズムと最適化の理論と応用の研究・教育に従事。本学会 MPS 研究会主査(1995-1999)。本学会における情報教育モデルカリキュラムの策定に平成元年度から参画。日本オペレーションズ・リサーチ学会理事(1997-1999)・フェロー。

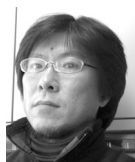
●パネル討論 3月2日(水) 15:00-17:00 [第1 イベント会場 (講堂)]

「教科『情報』についてどのような入試を期待しますか?」

[討論概要]

平成 18 年度から個別学力検査入学試験の受験科目として、新教科『情報』の採用を予定している大学で試行試験が実施され、パネル討論の前にその一部の問題を参加者に解答していただきます。パネル討論では、その模擬試験の出題方針を示し、解答例について解説することから始め、解答に参加した現役の高校生、高校教諭らの実際に問題に当たった意見・感想について述べていただきます。パネリストの大学関係者、企業側から、それぞれの立場において、情報系に関連する学科だけでなく、工学部、理学部を含む他の学科学部において教科『情報』を取り入れることにより期待される効果について議論し、会場からのさまざまな意見を集約することで、今後の受験科目としての『情報』方向性について一石を投じたいと考えています。

なお、議論は受験科目としての内容に焦点を当て、現状での『情報』の教科書やその教科内容について議論するものではありません。



司会：中條 拓伯 (農工大)

[略歴]

1961 年生まれ。1985 年神戸大学工学部電気工学科卒業。1987 年神戸大学大学院工学研究科修了。1989 年神戸大学工学部助手を経て、現在、東京農工大学大学院共生科学技術研究部部助教授。1998 年より 1 年間イリノイ大学アーバナシャンペーン校 Center for Supercomputing Research and Development (CSR) にて、Visiting Research Assistant Professor。



パネリスト：小原 格 (都立町田高校)

[略歴]

東京学芸大学教育学部特別教科教員養成課程数学科専攻卒業。平成 5 年 4 月東京都立新島高等学校数学科教諭として入都。平成 12 年 4 月東京都立町田高等学校へ異動。現職教員等講習会により、教科「情報」免許取得。平成 15 年～現任校にて情報科を担当。東京都「とうきょうの教育 21」研究開発員(情報)、東京都高等学校情報教育研究会幹事。本校において、文部科学省学力向上フロンティアハイスクール及び教育課程研究指定校情報科担当教員。日本文教出版「情報 A」教科書編集委員。



パネリスト：城 和貴 (奈良女子大)

[略歴]

大阪大学・理・数卒、日本 DEC、ATR、クボタで勤務後、奈良先端科学技術大学院大学で学位取得、同大学情報科学研究科助手、和歌山大学システム工学部講師、助教授を経て現職。現在、情報処理学会に於いて、数値モデル化と問題解決研究会主査、論文誌数値モデル化と応用副編集委員長、論文誌コンピューティングシステム編集委員を担当。

パネリスト：中森 真理雄 (農工大)

略歴・写真は基調講演を参照。



パネリスト：古瀬 慶博 (三菱スペースソフトウェア)

[略歴]

1984 年金沢大学大学院自然科学研究科修士課程修了。1984 年センチュリーリサーチセンタ(株)(現、CRC 総研)入社。89 年金沢大学大学院修士課程満期退学。89 年三菱スペース・ソフトウェア(株)入社、91 年学術博士(地球科学)、組込み系ソフトウェアの仕事に従事した後、99 年まで w3mail(w3.org)サービスを運営。現在、疫学とリスクコミュニケーションのあり方に取り組む。情報処理学会 TOM 副編集長。

※その他、当日会場にて現役高校生参加者よりパネリストを募集

特別セッション (5)：組込みシステム産業の将来とそれを支える技術者育成

[全体概要]

2004年10月1日に、経済産業省の支援を受け、ソフトウェア・エンジニアリング・センター（SEC）を独立行政法人情報処理推進機構に設立致しました。設立目的は、「ものづくり」としての高品質なソフトウェア開発をめざして」であり、SECの組込みソフトウェア開発力強化タスクフォースによりエンジニアリング領域と技術スキル育成領域の観点から検討を着手致しました。

本セッションは、この組込みソフトウェア開発力強化タスクフォース活動の軸となる委員により、組込みシステム技術の目指すべき方向性と産学官による取り組みの重要性について、またその裏付けとなるシステム産業の実態調査の速報について講演を行います。また、将来像と育成の戦略についてパネルでの討論を行います。

●基調講演 (1) 3月2日 (水) 13:15-14:15 [第4イベント会場 (B棟2F 202教室)]

「組込みシステム技術動向」

高田 広章 (名大)

[講演概要]

この講演では、組込みシステム開発の現状と課題について述べる。最初に、組込みシステムが本質的に持つ多様性と、さらに分化が進んでいる現状について述べ、組込みシステムとは何か、どのような特性を持つのか、組込みシステム技術とは何かについて述べる。次に、組込みシステム開発が現在抱えているいくつかの課題について解説する。特に、設計資産の再利用、組込みシステムの検証環境、ハードウェアとソフトウェアの協調設計について、課題と解決に向けての方向性を述べる。さらに、講師が中心になって取り組んでいる TOPPERS プロジェクトについて簡単に述べた後、組込みシステム研究・開発の活性化の必要性と、産学官連携促進の重要性について述べる。



[略歴]

名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授。東京大学助手、豊橋技術科学大学助教授などを経て、2003年4月より現職。組込みシステム開発技術の研究に従事。ITRON仕様の標準活動に参加し、 μ ITRON4.0仕様などの取りまとめを行なう。オープンソースのITRON仕様OSなどを開発する TOPPERS プロジェクトの会長をつとめる。

●基調講演 (2) 3月2日 (水) 14:15-15:15 [第4イベント会場 (B棟2F 202教室)]

「組込みソフトウェア産業の実態 ～2005年版技術者個人向け調査速報～」

田丸 喜一郎 (東芝)

[講演概要]

経済産業省では我が国の組込みソフトウェア産業実態調査を昨年度から実施している。昨年度の企業・組織にフォーカスした調査に加え、本年度は技術者個人にフォーカスした調査、開発プロジェクトにフォーカスした調査を実施している。本講演では、その結果の一部を速報版として初公開する。



[略歴]

1981年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了。工学博士。同年、株式会社東芝入社。半導体技術研究所にてマイクロプロセッサおよび応用ソフトウェア開発環境の研究・開発に従事。本社技術企画室を経て、現在、ブロードバンドシステム LSI 開発センター参事。独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター組込み系プロジェクトサブリーダー。

●パネル討論 3月2日 (水) 15:30-17:30 [第4イベント会場 (B棟2F 202教室)]

「組込みシステム技術者の将来像と育成戦略」

[討論概要]

平成15年度の経済産業省の調査によると、製品開発コストの約40%が組込みソフトであるという調査結果が出ている。見方によっては、組込みシステム技術（以下、ETと略記）は日本の製造業の共通基盤技術になりつつあるとも言える。一方、同調査によると今後3年間だけでも約5万人のET技術者が調達できなくなるという深刻な事態も予想されている。多くの企業が海外に製造拠点を移すグローバル化の中で、ET分野の人材調達の問題は国内だけでは収まらない状況にある。今後、わが国の製造業の国際競争力を強化するには、国内国外を含めてET技術者を継続的に確保することが競争力を強化する戦略上の要と言えよう。この要をクリアするためには、ETそのものの革新、ET技術者の人材像や将来像、スキルの評価、キャリアアップモデル、ET技術者育成方法や育成拠点の開拓などが考えられる。このパネルディスカッションでは、これらの諸問題をさらに明確にすることや、その解決策について論じる。



司会：大原 茂之 (東海大)

[略歴]

昭44東海大学工学部電子工学科卒、昭46同大大学院工学研究科修士課程電子工学専攻修了、同年同大助手、現在同大電子情報学部情報メディア学科教授、工博。プログラムの構造化、組込み技術に関する研究に従事。この間、情報処理技術者試験委員、経済産業省の組込みソフトウェア開発力教科推進委員会スキル領域幹事を歴任。著書「はじめてマイコンを学ぶ人のために」(オーム社)など、電子情報通信学会、IEEE各会員。



パネリスト：祝谷 和宏 (経済産業省)

[略歴]

1996年通商産業省(当時)入省。機械情報産業局、内閣官房IT担当室勤務を経て、2003年5月より現職。ソフトウェアエンジニアリングの推進、ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクトなどソフトウェア競争力強化に関する技術政策を中心に担当。現在、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課課長補佐。



パネリスト：清尾 克彦 (三菱)

[略歴]

1969年三菱電機入社。汎用計算機のマイクロプログラム開発支援システム、CADデータベースシステムの開発に従事した後、汎用中型計算機のCPUのHW開発に参画。LSI化に伴い、CAD開発部門に戻り、大規模検証システム/LSI設計システムを構築。その後、システムの大規模化に伴い、HW/SW協調設計を推進。2002年より技術者教育研修部門に移り、現在、主席研究員としてLSI設計分野及び情報ソフトウェア分野を担当。経済産業省組込みソフトウェア開発力強化推進委員会委員、教育部会主査、日本工学教育協会編集出版委員会副委員長、情報処理学会、電子情報通信学会会員。

パネリスト：高田 広章（名大）
略歴・写真は基調講演を参照。



パネリスト：西 康晴（電通大）
[略歴]

2001年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。ソフトウェアテストやQAに関するコンサルタントを経て、現在電気通信大学電気通信学部システム工学科講師。博士（工学）。ソフトウェアのテストや品質、信頼性などのソフトウェアエンジニアリングについて興味を持つ。情報処理学会ア krediteーション委員会SEWG幹事、組込みソフトウェア管理者技術者育成研究会（SESSAME）副理事長、ソフトウェアテストシンポジウム共同実行委員長などを務める。



パネリスト：渡辺 登（IPA）
[略歴]

1986年、沖通信システム(株)入社後、キャリア向け交換機や通信機器の組込みソフトウェア開発に従事。組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会(SESSAME)、経済産業省主催の組込みソフトウェア開発力強化推進委員会で、組込みソフトウェアのスキル標準の開発に従事。2004年、(独)情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター(IPA/SEC)、組込みソフトウェア系プロジェクト研究員として、組込みソフトウェアの人材に関する取り組みに従事。

特別セッション（6）：温故知新

[全体概要]

本セッションでは、大先生、中先生(?)、小先生(??)に、昔の全国大会発表を可能な限り当時のように再現していただく。そして、復刻のあと、それが今日どうなったのか、どうしてそれが(その後)成功または失敗したのか、今日的視点で見てどう整理されるものなのか、その研究がもたらした(当時は気がつかなかった)教訓はなんだったのか、などなど、場合によっては当人の冷汗が欠かせないようなお話をさせていただこうかと考えている。若い人達が、先達の若かりしころに歩んだ道を打ち明けられることによって、自分の行なっている研究開発を見直す機会を与えるとともに「大先生、または中先生(?)、さらにはまたは小先生(??)」と見られている方々に生身の人としての親しみをもってもらおうと考えている。その意味では、全国大会の発表がその後の研究の躍進につながったという発表のほかに、昔はこんな失敗もあったなあという「懐メロ」的発表を頂き、若い人が元氣の出るような面白く楽しいセッションにしたい。

●講演（1） 3月2日（水）13:15-13:30 [第5イベント会場（B棟2F 201教室）]
「ファームウェア開発支援システム CHEF の広域コンパクト化方式」(第23回大会，1981)

石田 亨（京大）

[講演概要]

マイクロプログラムコンパイラの開発プロジェクトで、マイクロプログラムの最適化モジュールの設計をしていた頃の論文です。マイクロ命令数を1つでも減らすために、セグメント（一連の逐次的処理）の範囲を超えて、マイクロオーダを移動させました。汎用的なアルゴリズムはないかと、毎日通勤途中に考えた結果、ループや分岐を超えてマイクロオーダを移動するちょっと奇抜な方法を思いつきました。他のモジュールの実装はすべて発注したのですが、最適化モジュールだけは自分でコーディングをしたのを覚えています。参考文献も書いてない当時の論文を見ますと、余所見する時間もなく開発に取り組んでいた頃が思い出されます。



[略歴]

1978年京都大学工学部情報工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話公社入社。1991年NTTコミュニケーション科学研究所主幹研究員。1993年京都大学教授。ミュンヘン工科大学、パリ第六大学、メリーランド大学、上海交通大学客員教授。工学博士。IEEE Fellow。プロダクションシステム、実時間探索、自律エージェントとマルチエージェントなどの研究に従事。現在、デジタルシティや異文化コラボレーション実験に取り組む。

●講演（2） 3月2日（水）13:30-13:45 [第5イベント会場（B棟2F 201教室）]
「並列論理型言語のコンパイル技法」(第30回大会，1985)

上田 和紀（早大）

[講演概要]

今から20年と少し前、第五世代コンピュータプロジェクトの並列核言語のベースとして並行論理プログラミングパラダイムが有力候補にあがり、その妥当性についてプロジェクト内外で賛否両論が渦巻く中で、さまざまな観点から言語仕様と実装方式について研究を進めていた。本発表では、Concurrent Prologの実装方式の研究と意味論の再検討を通じて、Concurrent Prologの代案としてのGuarded Horn Clauses (GHC)を着想するまでの、1984年当時の研究の進展の様子を紹介する。



[略歴]

1978年東大工学部計数工学科卒業。1993年より早大理工学部情報学科、現在同コンピュータ・ネットワーク工学科教授。工学博士。専門はプログラミング言語、並行・並列処理など。第7回日本IBM科学賞、日本ソフトウェア科学会第4.5回論文賞など受賞。2004年より日本ソフトウェア科学会機関誌「コンピュータソフトウェア」編集委員長。

●講演 (3) 3月2日 (水) 13:45-14:00 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「漢字符号の変換」(第13回大会, 1972)

植村 俊亮 (奈良先端大)

[講演概要]

(温故) 計算機で漢字を処理する試みが始まりつつあるが、漢字入出力装置ごとに漢字符号が違っているのが現状である。そこで、漢字ごとに各装置での漢字符号を整理し、装置相互間での漢字符号の変換を可能にした。

(知新) その後、漢字符号標準化が必要かどうかの議論を経て、本学会の尽力により、漢字符号の日本工業規格 (JIS) が制定された。最近ではこの JIS に拡張要求がでる一方で、国際符号化文字集合も JIS になり、漢字符号の世界も深化している。32 ビット固定長符号を考えるべき時期である。



[略歴]

1964 年京都大学工学部電子工学科卒業。1966 年同大学大学院工学研究科修士課程修了。同年電気試験所(産業技術総合研究所)。1970 年マサチューセッツ工科大学電子システム研究所客員研究員、1988 年東京農工大学教授を経て、1993 年から奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。データ工学、データベースシステムの研究に従事。工学博士。IEEE Fellow、電子情報通信学会フェロー。本学会理事。現在、情報処理学会理事、日本情報考古学会理事、データベース振興センター評議員等。

●講演 (4) 3月2日 (水) 14:00-14:15 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「プログラム・シンセシス (自動合成) の理論的側面」(第17回大会, 1976)

後藤 滋樹 (早大)

[講演概要]

プログラミングは人間にとって難しい作業である。これを解決するために自動的にプログラムを合成(シンセシス)する研究を進めていた。当時は世界的に競争する状態であり、私自身は研究を進めるためにスタンフォード大学の客員研究員となり、帰国後に学位論文を書いた。結論を簡単に表現すると、プログラムというものが論理的にも難しいものであることを再確認する結果を得た。最初の大きな問題は未だ解決されていない。

その後のコンピュータ・サイエンスの発展を見ると、研究内容と社会の期待とが乖離していると思う。研究内容はより高度になっているが、その研究が上首尾に遂行されたとしても、世の中の人に恩恵が及ばない。逆に言えば、社会が期待している情報処理技術のレベルは、それほど高級なものではない。サイバー社会という言葉が喧伝されているが、実際に世の中で活用されている情報処理技術は文房具の代替をしているに過ぎない。



[略歴]

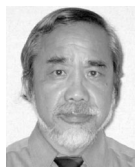
1971 年東京大学理学部数学科卒業、1973 年同修士課程修了、同年電電公社武蔵野電気通信研究所に入所、NTT ソフトウェア研究所広域コンピューティング研究部長を経て、1996 年早稲田大学理工学部教授。工学博士専門分野はコンピュータネットワークおよび人工知能。インターネットとの関わりは古く 1984 年～85 年米国スタンフォード大学に客員研究員として滞在した際、初期の CISCO 社の製品に接したことに始まる。帰国後に JUNET および NTT 研究所内のネットワークの拡充に尽力した。

●講演 (5) 3月2日 (水) 14:15-14:30 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「"プログラミング画法" の提案」(第17回大会, 1976)

竹内 郁雄 (電通大)

[講演概要]

黒板の講義がわかりやすいのは、書いた順番という時系列情報が含まれるからである。プログラミングにおいて、図を使うことは多く行われてきているが、ここで提案した「プログラミング画法」は時刻の異なる情報を 1 枚の図に入れることで、処理を見やすくすると同時に、並行処理を自然に表現するというものである。実際に(当時の)筆者は、これでプログラムのドキュメントを書き、その便利さを実感した。この講演は単発的なものであり、その後もこれをなんらかの形で実装するとか、言語としてクリアなものにするということはしてこなかった。しかし、複雑なプログラムを書くとき、あるいは講義等ではときどき使ってきた。予稿は手書きであり、かつ筆者の写真を掲載したという意味では(多分、2 番目に)画期的であった。



[略歴]

1969 年東大理学部数学科卒、1971 年同大学院理学系研究科修士課程修了。同年日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所。NTT 基礎研究所竹内研究グループリーダーなどを経て、1997 年より電気通信大学情報工学科教授。博士(工学)。記号処理システムの研究開発、実時間分散協調問題などに興味をもつ。

●講演 (6) 3月2日 (水) 14:30-14:45 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「自然言語解析の研究とその周辺」(第16回大会, 1975 / 第17回大会, 1976)

田中 穂積 (東工大)

[講演概要]

MIT にいた V. Pratt の書いた Lingol というパーザの存在を知ったのは、たまたま MIT の Moses が電子技術総合研究所で人工知能の連続講義を行っていたとき、彼の作成した MACSYMA という数式処理システムの数式のパーザとして、Lingol を使っているという話を聞いたからである。彼に(紙の)手紙をかけたところ、ソースのプリンアウトを送ってくれた。当時は LISP の良い処理系が日本になく、電総研では淵一博氏(当時、推論機構研究室長)が電総研 Lisp を開発中であった。そこで MIT の MACLISP で書かれた Lingol のソースプログラムを読みながら、LISP の勉強とパーザの勉強することとした。筆者は MACLISP 版のソースを電総研 Lisp 版に書き直して Lingol を動作させながら、電総研 Lisp のデバックを行った。Lingol は実に良くできたプログラムであったが、分かち書きを前提とした英語文を対象としていたので、そのままでは、べた書きの日本語文が解析できない。論文「統語情報を用いて文の分かち書きを行うプログラム」は、文法情報を使いながら日本語文の分かち書きを行うアルゴリズムを記述したものである。その後 Lingol に機能拡張を施し「文法解析システムにおける予測制御機構について」として発表し、それを拡張 Lingol と命名し一般に公開した。いずれも筆者が自然言語技術の世界に入り込むきっかけになった研究である。



[略歴]

1966 年 東京工業大学修士課程修了。
1966 年 通産省工業技術院電気試験所入所。
1983 年 東京工業大学工学部情報工学科 助教授。
現在 東京工業大学大学院情報理工学研究科。

●講演 (7) 3月2日 (水) 14:45-15:00 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]

「CAPプロジェクト (1) - ねらいと構想 -」(第32回大会, 1986)

玉井 哲雄 (東大)

[講演概要]

竹内プログラム委員長から「温故知新セッション」のお誘いを受けたが、およそ全国大会で発表した記憶がない。調べてみるとこの5人連名の末尾に自分の名前がある「CAPプロジェクト(1)」が大会予稿集に名前のある唯一のものらしい。登壇発表者は今は亡き広瀬健氏である。これでは資格がないので竹内さんには一旦お断りしたら、広瀬氏を偲ぶという趣旨で話したらどうかとの示唆を得た。中にはこのような変わったものもあっても面白いかと、お引き受けした。これはICOT (第5世代コンピュータ) プロジェクトの1つを紹介したものである。テーマは数学者の道具となる定理証明系の開発である。広瀬氏はCAPプロジェクト委員会の委員長で、共著者の横井氏 (現東京工科大)、坂井氏 (現筑波大)、横田氏 (現岡山県大) は、ICOTメンバーとしてこのプロジェクトを主体的に動かしていたリーダー達であった。いずれも現在は大学に席を置かれて活躍されている。しかし、このプロジェクトには他にも多くの有力な参加者があった。一部の名前を挙げると佐藤雅彦氏 (現京大)、笈捷彦氏 (早大)、林晋氏 (現神戸大) といった人達である。

筆者は、当時(株)三菱総合研究所に所属し、ソフトウェアの開発その他、このプロジェクトに関わる作業の委託を受ける外注先という立場であった。筆者自身は定理証明系の専門家であったわけではなく、それ以前もその後もこの分野を研究の中心においたことはないが、1970年代のプログラム検証系の開発や、1990年代のモデル検査の応用などで、多少なりとも縁が続いてきたとは言えるだろう。

[略歴]



1948年生。1970年東京大学工学部計数工学科卒業。1972年同大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。同年(株)三菱総合研究所入社。1985年同社人工知能開発室室長。1989年筑波大学大学院経営システム科学専攻助教授。1994年東京大学教養学部教授、1996年東京大学大学院総合文化研究科教授、2000年同大学院情報学環教授、2003年同大学院総合文化研究科教授、現在に至る。工学博士。ソフトウェアの仕様・検証技術、モデル化技術、進化プロセスの分析、協調計算モデルの開発、等の研究及びそれらの技術の実際的な問題への適用に従事。著書に「ソフトウェア工学の基礎」(岩波書店, 2004)、「ソフトウェアのテスト技法」(共立出版, 1998) など、訳書に「ソフトウェア博物誌」(トッパン, 1997) などがある。日本ソフトウェア科学会、情報処理学会、電子情報通信学会、日本オペレーショズリサーチ学会、人工知能学会、ACM、IEEE 各会員。

●講演 (8) 3月2日 (水) 15:00-15:15 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]

「KEIO-TOSBAC タイムシェアリングシステム」(情報処理月例会, 1968)

土居 範久 (中央大)

[講演概要]

慶應義塾大学では、計算機にもとづく協同体系の開発を目的として1965年頃からタイムシェアリングシステムの研究にとりかかり、TOSBAC 3400-30を中心としたタイムシェアリングシステムを開発し、1967年6月から第0版を実験的に工学部キャンパスで稼働させた。この実験にもとづき種々の改良を加えた第1版をその後開発した。第1版は東芝青梅工場開きの際に受付業務などで使われた。TOSBAC3400-30本体の改造、端末および端末制御装置の開発をはじめ、OS、会話型FORTRAN, LISP, SNOBOL、数式処理システム、カーブプロット操作言語 Autoplot、卓上計算機などを開発した。商品化の話もあり、引き合いもあったが、東芝の戦略変更に伴い、世に出ることはなかった。しかし、このタイムシェアリングシステムの開発が大いなるきっかけとなり、これ以降、慶應義塾大学においてソフトウェアの研究・開発が盛んになった。

[略歴]



1969年 慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学情報科学研究所助手、講師、助教授、教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て、現在、中央大学理工学部教授、慶應義塾大学名誉教授、慶應義塾大学客員教授、国立民族学博物館客員教授。現在、文部科学省科学技術・学術審議会委員、総務省情報通信審議会委員、科学技術振興機構 (JST) 社会技術システムミッションプログラム I「情報セキュリティ」研究統括、特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会会長、国際計算機学会 (ACM) 日本支部長などを務める。専門はソフトウェアを中心とした計算機科学および情報セキュリティ。

●講演 (9) 3月2日 (水) 15:30-15:45 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]

「オンライン手書き文字認識から手書きインタフェースそして発想支援環境へ」(第24回大会, 1982)

中川 正樹 (農工大)

[講演概要]

日本語処理、日本語文書出力と併せて三位一体で始めた日本語入力手段としてのオンライン手書き文字認識研究は、その後、ユーザインタフェース、アプリケーションとの新しい三位一体研究を経て、文脈処理やオフライン手書き文字認識との統合に発展し、近年はタブレットPCや電子白板で自由に筆記される数式や文章の認識・検索などの研究に力点を移行してきている。ただし、その完成にはまだまだ遠い道にあり。しかしながら、この過程で、電子白板の開発や、教育アプリケーションの開発など思いがけない経験もした。今日は最近になって見出した日本語の特異性について、中国語と英語との比較において、紹介する。

[略歴]



1997年東京大学理学院卒業。1979年同大学院修士課程修了。同在学中、英国 Essex 大学留学 (M.Sc. with distinction in Computer Studies)。1979年東京農工大学助手。現在、教授。日本語計算機システム、日本語プログラミングなどの研究開発から、文書入出力などに興味を移し、近年は、手書きパターン認識、手書きユーザインタフェース、教育の情報化などの研究・教育に従事している。理学博士。

●講演 (10) 3月2日 (水) 15:45-16:00 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]

「多重世界機構による時間の表現と問題解決」(第33回大会, 1986)

中島 秀之 (はこだて未来大)

[講演概要]

論理に基づく知識表現システム Uranus の多重世界機構には、知識の階層構造や状態の変化などを記述する能力がある。ここでは、この機構を時間の経過にともなう状態変化の表現に用い、問題解決を行うシステムについて述べる。

なお、この表現方法はその後、状況依存性の扱いへと発展して行くが、20年を経過した現在からその発展を振り返る。

[略歴]



1983年、東京大学大学院情報工学専門課程修了 (工学博士)。人工知能を状況依存性の観点から研究。マルチエージェントならびに複雑系の情報処理とその応用に興味を持っている。現在、公立はこだて未来大学学長。産業技術総合研究所情報技術研究部門研究顧問。認知科学会元会長、ソフトウェア科学会元理事、人工知能学会元理事、情報処理学会元理事。マルチエージェントシステム国際財団元理事。主要編著書: 知能の謎: 認知発達ロボティクスの挑戦 (講談社ブルーバックス)、AI事典第2版 (共立出版)、知的エージェントのための集合と論理 (共立出版)、思考 (岩波講座認知科学8)、記号の世界 (岩波書店)、Prolog (産業図書)。

●講演 (11) 3月2日(水) 16:00-16:15 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「HITAC 5020 ソフトウェアシステム (2) -HARP5020」(第5回プロシン, 1964)

中田 育男 (法政大)

[講演概要]

HARP5020は言語としてはIBM社のFORTRAN IV言語をそのまま採用しているが、デバッグ用機能等いくつかの機能を追加している。
当時の発表での3項目;(1)複数のアキュムレータの使い方,(2)ループ内での配列アクセスの最適化,(3)デバッグ文のうち,(1)については複数個あるから余り工夫しなくても効率の良いプログラムになるとしたが、その後、この部分のコーディングの直前になって、複数個のアキュムレータ(レジスタ)を最適に利用するアルゴリズムを思いついた。現在はSethi-Allmanの方式として知られている。
(2)についてはアドレス演算のための表を用意して、アドレス計算も含めて配列要素へのアクセスが2命令ですむようにした。その結果、コンパイルも実行も速いコンパイラとなった。しかし、この方式は其後のFORTRAN規格には合わないことになった。その後は、最適化コンパイラでの研究開発が進んでいる。



[略歴]

1960年 東京大学大学院修士課程修了。1960年～1979年 日立製作所(中央研究所、システム開発研究所)。
1979年 筑波大学電子・情報工学系教授。1997年 図書館情報大学教授。2000年 法政大学情報科学部教授。
研究テーマ: プログラム言語とコンパイラ

●講演 (12) 3月2日(水) 16:15-16:30 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「Lazy ReductionによるHAのNormalization」(第23回大会, 1981)

萩谷 昌己 (東大)

[講演概要]

一階の直観主義算術HA(Heyting Arithmetic)のnatural deductionによる体系に対して、今でいう名前呼びの簡略戦略を定義し、この簡略戦略が最小限の簡略によってEP(existence property)とDP(disjunction property)を導き、この際にHarrop論理式を結論とする部分証明は全く簡約されないことを示した。また、実際にHAの証明を記述する言語を設計し、上述の簡略戦略を実行する処理系を実装した。



[略歴]

昭和57年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。京都大学数理解析研究所を経て、現在、東京大学大学院情報理工学系研究科教授(コンピュータ科学専攻)。検証などプログラミングやソフトウェアの基礎に関する研究を行うかたわら、新しい計算パラダイム、特に分子コンピューティングの研究を行っている

●講演 (13) 3月2日(水) 16:30-16:45 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「汎用計算機に適した実時間ごみ集め」(記号処理研究会41-4, 1987)

湯浅 太一 (京大)

[講演概要]

若いころに全国大会で発表した記憶がなかったので、著者索引で検索したところ、やはり発表していなかった。もともと話が下手なので、12分の発表時間では説明不可能と居直っていたのか、はたまた発表に出かけるのが面倒なだけだったのか。仕方がないので、記号処理研究会での口頭発表を取り上げることにした。当時の予稿には次のように概要が記されている。「汎用計算機、すなわち単一プロセッサのフォン・ノイマン型逐次実行計算機上のリスト処理システムに適した実時間ごみ集めのアルゴリズムを提案する。」概要にしては、「汎用計算機」とは何かの説明がくどいが、専用機開発が盛んであった当時の事情を物語っている。



[略歴]

1977年京都大学理学部卒業。1982年同大学大学院理学研究科博士課程修了。同年京都大学数理解析研究所助手。1987年豊橋技術科学大学講師。1988年同大学助教授。1995年同大学教授。1996年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻教授。1998年同大学院情報学研究科通信情報システム専攻教授となり現在に至る。理学博士。記号処理、プログラミング言語処理系、並列処理に興味を持っている。
著書「Common Lisp 入門(共著)」,「C言語によるプログラミング入門」,「コンパイラ」ほか。
情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM各会員。情報処理学会フェロー。

●講演 (14) 3月2日(水) 16:45-17:00 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「述語理論における証明手続について -Theorem Prover TP-1-」(会誌Vol.14-2, 1973)

米澤 明憲 (東大)

[講演概要]

本発表は一階述語論理式の新しい自動証明法について述べるものである。まず、GentzenのLK論理システムにたいする我々の証明手続き(BPP)が完全であることを証明する。その後、述語論理の論理式の幾つかのクラスの恒真性が決定可能であることを、BPPの完全性を用いて示す。そして、その恒真性の決定について効率の良い手続き(DAIM)を与える。最後に、DAIMとBPPを組み合わせた手続きに基づいた、自動証明器(TP-1)を実装したので、それについて報告する。



[略歴]

1947年6月に生まれ、70年東京大学工学部計数工学科卒。MIT計算機科学科博士課程修了(Ph.D. in Computer Science),「並列オブジェクト」概念のパイオニアの一人として知られている。帰国後、東工大を経て、現在、東京大学情報理工学系研究科教授に着任した。現在、分散並列計算、ソフトウェアセキュリティに興味をもつ。ACM TOPLAS副編集長、ACM Fellow、日本ソフトウェア科学会理事長、同フェロー。

●講演 (15) 3月2日(水) 17:00-17:15 [第5イベント会場 (B棟2F 201教室)]
「Tape Operated Calculating and Copying Robot」(電気四学会連合大会, 1957)

和田 英一 (IIJ)

[講演概要]

パラメトロンが素子のこの10進法計算機は印刷電信機が入出力装置で、 $\pm A1 B1 \pm A2 B2 \pm A3 B3 \pm \dots$ のように乗算と累計を行う。数式プログラムを採用した。テープ送信機からの命令読込みも出来、この場合は実行中の命令文は印刷せず、命令文の実行終了から次の命令文まで読み込んだ文字を複写する。 $x=10$ で $3x^2+2x+1$ を計算するプログラムは、演3 $\times 10+2=\times 10+1=$ である。演'は命令開始を示す。命令テープを左から読み始め、演'を読み込むと複写を中止し3 $\times 10+2$ を計算し次の等号を読む。ここでテープの読込みを中止し、結果をさん孔する。次に $\times 10+1=$ を複写するので、出力は演32 $\times 10+1=$ になる。複写状態の計算機にこのテープを入れると、最後の結果'321'を印刷する。2台のテープ送信機は、命令テープ内の呼出し符号'a','b'で相手呼び出す。この機能を使うとプログラムテープの編集が可能で行列の乗算のような計算も出来る。



[略歴]

1955年東京大学理学部物理学科卒業。1957年修士課程終了。1957年～1964年小野田セメント調査部統計課。
1964年～1992年東京大学工学部計数工学科。1992年～2002年富士通研究所。2002年～ IIJ技術研究所。
IFIP WG2.1メンバー、WIDEプロジェクトメンバー、情報処理学会プログラミング・シンポジウム委員会運営委員長、情報処理学会会誌編集長。

シンポジウム：高度 IT 技術者の育成と産業界からの期待

[全体概要]

平成 14 年度から JABEE（日本技術者教育認定機構）による本格審査が始まった。情報および情報関連分野においても 5 プログラムが既に認定されている。ア krediteーション委員会では、JABEE 制度に関連した全国大会シンポジウムや JABEE 自主研修会等を通じて広報活動を行ってきた。今回のシンポジウムでは認定されたプログラム修了生の主要な受入れ先である産業界からの期待について紹介するとともに、高度な IT 技術者育成における大学の新しい取り組み事例を紹介する。これからの高等教育機関に求められる教育について討論を行い、高等教育機関と産業界の相互理解を深めることをシンポジウムの目的とする。



司会：米田 英一（情報処理学会ア krediteーション委員会副委員長）

[略歴]

1959 年東大理学部数学科卒業。同年東京芝浦電気(株)(現東芝)に入社。計算機利用部門に 17 年間に在籍の後に計算機製造販売部門に転じ、24 年間に在籍。最後は役員待遇、システムインテグレーション開発部長。

1993 ～ 1995 年理事、2000 ～ 2002 年監事。1995 ～ 1996 年倫理綱領調査委員会幹事として倫理綱領制定。

2004 年 5 月名誉会員。現在、ア krediteーション委員会副委員長。

●講演（1） 3 月 4 日（金） 9:35-10:05 [第 2 イベント会場（B 棟 1F 101 教室）] 「産業界が期待する IT 技術者」



繁野 高仁（KDDI）

[略歴]

1977 年北海道大学工学部電気工学科を卒業し日本 NCR 入社。SE として百貨店用全店 POS システムの開発・導入に従事。

85 年 DDI（現 KDDI）入社。DDI および DDI ポケットにおいてシステム部門を立ち上げ、各種情報システムの開発・運用を指揮。

2000 年の 3 社合併に伴い KDDI へ帰任し、03 年 4 月より執行役員情報システム本部長として社内情報システム全般を統括。

情報処理学会、経営情報学会会員。

●講演（2） 3 月 4 日（金） 10:05-10:25 [第 2 イベント会場（B 棟 1F 101 教室）] 「IT 技術者研修の動向」



角田 千晴（JUAS）

[略歴]

大手システムインテグレート企業にて、経営と情報に関する各種セミナー、シンポジウム等を企画、運営した後、1994 年より、社団法人日本情報システム・ユーザー協会にて、調査・広報および事業開発を担当。特に、研修事業は、システム・ユーザの状況を踏まえたコース提案や、要望に応じた研修企画を中心に担当し、2004 年より現職。経済産業省関連の各種委員会やプロジェクトにも参画。2002 年からは、システムユーザの立場から、情報処理学会・生涯教育委員会に参加している。

●講演（3） 3 月 4 日（金） 10:25-10:45 [第 2 イベント会場（B 棟 1F 101 教室）] 「IT 専門大学院」



大場善次郎（北大 / 東大）

[略歴]

'67 年東京大・工・電気工卒、同年現新日鉄（株）入社、広畑・大分・名古屋の連続熱延・厚板等の設備新設・改造・操業に従事、その間、生産技術全般の企画・管理・行政の立場で研究所・高炉統合にも参画。その後、新日鉄システム系（株）を経て、'02 年より東京大学大学院工学系研究科教授に就任、工学教育プロジェクトを担当。'03 年より、北大大学院情報科学研究科の教授併任。工学教育・技術者育成・情報工学中心に活動。

●講演（4） 3 月 4 日（金） 10:45-11:05 [第 2 イベント会場（B 棟 1F 101 教室）] 「ア krediteーション活動報告」



掛下 哲郎（佐賀大）

[略歴]

昭和 59 年九州大学情報工学科卒業。平成元年同博士後期課程修了。工学博士。現在、佐賀大学知能情報システム学科助教授。平成 13 年度より学科の JABEE WG 座長として教育システムの構築を進め、同学科の教育プログラムは平成 15 年度に JABEE による認定を受けた。

平成 16 年度より情報処理学会ア krediteーション委員会幹事。JABEE 基準委員。データベースおよびソフトウェア工学を専門とする。情報処理学会、電子情報通信学会等会員。

研究会企画：研究会の新分野開拓シンポジウム

[全体概要]

情報処理の分野は日々拡大を続けている。例えばユビキタスコンピューティングのように、情報処理学会が新たな分野をうまく取り込むこともあるが、時として、情報処理学会とは無関係のところで情報処理の新たな分野が発展してしまうこともある。さらに言うならば、エンタテインメントコンピューティングに代表されるように、情報処理学会こそが核となって新しい分野を作り出して行くことが理想であろう。本シンポジウムでは、特に来年度から新設される研究会・研究グループの主旨の方々をお招きし、新しい分野を立ち上げた経験に耳を傾けるとともに、情報処理学会の三つの領域における新分野開拓の可能性について紹介していただき、さらに情報処理の新たな挑戦についてパネリストと参加者により議論を深めたい。

●講演（1） 3 月 3 日（木） 14:30-14:40 [第 3 イベント会場（B 棟 1F 102 教室）] 「最近の調査研究の動きと新分野開拓の状況について」

萩谷 昌己（調査研究運営委員長 / 東大）

略歴・写真は「特別セッション（6）温故知新：講演（12）『Lazy Reduction による HA の Normalization』」を参照。

●講演 (2) 3月3日 (木) 14:40-14:50 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「バイオ情報学研究会の紹介」

植村 俊亮 (主査/奈良先端大)

略歴・写真は「特別セッション (6) 温故知新:講演 (3)『漢字符号の変換』」を参照。

●講演 (3) 3月3日 (木) 14:50-15:00 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「エンタテインメントコンピューティング研究会の紹介」



星野 准一 (主査/筑波大)

[略歴]

平成元年, 早稲田大学理工学部電子通信学科卒。同年, セコムIS研究所入所。平成3年から平成5年MITメディアラボ客員研究員。

平成11年から新潟大学自然科学研究科助手。平成12年から筑波大学機能工学系講師。平成12年~15年科学技術振興事業団さきがけ研究21「情報と知」領域研究員を兼務。工学博士。エンタテインメントコンピューティング, ゲームテクノロジーなどの研究に従事。IEEE, ACM, 情報処理学会, 各会員。

●講演 (4) 3月3日 (木) 15:00-15:10 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「ネットワーク生態学研究グループの紹介」



上林 憲行 (主査/東京工科大)

[略歴]

慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。工学博士。広島大学工学部助手, 富士ゼロックス(株)入社後, 主幹研究員 (Research Fellow), 研究所長等を歴任。山形大学工学部情報科学科教授を経て。現在東京工科大学メディア学部教授。情報処理学会情報メディア研究会主査 (H7.4~H11.5), インタラクシオン'98プログラム委員長, インタラクシオン'99実行委員長 (H9.6~H11.5), 情報処理学会理事, 人工知能学会理事。現在, 情報処理学会ネットワーク生態学研究G主査。

●講演 (5) 3月3日 (木) 15:10-15:20 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「CS領域における新分野開拓の可能性」



富田 悦次 (CS領域委員長/電通大)

[略歴]

昭和41年東京工業大学理工学部電子工学科卒業。昭和46年同大学院博士課程修了。工学博士。東京工業大学助手。電気通信大学通信工学科助教授, 教授等を経て, 現在同大学情報通信工学科教授。本学会誌編集委員会主査, 論文誌編集委員, 研究会主査, コンピュータサイエンス領域財務委員等を務めて, 現在コンピュータサイエンス領域委員長, 本会フェロー, 電子情報通信学会フェロー, 船井情報科学振興賞等受賞。専門は理論計算機科学とその実際的应用。

●講演 (6) 3月3日 (木) 15:20-15:30 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「IE領域における新分野開拓の可能性」



竹林 洋一 (IE領域委員長/静岡大)

[略歴]

1980年東北大学大学院博士課程修了。パターン認識, 知識処理, ヒューマンインタフェース(HI)の研究に従事, MIT Media Lab客員研究員, 東芝研究開発センターHI技術センター長, 知識メディアラボラトリー技監を経て, 2002年から静岡大学情報学部教授。デバイスからナレッジ・サービスまでを視野に入れて文工融合研究を推進。現在, 本会理事, 情報環境領域委員長, デジタルセンセーション株式会社社長。

●講演 (7) 3月3日 (木) 15:30-15:40 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「FR領域における新分野開拓の可能性」



平田 圭二 (FR領域委員長/NTT)

[略歴]

1987年東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程博士課程修了。工学博士。同年NTT基礎研究所入社。

1990年から1993年(財)新世代コンピュータ技術開発機構(ICOT)に outward, その間, 並列推論マシンの研究開発に従事。

音楽知プログラミング, インタラクシオンに興味を持つ。情報処理学会平成13年度論文賞受賞。IPSJ, JSJ, JSSST各会員。

標準化セッション (1): ISO/IEC JTC 1/SC 25 情報機器間の相互接続に関する国際標準化の動向

[全体概要]

情報機器間の相互接続に関する国際標準化を推進しているISO/IEC JTC 1/SC 25では商用ビル制御を含むホームネットワークの上位層から住宅情報配線の下位層に至る通信プロトコル (WG1), 商用ビルから工業用に至る情報配線規格 (WG3), ファイバチャネルやSCSIなどのコンピュータ周辺インタフェース規格やマイクロプロセッサのインタフェース規格について, 審議 (WG4) を行なっている。SC25には三つのWGがあり, 相互に関連を持ちつつ, それぞれ独自の活動を行なっている。IT分野では技術進歩の早さに対応して, 規格を作りたい企業, 組織だけが集まって規格を作るコンソーシアム型のデファクト標準が勢いを得ている。しかし, 住宅や構内の情報通信系を, 通信回線を介して国際間で相互に接続する機会が増大するにつれ, 反対する国の意見も取り入れ, 合意の上に規格を作るデジュール型国際規格の重要性が再認識されている。

●講演 (1) 3月4日 (金) 9:30-9:50 [第3イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「ホームネットワーク国際標準化の諸問題」



山本 和幸 (松下電工)

[略歴]

1968年上智大学理工学部電気電子工学科卒業, 同年, 日本電信電話公社入社, 電気通信研究所に配属, 分散制御形交換システム, 住宅用電話交換システムの研究に従事。1989年より, ホームバス規格の国際標準化活動 (JTC 1/SC83/WG1) に参加。以後, 住宅, 事業所の通信・制御ネットワークの通信プロトコル, 情報配線の国際標準化活動に参画。現在, JTC 1/SC 25 専門委員会委員長及びSC 25/WG 1 小委員会主査, 松下電工株式会社 R&D企画室所属。

●講演 (2) 3月4日 (金) 9:50-10:10 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「エコーネットの標準化戦略」



新谷 保之 (松下電器)

[略歴]

1989年大阪大学工学部大学院修士課程終了後、松下電器産業株式会社情報通信研究センターで「定性推論に基づく学習制御(QUARC)」の研究に従事。1998年からECHONETコンソーシアムの技術委員として、ECHONETの通信ミドルウェア仕様の規格策定に貢献。現在、同社アプライアンスソフト開発センターで、「くらしネットワーク」の開発に従事。ECHONETコンソーシアムシステムアーキテクチャWG主査、国際標準化WG主査、ISO/IEC JTC 1/SC 25/WG 1委員。

●講演 (3) 3月4日 (金) 10:10-10:30 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「構内配線の国際標準化動向」



宮島 義昭 (NTT東日本)

[略歴]

1978年、九州大学 大学院修士課程修了。同年、日本電信電話公社 (現NTT) 茨城電気通信研究所に入社。以来、光ファイバケーブルの研究開発に従事。2002年、NTT東日本 技術協力センタ、2004年10月より、現職の住友電気工業株式会社 研究開発本部に勤務。電子情報通信学会、IEEEの各会員。工学博士。

●講演 (4) 3月4日 (金) 10:30-10:50 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「コンピュータ周辺機器インタフェースの国際標準化動向」



脇村 慶明 (アトー)

[略歴]

1978年東京工科大学大学院博士課程修了 (工学博士)。同年電信電話公社 (現NTT) 武蔵野電気通信研究所入社。以来、一環して、NTTの電話交換システムの開発に従事し、デジタル交換システム制御系の開発、通信用プロセッサの開発、新ノードシステムの開発に従事。1991年から国際標準化活動に参加。1996年からJTC1/SC26国内委員会委員長。1998年には日本提案のシステムバスの国際標準化を成就。2001年からSC25/WG4国内委員会主査。現在、アトー株式会社取締役管理部長。

●講演 (5) 3月4日 (金) 10:50-11:10 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「レスポンスリンクとは」



山崎 信行 (慶大)

[略歴]

1991年慶應義塾大学理工学部物理学科卒業、1996年同大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了。博士 (工学)。同年電子技術総合研究所入所。1998年10月慶應義塾大学理工学部情報工学科助手、専任講師を経て2004年4月より同助教授。1997-2000年科学技術振興事業団さきがけ研究21研究員。現在、産業技術総合研究所特別研究員を兼務。分散リアルタイムシステム、プロセッサアーキテクチャ、RT-OS、システムLSI、ロボティクス等の研究に従事。情報処理学会、日本ロボット学会、IEEE各会員。

標準化セッション (2) : ISO/IEC JTC1 SC32における「データの管理と交換」標準化活動の紹介

[全体概要]

SC32の活動は、1998年のSC設立以来、「データの管理と交換」をテーマとして、電子商取引のための参照モデルから、データベース言語 (SQL)、SQLデータベースに対するマルチメディアアプリケーション対応の仕様、メタデータ仕様とメタモデル枠組み仕様まで、幅広い活動を展開している。それらの多くは、規格成立から数年を経過しているが、昨今のeビジネスや企業間連携の普及や、新たなデータベースアプリケーションへの適用などの技術革新に対応すべく、それぞれ新たな活動を展開しつつある。例えば、open-edi参照モデルにおけるビジネスプロセスモデリングへの対応、SQLにおけるXML、フルテキスト・空間情報・データマイニングなどのマルチメディアアプリケーション対応への規格化、メタデータ規格のレジストリメタモデル規格化、さらに、モデル要素やオントロジーの共有を目的としたメタモデル相互運用枠組規格案などの活動などである。今回のセッションでは、WGごとに、それぞれの新しい活動の主旨や活動状況について紹介する。

●講演 (1) 3月4日 (金) 14:30-14:55 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「SC32における標準開発と日本の貢献」



芝野 耕司 (東京外語大)

[略歴]

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授、情報処理センター長。情報処理学会情報規格調査会SC32専門委員会委員長、SC32/WG3小委員会主査。ISO/IEC JTC1/SC32/WG4 Convener。JIS X 3005 データベース言語 SQL 原案委員会委員長。JISコード関連規格原案委員会委員長。JIS日本語組版、仮名漢字、照合順番原案委員会委員長。JIS用語委員会委員長。

●講演 (2) 3月4日 (金) 14:55-15:20 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]
「電子商取引 (Open-edi) のための参照モデルとその後の標準化動向」



森田 勝弘 (法務省)

[略歴]

197005.1.12年東工大社会工学科卒。三井情報開発、日本銀行、アクセンチュア等を経て、2004年5月より現職。データベース開発、ITコンサルティング、電子商取引の標準化活動等に従事。ISO/IEC JTC1/SC32/WG1 標準電子取引専門委員会主査、ECOM技術標準推進委員会主査等を歴任。法務省情報化推進アドバイザー。

【主な著書】「XMLによるEC構築技法」、「eXML技術解説」、「UMLによるビジネスモデリング」他。

●講演 (3) 3月4日 (金) 15:20-15:45 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]

「メタデータ規格と海外事例紹介」

大林 正晴 (管理工学研)



[略歴]

1976年3月,東京教育大学理学部応用数理学科卒。同年4月,(株)管理工学研究所に入社,研究員,現在に至る。専門は,ソフトウェア工学,データベース理論,自然言語処理,人工知能。ISO/IEC SC21/WG3 IRDS 国内小委員会,日本規格協会のデータの情報資源スキーマ・業務モデル標準化委員会などを歴任。現在,ISO/IEC JTC1 SC32/WG2 (metadata) 国内小委員会,業務オブジェクト共有技術標準化調査研究委員会等の委員として活躍している。

●講演 (4) 3月4日 (金) 15:45-16:10 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]

「SQL 標準化の最近動向」

土田 正士 (日立)



[略歴]

(株)日立製作所ソフトウェア事業部先端ミドルウェア開発部担当部長。JIS X 3005 SQL原案委員会WG1(SQL)委員。情報規格調査会SC32専門委員会幹事,SC32/WG3(SQL)小委員会委員。データベースシステム研究会(DBS研)幹事。

●講演 (5) 3月4日 (金) 16:10-16:35 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]

「SQL マルチメディアパッケージ標準化の最新動向」

鈴木 健司 (東京国際大)



[略歴]

1969年日本大学理工学部電気工学科卒業。NTT入社。情報通信研究所にて,データベース管理システムの研究実用化に従事。国際標準化活動(ISO/IEC JTC1/SC32)に参画し,データベース言語NDL,遠隔データベースアクセスを標準化,現在,主にSQLマルチメディアの標準化に従事。1995年から東京国際大学人間社会学部教授。工学博士。著書に「データベースがわかる本」,「データウェアハウスがわかる本」(オーム社)。

●講演 (6) 3月4日 (金) 16:35-17:00 [第3 イベント会場 (B棟1F 102教室)]

「メタモデル相互運用枠組みの標準化動向」

堀内 一 (東京国際大)



[略歴]

1968年3月早稲田大学商学部卒,68年4月~96年3月:(株)日立製作所勤務,96年4月から現職。日立時代からDB設計手法,メタデータ,データ中心設計手法(DOA)などの開発・啓蒙に従事。85年~98年:ISO・SC21WG3委員,98年4月~03年10月:ビジネスオブジェクト推進協議会専務理事,現在:ISO/IEC SC32WG2国内主査,及び「メタモデル相互運用枠組み専門委員会」主査。(財)日本規格協会「業務モデル共有技術標準化調査研究委員会」委員長,UMLモデリング推進協議会(UMTP)副会長,DOA+コンソーシアム副代表。

第1分冊**(アーキテクチャ)****一般セッション [4A会場] (3月3日(木) 14:30～17:00)****設計自動化技術 (2) 座長 堤 利幸(明大)**

- 1 AWE法を用いたVLSI配線遅延解析
○鈴木五郎, 下村勇希, 伊藤富裕美(北九州市大)
- 2 Projection Framework法を用いたVLSI配線遅延解析
○下村勇希, 鈴木五郎, 伊藤富裕美(北九州市大)
- 3 LSI大規模論理検証環境の構築手法の提案
○鈴木清彦, 小貫淳史, 西川浩司, 後沢 忍(三菱)
- 4 画像処理用LSIのメモリコントローラにおけるランダム機能検証適用事例
○濱川洋平, 加藤義幸, 佐藤 真, 吉屋史生(東芝)
- 5 SCE-MIを利用した協調エミュレーション/シミュレーション環境の
共通化手法
○大山将城, 名野 響, 近藤信行, 清水尚彦(東海大),
星野民夫(アプリスター)
- 6 深さを保った順序回路の状態遷移の変更による Sequential Depth 計算の
高速化
○何 虹, 中村一博, 高木一義, 高木直史(名大)

一般セッション [6B会場] (3月4日(金) 14:30～17:00)**プロセッサアーキテクチャ (2) 座長 横田 隆史(宇都宮大)**

- 1 冗長SD/非冗長2進オンザフライ変換の新技术
○高木直史, 高木一義(名大)
- 2 連続音声認識に適した高速/省メモリなHMM計算回路構成法
○山本正俊, 中村一博, 高木一義, 高木直史(名大)
- 3 LSC-Based DSPの試作について
○一條健司, 吉岡良雄(弘前大)
- 4 Configurable FPGA Processor targeted for Embedded Computing
○Abderazek Ben, Tsutomu Yoshinaga, Masahiro Sowa(電通大)
- 5 VAX-11 互換プロセッサの開発によるコンピュータシステム設計教育
○近藤信行, 清水尚彦(東海大)
- 6 ストリーム信号処理用マルチスレッドプロセッサの消費電力低減機構
○檜田敏克, 菅野伸一(東芝)

一般セッション [1C会場] (3月2日(水) 13:15～15:15)**システムデザインと運用法 座長 河野 健二(電通大)**

- 1 組み込みLinuxの試験と検証
○斉藤直希, 小川 清, 渡部謹二, 真鍋孝顕(名古屋工業研),
馬場雄二, 藤本智明, 松良 彰, 山名明弘,
小浜 徹, 加藤秀也(中部エレクトロニクス振興会)
- 2 公設試験研究機関における組み込みオープンソースソフトウェア
TOPPERSによる企業向け研修について
○堀 武司, 堤 大祐(北海道立工業試験場),
小川 清, 斉藤直希(名古屋工業研)
- 3 自律運用管理に向けた障害対処アクション最適化手法に関する一考察
○加藤清志, 大野允裕, 平池龍一(NEC)
- 4 XIMプロトコルのトレース・プログラムの開発
○瀧口一郎, 土井健史, 中村俊雄, 高橋伸行(日本IBM)
- 5 デュアルOS「NINJA」における2つのOSの統合
○安達俊光(岡山大), 田淵正樹, 伊藤健一(NTTデータ),
乃村能成, 谷口秀夫(岡山大)
- 6 アプリケーション競合管理方式
○奥山 玄, 才田好則, 白井和敏(NEC)

一般セッション [2C会場] (3月2日(水) 15:30～17:30)**OS構成法とシステム評価 座長 品川 高廣(農工大)**

- 1 デュアルOS「NINJA」における擬似NICの評価
○山本裕馬(岡山大), 榎本 圭, 田淵正樹, 伊藤健一(NTTデータ),
乃村能成, 谷口秀夫(岡山大)
- 2 UNIX環境を利用した細粒度マルチスレッド制御法の評価手法
○小川泰彦, 乃村能成(岡山大), 日下部茂(九大),
谷口秀夫(岡山大), 雨宮真人(九大)
- 3 ブロックソート法を用いた圧縮ループバックブロックデバイスの実装と
評価
○北川健司, 丹 英之, 千葉大作(アルファシステムズ),
須崎有康, 飯島賢吾, 八木豊志樹(産総研)

- 4 Tenderにおける資源「プレート」のサイズ変更機能
○大本拓実(岡山大), 田端利宏(九大), 乃村能成, 谷口秀夫(岡山大)
- 5 Linux用USBマストレージドライバのCE機器向け拡張
○矢野啓二郎, 上床克樹, 島田智文(東芝)

一般セッション [3C会場] (3月3日(木) 9:30～12:00)**組込み/携帯機器向けシステム 座長 千葉 滋(東工大)**

- 1 Linuxを使用したCE機器のブート時間高速化
○安井啓介, 上床克樹, 島田智文(東芝)
- 2 コンシューマ向け組込み機器のアプリケーション起動高速化検討
○出原章雄, 攝津 敦, 伊藤孝之, 落合真一(三菱)
- 3 携帯電話向けJavaでのファイルシステムの開発
○阿部大将, 山口真吾, 小高健二, 並木美太郎(農工大)
- 4 携帯端末Javaアプリケーションに特化した高速化手法
○高橋克英, 岡田英明, 清原良三(三菱)
- 5 携帯端末向けJava動的コンパイラのチューニング手法の検討
○岡田英明, 高橋克英, 清原良三(三菱)
- 6 組込みS/W更新を目的としたオブジェクト配置順序決定方法
○三井 聡, 清原良三(三菱)

一般セッション [6C会場] (3月4日(金) 14:30～17:00)**並列・分散システム 座長 中條 拓伯(農工大)**

- 1 HAクラスタ技術を用いた高信頼インターフェイスの検討と評価
○金木佑介, 飯塚 剛, 鶴 薫(三菱)
- 2 リソース融通のためのサーバ移送機構の概要
○木場雄一, 善明晃由, 木村哲郎, 吉田英樹, 崎山伸夫(東芝)
- 3 リソース融通のためのセキュアなサーバ移送機構
○善明晃由, 木場雄一, 木村哲郎, 吉田英樹, 崎山伸夫(東芝)
- 4 密結合マルチプロセッサに適したキャッシュ先取り方式の提案
○山本 登(日大)
- 5 マルチメディア処理CMPシステム用ソフト開発の効率化
○新林 満, 境 隆二, 島田智文(東芝)
- 6 メタレベル最適化計算機システムYAWARAのシミュレーション環境
- PISAをベースとしたVLIWアセンブラの開発 -
○月川 淳, 古川文人, 大津金光,
横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 7 メタレベル最適化計算機システムYAWARAのシミュレーション環境
- VLIWプロセッサ向け命令スケジューラの実装 -
○古川文人, 斎藤盛幸, 月川 淳,
大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)

一般セッション [1D会場] (3月2日(水) 13:15～15:15)**数値計算 座長 高橋 大介(筑波大)**

- 1 Weak order stochastic Runge-Kutta methods for commuting stochastic
differential equations
○小守良雄(九工大)
- 2 最良解保持によるBDD動的変数順序付けの高速化
○柏多恵子, 梶山浩嗣, 佐田宏史, 前川仁孝, 伊與田光宏(千葉工大)
- 3 上界値の計算順序を考慮した分枝限定法の並列化手法
○菅田尚大, 鷹野英美代, 佐田宏史, 前川仁孝, 伊與田光宏(千葉工大)

学生セッション [2Q会場] (3月2日(水) 15:30～17:30)**ハイパフォーマンスコンピューティング 座長 本多 弘樹(電通大)**

- 1 固有値問題に対する準直交ランチョス法
○梅垣 悠, 野寺 隆(慶大)
- 2 高速自動微分システムのための派生型変数の実装
○家入聖和, 久保田光一(中大)
- 3 ベイズ探索によるヤコビ行列の疎パターン検出法の改善
○藤田智紀, 久保田光一(中大)
- 4 レベルセット法を用いた自由境界面のCG
○黄 正, 蔡 東生, 杜 小軍(筑波大学)
- 5 Skeleton PIC Experiments on SuperSINET Computational Grid
○陶 衛峰, 蔡 東生(筑波大)
- 6 統計変動を抑えるための調整された乱数の発生法
○福原 亮, 宮崎洋平, 和嶋雅幸, 北守一隆(北海道工大)
- 7 PCクラスタ上でのOpenMPによるJPEGエンコーダ・デコーダの並列化
○池上広済, 山崎勝弘, 小柳 滋(立命館大)

- 8 計量MDSのストレスによる評価とグラフ表現の高度化
○渡邊洋平, 三浦孝夫(法大)
- 9 回帰演算の並列化における最適プロセッサ割り当て
○小林 寛, 若谷彰良(甲南大)

学生セッション [3ZA会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

設計自動化技術 (1) 座長 島崎 健二(松下)

- 1 システムレベル設計支援ツール MEISSUT の開発
○西岡 聡, 橋本忠勝, 原田晋至, 仁平勝裕, 堤 利幸(明大)
- 2 高位合成手法を用いたCベース設計によるLSI開発事例
○松田昭信(放送大), 南谷 崇(東大)
- 3 動作合成を利用した特定用途向けプロセッサの設計
○二浦尾晃司, 高田広章, 富山宏之, 本田晋也(名大)
- 4 (講演取消)
- 5 非同期式設計におけるレイアウト制約の緩和
○小山俊之, 中野秀洋, 桑子雅史, 宮内 新(武蔵工大)
- 6 非同期式回路をFPGAへ実装するための遅延回路の検討
○堀田真吾, 中野秀洋, 桑子雅史, 宮内 新(武蔵工大)
- 7 非同期式回路をFPGAに実装するための一設計手法
○河野寛行, 桑子雅史, 持木幸一(武蔵工大)
- 8 (講演取消)

学生セッション [4ZA会場] (3月3日 (木) 14:30 ~ 17:00)

システムソフトウェア実現技術 座長 盛合 敏(NTT)

- 1 インテルx86系CPU上で動作する組み込み用OS「開闢」の設計と試作
○金原 学, 並木美太郎(農工大)
- 2 マルチスレッドアーキテクチャ向けOS「Future」におけるメモリ管理方式の提案
○佐藤未来子, 内倉 要, 笹田耕一, 加藤義人, 大和仁典, 中條拓伯, 並木美太郎(農工大)
- 3 携帯ゲーム端末向けOSと通信機能の実装
○山田健一, 並木美太郎(農工大)
- 4 携帯電話向けモバイルXMLデータベース用ミドルウェアの開発
○小高健二, 並木美太郎(農工大)
- 5 適応ソフトウェアのための位置情報管理ミドルウェア
○関田正人, 鈴木和久, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
- 6 ホームネットワークのための多通信経路を用いたアドホックネットワークの提案
○西山和志(阪工大)
- 7 高密度アドホックネットワークを指向したAODVルーティングプロトコルの評価
○沖野正宗, 牛島準一, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 8 高遅延環境におけるiSCSIシーケンシャルリードアクセス時のTCP輻輳ウィンドウ制御
○豊田真智子(お茶の水女子大), 山口実靖(東大), 小口正人(お茶の水女子大)

学生セッション [1ZB会場] (3月2日 (水) 13:15 ~ 15:15)

プロセッサアーキテクチャ (1) 座長 西 直樹(NEC)

- 1 生産型キュープロセッサPQPpfの基本設計に関する研究
○仲谷 陵, 曾和将容, 吉永 努, Ben A. Abderazek(電通大)
- 2 Hybrid Processor Architecture FaRMqs in Verilog HDL
○Md. Musfiquzzaman Akanda, 曾和将容, 吉永 努, Abderazek Ben(電通大)
- 3 演算器アレイ型プロセッサへのアプリケーション実装における課題
○森下大輔, 佐藤寿倫(九工大)
- 4 値履歴テーブルのエントリ数に対応可能な値予測命令選定法
○藤原亮人, 宮内 新, 中野秀洋(武蔵工大)
- 5 実行プロファイル情報に基づく命令スケジューリング手法の検討
○岡 大輔, 古川文人, 月川 淳, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 6 再構成可能なプロセッサにおける高速化への一手法
○白本長遊, 浜辺直輝, 柴田 浩(阪工大)
- 7 ハード/ソフト協調学習システムにおけるアーキテクチャ学習に基づいたプロセッサ設計
○中村浩一郎, Anh Tuan Hoang, 小柳 滋, 山崎勝弘(立命館大)
- 8 スレッドレベル並列性を利用したマルチプロセッサの消費電力削減効果
○佐藤秀則, 佐藤寿倫(九工大), 田中 裕(奈良先端大)

学生セッション [2ZB会場] (3月2日 (水) 15:30 ~ 17:30)

耐故障・自己適応型アーキテクチャ 座長 安里 彰(富士通研)

- 1 メタレベル最適化計算機システムYAWARAのシミュレーション環境
-スレッドエンジンシミュレータの実装- ○青木隆行, 古川文人, 月川 淳, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 2 自己組織化ハードウェアによるフォールトトレラントシステムのための自立制御機構についての研究 ○椿 龍也, 新井浩志(千葉工大)
- 3 移動エージェントを用いたフォールトトレラントシステムのデータ応答手法
○山口俊一, 森 秀樹, 上原 稔(東洋大)
- 4 耐故障Detour-UDルーティング・アルゴリズムシミュレーションによる評価
○松山裕右, 戸村 元, 吉永 努, 曾和将容(電通大)
- 5 k-ary n-cube ネットワークの輻輳回避ルーティングに関する検討
○西村康彦, 戸村 元, 吉永 努, 曾和将容(電通大)
- 6 タイトル計算グリッド向けフォールトトレラントシステムEagleにおけるメッセージの保存・管理の実装と初期評価
○西塚悦久, 服部晃和, 薬師寺健太, 海老澤一範, 横田隆史, 古川文人, 大津金光, 馬場敬信(宇都宮大)
- 7 計算グリッド向けフォールトトレラントシステムEagleにおける障害検出系の実装と初期評価 ○海老澤一範, 服部晃和, 薬師寺健太, 横田隆史, 大津金光, 古川文人, 馬場敬信, 西塚悦久(宇都宮大)

学生セッション [3ZB会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

特定用途向けアーキテクチャ 座長 木村 哲郎(東芝)

- 1 サポートベクタマシンのハードウェアによる一実現方法
○森岡健一, 桑子雅史, 森本一紀, 持木幸一(武蔵工大)
- 2 MPEG動画処理専用プロセッサの設計
-リアルタイム処理のための特徴量抽出と演算の高速化-
○相田宏平, 神崎真吾, 中野秀洋, 宮内 新(武蔵工大)
- 3 GPUによる高速な行列積の実装
○大島聡史, 吉瀬謙二, 片桐孝洋, 弓場敏嗣(電通大)
- 4 シフトレジスタを用いたフィルタ処理用プロセッサの設計
○奥村滋人, 浜辺直輝, 小島正典, 柴田 浩(阪工大)
- 5 時間的・空間的並列処理による算術符号化・復号の高速アーキテクチャの提案
○若林俊一, 菅谷至寛, 阿曾弘具(東北大)
- 6 バタフライ演算器を搭載したプロセッサによるIDCT処理の高速化
○岸田慎也, 浜辺直輝(阪工大), 玉覇雅治(三菱), 小島正典(阪工大), 山田園裕(ルネサスソリューションズ), 柴田 浩(阪工大)
- 7 (講演取消)
- 8 AES用演算器を搭載したプロセッサによるAESの高速化
○穴井秀知, 浜辺直輝, 小島正典, 柴田 浩(阪工大)
- 9 鍵生成回路を用いたRSA暗号・復号処理回路
○高田 淳, 柴田 浩, 小島正典(阪工大)

学生セッション [4ZB会場] (3月3日 (木) 14:30 ~ 17:00)

メモリ・通信アーキテクチャと評価技術 座長 天野 英晴(慶大)

- 1 MPIプログラムの簡易実行による実行時間予測手法における通信時間予測の効率化
○杉田 秀, 岩瀬寿寛, 山名早人(早大)
- 2 通信粒度予測機構を実装したソフトウェア分散共有メモリ
○坂口朋也, 鈴木 祥, 多 忠行, 吉瀬謙二, 弓場敏嗣(電通大)
- 3 ファイルの特性とアクセスパターンに適応可能なメモリ管理手法
○林 佳寛(立命館大), 瀧本栄二(ATR), 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
- 4 ソフトウェアDSM上でのアプリケーション実行時間の定式化
○鈴木 祥, 坂口朋也, 多 忠行, 吉瀬謙二, 弓場敏嗣(電通大)
- 5 ワンチップLSCにおける通信部プロセッサについて
○李 洋, 一條健司, 吉岡良雄(弘前大)
- 6 ロボット用マルチプロセッサシステムのための情報共有アーキテクチャ
○清水健二(早大), 中野鐵兵, 藤江真也, 松坂要佐, 小林哲則
- 7 MPIを用いたISIS-SimpleScalarの実装
○鈴木幸夫, 久保田陽介, 塙 敏博(東京工科大)
- 8 マルチプロセッサ型交通シミュレータの性能評価
○藤原幸喜, 中村俊一郎, 半澤孝文(日本工大), 齊藤成一(三菱), 宮西洋太郎(宮城大)

学生セッション [5ZB会場] (3月4日 (金) 9:30～12:00)

分散・並列ソフトウェア 座長 佐藤 真琴(日立)

- 1 SMP クラスタ上におけるスレッド間通信を用いたハイブリッド MPI/OpenMP の効率化に関する研究 ○小川善生, 曾和将容(電通大)
- 2 マルチスレッド化のためのホットループ検出手法の検討 ○井場 徹, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 3 データ投機型マルチスレッド実行方式のSPEC2000ベンチマークへの適用 ○小林崇彦, 三木大輔, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 4 バイナリレベル変数解析のための効率的な実行時チェックコードの検討 ○豊田貴志, 佐藤智一, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 5 データ依存関係に着目したスレッド分割方法の検討 ○三木大輔, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 6 マルチスレッドコード向け命令レベル最適化ツールの開発 ○阿久津徳寿, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 7 自動並列化コンパイラ MIRAI における並列実行速度予測および並列度向上に関する一考察 ○善 隆裕, 峰尾昌明(和歌山大), 上原哲太郎(京大), 齋藤彰一(和歌山大), 國枝義敏(立命館大)
- 8 自動並列化コンパイラ MIRAI における最適化機能に関する一考察 -並列化のためのループ再構築手法について- ○佐川靖彰, 峰尾昌明(和歌山大), 上原哲太郎(京大), 齋藤彰一(和歌山大), 國枝義敏(立命館大)
- 9 MediaBench ホットループ並列化のためのパスポロファイリング ○増保智久, 道口貴史, 齋藤盛幸, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)

デモセッション [デモ会場]

デ-08 (3月2日 (水))

SH マイコン向け JIT コンパイラの実装

○井奥 章, 川崎進一郎(日立), 北沢俊太郎, 一瀬成広(日立ソフトウェアエンジニアリング), 森本義章(日立), 磯部竜雄(日立ソフトウェアエンジニアリング)

デ-09 (3月2日 (水), 3月3日 (木), 3月4日 (金))

CD 起動 KNOPPIX の拡張

○須崎有康, 飯島賢吾, 八木豊志樹(産総研), 千葉大作, 丹 英之(アルファシステムズ), 小菅貴彦, 丸山 亮(日本電子専門学校), 志子田有光, 小野 孝(東北学院大)

デ-13 (3月3日 (木))

プライバシー保護を実現するコンテキストウェア OS

○鈴木和久, 一柳淑美, 西村和憲, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)

デ-14 (3月4日 (金))

システム LSI 統合開発環境 EDA Linux 及びプラットフォームボードの開発 ○飯田佳洋, 清水尚彦(東海大)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [2F会場] (3月2日 (水) 15:30～17:30)

ソフトウェアプロセス 座長 青木 利晃(北陸先端大)

- 1 ソフトウェア開発支援環境におけるプロセス記述言語仕様に対する一考察 ○市原利浩, 三浦浩浩(三菱)
- 2 ソフトウェアプロセスアセスメントモデルの模擬実験と適合性について ○小川 清, 斉藤直希(名古屋工業研), 小泉 浩(マイクロソフト), 川口直彦(サンテック), 馬場俊光, 北野俊彦(新日鉄ソリューションズ), 近藤清久(三菱), 磯田 悟(松下ソフトリサーチ)
- 3 ソフトウェア開発計画自動立案システム ～ファースト・トラッキングを行う工程の選択方法～ ○塩田智子, 高須賀公紀, 林雄一郎, 木下大輔, 八重樫理人, 橋浦弘明, 古宮誠一(芝浦工大)
- 4 Detection of Design Problems in Object Oriented Development ○Munkhnasan Choinzon, 上田賀一(茨城大)

一般セッション [3F会場] (3月3日 (木) 9:30～12:00)

プログラミング 座長 脇田 建(東工大)

- 1 MISRA-C:1998 と MISRA-C:2004 の C90, C99 との検討 ○古川直邦, 坪井泰樹(大同工大), 斉藤直希, 小川 清(名古屋工業研)
- 2 Super Strong-Typed プログラミングによるデータ変換の自動化の試み ○菊池 彰(日本 IBM)
- 3 並列キュー計算モデルの理論的特性評価 ○Halcham Kutluk, 曾和将容, Pavel Boytchev, 吉永 努(電通大)
- 4 (講演取消)
- 5 (講演取消)
- 6 Java- キューブプロセッサとその最適化に関する研究 ○川島祐介, 曾和将容, 吉永 努, Pavel Boytchv(電通大)

一般セッション [4F会場] (3月3日 (木) 14:30～17:00)

アルゴリズムとデータ構造 座長 古賀 久志(電通大)

- 1 Balanced C_{18} -Bowtie Decomposition Algorithm of Complete Graphs ○潮 和彦, 藤本英昭(近畿大)
- 2 Balanced C_{18} -Trefoil Decomposition Algorithm of Complete Graphs ○藤本英昭, 潮 和彦(近畿大)
- 3 密なグラフにも有効で単純な最大クリーク抽出アルゴリズム ○ト部昌平, 富田悦次, 森田昭広(電通大)
- 4 階層型ハッシュ法の辞書データベースへの応用 ○蓮井洋志(室蘭工大)
- 5 大規模正規表現の高速照合方式 ○中村隆顕, 郡 光則(三菱)
- 6 不動点付高階様相論理 ○岡本圭史(産総研)
- 7 ニューラルネットの特性関数とその近似関数 ○角田和彦(日大)

一般セッション [5F会場] (3月4日 (金) 9:30～12:00)

開発・設計技法 座長 丸山 勝久(立命館大)

- 1 インタビューによる要求抽出作業を誘導するシステム ～顧客主導の Q&A 機能の実現～ ○立松卓磨, 津島香子, 木口貴人, 小島 章, 橋浦弘明, 古宮誠一(芝浦工大)
- 2 データベースセントリックに行うモデルベースの開発手法 ○堀野智久, 石川貞裕, 遠藤 浩, 岡野信保, 齋田雄一(日立)
- 3 (講演取消)
- 4 (講演取消)
- 5 部品合成による自動プログラミングシステム ～要求文の補完方法について～ ○Miao Fang, 清田昌宏, 山崎雄大, 上之蘭和宏, 古宮誠一(芝浦工大)
- 6 部品合成によるプログラムの自動生成機能の実現方法 ○清田昌宏, Miao Fang, 山崎雄大, 上之蘭和宏, 古宮誠一(芝浦工大)

学生セッション [1N会場] (3月2日 (水) 13:15～15:15)

アルゴリズムと最適化 座長 塚田 恭章(NTT)

- 1 (講演取消)
- 2 焦げたパンケーキグラフにおける内素な経路問題 ○澤田直樹, 鈴木康斗, 金子敬一(農工大)
- 3 動的計画法の汎用並列化ツールの作成 ○樫木悠介, 品野勇治(農工大)
- 4 正規表現関数による文字列照合問題と照合位置に関する考察 ○石田俊一, 大塚 寛(愛媛大)
- 5 On Transfinite Hybrid Automaton ○栗田 淳, 中村勝則, 房岡 璋(立命館大)
- 6 リスクを考慮した最適化経路探索手法に関する研究 ○山内秀紀(東海大)
- 7 2分木を用いた近傍幅調節機能を持つシミュレートッドアニーリング ○宮崎 真, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 8 進化計算を用いた適応的近傍調節メカニズムを持つ並列シミュレートッドアニーリング ○市川親司, 三木光範, 廣安知之(同志社大)

学生セッション [2N会場] (3月2日 (水) 15:30～17:30)

数理モデル化の理論と実践 座長 高階 知巳(ニコンシステム)

- 1 パーティクルフィルタによるコンポーネント数未知の混合モデル学習 ○甲斐元芳美, 林 朗, 末松伸朗(広島市大)

- 2 自己相関関数を規範としたリカレントニューラルネットワークの学習による有限状態機械の模倣 ○並松祐子, 三枝 亮, 鈴木健嗣, ビトヨ ハルトノ, 橋本周司(早大)
 - 3 パケットルーティングネットワークモデルにおける効率的スケジューリングの研究 ○土田隆文, 浅野孝夫(中大)
 - 4 完了確認付き無線ブロードキャストアルゴリズムの局所改善 ○大久保智, 浅野孝夫(中大)
 - 5 多目的シミュレートッドアニーリングを用いた知的LED照明システム ○日和 悟, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
 - 6 自律分散制御による知的調光システムの提案 ○長野林太郎, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
 - 7 都道府県に関する投票行動の比較 ○市川大輔, 久保田光一(中大)
 - 8 自己組織化を用いた最適化に関する研究 ○岩崎 靖(芝浦工大)
- 学生セッション [3N会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)**
- ソフトウェア設計 座長 河野 知行(アイ・アイ・エム)**
- 1 ソフトウェア設計における進化パターン ○下滝亜里(阪産大)
 - 2 知識化されたモデルを用いるシステム設計方式 ○金子誉万, 間野暢興(明星大)
 - 3 プログラム構造複雑度 PSC の提案 ○新名秀章, 佐藤匡正(島根大), 岸本頼紀(名工大), 浜名隆広(島根大)
 - 4 コンピュータプログラムのリパースエンジニアリング行為についての一考察 ○高橋謙三, 神林 靖(日本工大)
 - 5 (講演取消)
 - 6 アクティビティ図を用いたクラスの創出に関する基礎的研究 ○亀井靖高, 吉田博哉, 田中成典, 吉田 均, 中村健二(関西大)
 - 7 コンポーネントベースソフトウェア開発のための形式的仕様記述と検証に関する研究 ○富田隆彦, 高田眞吾, 飯島 正(慶大), 土居範久(中大)
 - 8 エンドユーザの積極的関与を容易にする Web アプリケーション設計モデルの一考察 ○三井康平, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
 - 9 プロセス改善の自己観測による設計手法有効性体験コースの実施 ○鈴森寿之, 久保田卓秀, 長田 晃, 海谷治彦, 海尻賢二(信州大)
- 学生セッション [4N会場] (3月3日(木) 14:30 ~ 17:00)**
- プログラミング言語処理系 座長 千葉 雄司(日立)**
- 1 A General Purpose Assembler for Queue Computers ○Arquimedes Canedo, 曾和将容, 吉永 努, Pavel Boytchev(電通大)
 - 2 C++の template を使用した mixin における 静的エラーチェックに関する研究 ○今関雄人, 高田眞吾(慶大), 土居範久(中大)
 - 3 コンパイラフロントエンド生成系 ○舞田純一, 中井 央(筑波大)
 - 4 コンパイラにおける構文誤り回復 ○真幡康徳, 中井 央(筑波大)
 - 5 Java クラスファイルを生成する littleC コンパイラの開発 ○塚本智博, 岩澤京子(拓大)
 - 6 プログラム言語 Ruby におけるメソッドキャッシング手法の検討 ○笹田耕一(農工大)
 - 7 初級Cプログラマのためのポインタ追跡デバッグ支援ツールに関する研究 ○杉山智哉, 太田 剛(静岡大)
 - 8 ROBOCUBE用自走アセンブラの開発 ○熊谷龍太, 一條健司, 吉岡良雄(弘前大)
- 学生セッション [6N会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 17:00)**
- プログラミング支援 座長 伊知地 宏(ラムダ数学教育研)**
- 1 コミュニケーションロボットのための行動モジュール設計支援ソフトウェア RSV の設計と実装 ○中村 学, 川島英之, 今井倫太(慶大)
 - 2 モバイル JAVA アプリケーション用共通記述仕様の提案とそのコードジェネレータの開発 ○中村弘寿, 塚本享治(東京工科大)
 - 3 XLSTを用いた Swing プログラムジェネレータの開発とその自己生成による検証 ○中嶋祐介, 鎌倉隆司, 塚本享治(東京工科大)
 - 4 Linux 用 USB デバイスドライバの開発支援に関する一提案 ○城戸英之, 吉田泰彦, 大原茂之(東海大)
- 5 初心者向け JAVA グラフィックプログラミングの学習環境 ○加藤勝也(阪電通大)
 - 6 Weblog を用いたプロジェクト型開発支援システムの試作と提案 ○牧 俊男, 深海 悟(阪工大)
 - 7 3D ネットワークゲーム素材のインターフェース情報から実行可能形式への変換 ○大塚和幸, 塚本享治(東京工科大)
 - 8 リフレクション機構を導入した3次元空間記述言語の提案と実装 ○工藤祐介, 大胡里志, 武田正之(東理大)
- 学生セッション [1S会場] (3月2日(水) 13:15 ~ 15:15)**
- ソフトウェアの保守と検証 座長 山崎 克之(KDDI 研)**
- 1 インターフェースの情報を用いた状態遷移図の生成 ○大川 敦, 紫合 治(電機大)
 - 2 アスペクト指向プログラミングによるシーケンス図の自動生成 ○高橋裕康, 紫合 治(電機大)
 - 3 II 計算プロセスから変換された Java オブジェクトの等価性について ○玉井 徹, 加藤 暢, 樋口昌宏(近畿大)
 - 4 品質要求を記述したユースケースによる進捗管理 ○西野文雄, 東 基衛(早大)
 - 5 デザインパターンに基づいた Traceability Link の構築と Software Evolution のサポート ○佐々木宏太, 表 秀和, 海谷治彦, 海尻賢二(信州大)
 - 6 コードクローン間の依存関係に基づくリファクタリング支援環境の実装 ○吉田則裕, 肥後芳樹(阪大), 神谷年洋(科学技術振興機構), 楠本真二, 井上克郎(阪大)
 - 7 オブジェクト同期体デザインパターンの多重ロックへの拡張 ○海老澤寛, 吉田紀彦(埼玉大)
- デモセッション [デモ会場]**
- デ-02 (3月2日(水))**
- 産業用 Web アプリケーション構築技術
～監視系と情報系の混在した Web アプリケーションの実現～
○寺岡照彦, 大崎雅代, 柳原慎太郎, 中田秀男(三菱)

第2分冊

(人工知能と認知科学)

一般セッション [2G会場] (3月2日(水) 15:30 ~ 17:30)

情報検索・抽出 座長 村田 真樹(NICT)

- Webからの情報抽出・検索システムにおける文書検索へのフィードバック適用の効果
○濱口佳孝, 池野篤司(沖電気), 山本英子, 井佐原均(NICT)
- N-gram全文検索と概念検索を融合した文書検索方式の検討
○亀代泰三, 永井明人, 谷垣宏一, 平野 敬, 岡田康裕(三菱)
- 単語共起行列の次元圧縮に基づく概念検索方式の評価
○永井明人, 相川勇之, 高山泰博, 今村 誠(三菱)
- Webニュース記事からの印象の自動抽出
○熊本忠彦(NICT), 田中克己(NICT/京大)
- Webを対象としたプロフィール情報の項目化と統合
○吉谷仁志, 黄瀬浩一, 松本啓之亮(阪府大)
- WEB検索による知識文の獲得と意味グラフ照合推論による質問応答システム
○加藤裕平, 古川勇人, 蒲生健輝, 韓 東力, 原田 実(青学大)

一般セッション [3G会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

音楽情報科学 座長 嵯峨山茂樹(東大)

- 17音平均律用MIDI鍵盤の設計と試作
○杉山正治(大谷大)
- 新しいPolyagoric Graphic Synthesizerの実現に向けての検討
○長嶋洋一(静岡文化芸大)
- 旋律パターンを応用した旋律合成システムの試作
○出口幸子(近畿大), Craig Sapp(Stanford University)
- 多重奏の音源同定のための混合音からのテンプレート作成法
○北原鉄朗(京大), 後藤真孝(産総研), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 状況と嗜好に関するアノテーションに基づくオンライン楽曲推薦システム
○梶 克彦(名大), 平田圭二(NTT), 長尾 確(名大)
- ユーザ嗜好に基づく音楽情報検索のための学習データ抽出手法
○石先広海(早大), 帆足啓一郎, 松本一則(KDDI研), 甲藤二郎(早大)
- 音楽情報検索システムの操作履歴とユーザ嗜好の相関分析
○安念高志(早大), 帆足啓一郎, 松本一則(KDDI研), 甲藤二郎(早大)

一般セッション [4G会場] (3月3日(木) 14:30 ~ 17:00)

画像処理・色解析 座長 坂上 義秋(本田技研)

- (講演取消)
- デジタルカメラ画像からの不規則線分抽出手法の一検討
○石川裕治(NTTデータ), 布留川信悟(NTTデータクリエイション), 宮崎早苗(NTTデータ)
- 光源色の影響を考慮した画像の色変換に関する研究
○張 英夏, 齋藤 豪, 中嶋正之(東工大)
- 材料の組成を考慮した立体の色彩表現について
○久保嶋司, 古川 進(山梨大)
- 絹織物上の色再現シミュレーションの改善
○尾崎敬二(国際基督教大)
- マンダラパタン系とモンドリアンパタン系の基礎系について(絵画的呈味系の一般系としてのマンダラパタン系)
○横田 誠(伝工工学研究会)
- 時系列パタン系の基礎系としての楽曲パタン系、その記号列化の試み(正規化メッシュパタン上の音楽的ステップパタン系)
○横田 誠(伝工工学研究会)

一般セッション [5G会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

画像圧縮と画像DB 座長 島野美保子(松下)

- 離散コサイン変換によるアスペクト比表示画像の設計 - ウォルシュ変換、圧縮画像、縮小画像、拡大画像 -
○今井幸雄(東海大)
- CCD/CMOSイメージセンサ用画像処理デバイスシミュレータの開発
○森末尚志, 鈴木郁子, 青木 淳, 栗本孝一(シャープ)
- 画像集合とあいまい情報量を用いた画像圧縮
○坂田真人, 小原 仁, 佐藤宏則(秋田大)

- 映像のFM記録におけるスミアの改善
○浜辺直輝, 柴田 浩, 小島正典(阪工大)
- クリケット映像の効率的視聴のためのメタデータ生成方式
○寺師義和, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎(東京工科大)
- 静止画像を活用した空間表示システムの試作
○戸川卓哉, 茂登山清文(名大)

一般セッション [6G会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 17:00)

3次元画像解析・人物画像解析 座長 西村 拓一(産総研)

- 多視点距離データの統合による全方位モデルの生成
○千葉紀之, 永田牧子, 花泉 弘(法大)
- ライン型アクティブステレオ計測による簡易かつロバストな3次元形状モデル生成方法
○藤本敬介(電通大), 紅山史子, 守屋俊夫(日立), 中山泰一(電通大)
- マルチカメラ動画像からの中間画像作成
○紅山史子, 守屋俊夫, 松本高斉(日立), 石原利昭(日立アドバンスドデジタル)
- 仮想環境を利用したウェアブレットによるオンライン物体認識
○村松悠太, 立石怜志, 佐藤英徳, 加藤清敏(東理大)
- 行動シーケンスを用いた視線映像履歴の段階的検索
○阿部明子, 戸田真志(はこだて未来大)
- ズームと顔の向き変化にロバストな口唇の位置推定に関する検討
○白澤洋一, 西田 真(秋田大), 西 健治, 栗栖怜史(アルファシステムズ)
- 発話に伴う口唇の動き特徴と雑音を含む音声信号を用いた個人識別
○佐藤慶幸, 西田 真(秋田大), 栗栖怜史, 西 健治(アルファシステムズ)

一般セッション [1J会場] (3月2日(水) 13:15 ~ 15:15)

自然言語解析 座長 中野 幹生 (ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)

- Elman ネットによる後続要素を利用するための系列予測モデル
○上原謙吾, 原田賢一(慶大)
- 意味解析システム SAGE の精度向上と利便性の向上
○杉村和徳, 山本哲哉, 木村健太郎, 鳥居 隼, 韓 東力, 原田 実(青学大)
- 日本語意味解析に伴うヴォイス・テンス・アスペクト・ムードの決定
○佐藤直美, 韓 東力, 原田 実(青学大)
- エンティティの自動抽出による英字新聞記事文章の構造解析
○石塚隆男(亜細亜大), 新行内康慈(十文字学園女子大), 高嶋啓介, 大友拓也, 山本久志(都立科技大)
- 複数種類の知識源を用いた技術文書チェック方式の提案
○高山泰博, 渡邊圭輔, 相川勇之, 今村 誠(三菱)
- 日本語版オープンマインドの検討
○Heikki Ruuska, 桐山伸也, 坂根 裕, 竹林洋一(静岡大)

一般セッション [2J会場] (3月2日(水) 15:30 ~ 17:30)

自然言語インタフェース・e-learning 座長 内山 将夫(NICT)

- 自然言語によるe-learning用Webページ検索システム
○澤井 進(学習ソフトウェア情報研究センター), 森 勇喜, 板倉弘幸, 若木利子(芝浦工大)
- 誤訳/訳漏れチェッカー - 翻訳者向け対訳集の利用
○脇田早紀子, 松山香子(日本IBM)
- 誤りやすい英単語を認識させる手法
○菅野 啓, 金子美和, 青木和夫(日本IBM)
- ニューラルネットワークを用いた携帯端末向け日本語入力手法における単語変換精度
○鎌田竜也, 松原雅文, Goutam Chakraborty, 馬淵浩司(岩手県大)
- 日本語入力補助手法としての曖昧変換を用いた自動登録システム
○蓮井洋志(室蘭工大)
- 曖昧変換システムと従来型日本語入力システムの比較入力実験
○蓮井洋志(室蘭工大)

一般セッション [3J 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

学習・遺伝的アルゴリズム・人工生命 座長 川村 秀憲(北大)

- 1 アメーバ型 GA の提案と自動作曲システムへの応用
○蓮井洋志, 長島知正(室蘭工大)
- 2 探索過程を考慮に入れた動的多段交叉の提案
○武藤敦子, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)
- 3 雪の結晶パターンを生成するセルオートマトンの進化的設計手法
○徳嶋陽子, 狩野 均(筑波大)
- 4 四人のジレンマゲームにおけるネットワーク構造の影響
○小野真裕, 石塚 満(東大)
- 5 交渉過程を導入したマルチエージェント強化学習の報酬配分
○鶴岡 久(福岡工大)
- 6 Infant Agent に与える効率的概念獲得のための制約に関する検討
○小玉智志, 田口 亮, 桂田浩一, 山田博文, 新田恒雄(豊橋技科大)
- 7 マルコフ連鎖モンテカルロ法と EM アルゴリズムを用いた
床圧力センサ情報による人物位置追跡
○佐藤 哲(NICT), 和田俊和(和歌山大)

一般セッション [4J 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

オントロジ・応用システム 座長 柴田 直樹(滋賀大)

- 1 自然言語検索文に応じたオントロジに基づく対話インタフェース
○酒井 大(日本 IBM)
- 2 ウェブオントロジのサブセット動的生成方式の提案
○野口敦史(日本 IBM システムズ・エンジニアリング)
- 3 健康福祉に関する領域オントロジの構築
○大益知佳, 富樫 敦, 藤村幸平, 湯本純也(宮城大),
板橋吾一(サイエンティア)
- 4 健康福祉サービスのためのエージェントシステム基盤の構築
○板橋吾一(サイエンティア), 蓬莱一朗, 木下哲男(東北大),
富樫 敦(宮城大), 野口正一(仙台応用情報学研)
- 5 分散環境におけるエージェントを用いたブックマーク共有システム
○井上和範, 永井保夫(東京情報大)
- 6 ポリュームディスカウントに基づく財の効率的な割当手法の提案
○松尾徳朗, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 7 アウェアネス機能を持つ e-Learning システム(ADLES-OHM)
○藤岡透悟, 田中千代治(阪工大)

一般セッション [5J 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

要約・対話 座長 奥村 学(東工大)

- 1 SVM による重要語選択に基づく要約システム ABISYS2004
○田中信彰, 広瀬裕二, 韓 東力, 原田 実(青学大)
- 2 概念距離と係り受けを利用した要約文の文節対応付け
○福富 諭, 尾関和彦, 高木一幸(電通大)
- 3 A Machine learning approach to sentence ordering for Multi document summarization
○Danushka Bollegala, 岡崎直樹, 石塚 満(東大)
- 4 事例ベース推論によるロボットの行動命令に含まれる不明確性の解消
○徳永 陽, 橋本泰一, 徳永健伸, 田中穂積(東工大)
- 5 対話特徴可視化ツールの開発
○小野寺佐知子, 落谷 亮(富士通研)
- 6 ユーザ環境情報の利用を可能にする MMI アーキテクチャの検討
○大隈祐治, 青木一峰, 新田恒雄, 桂田浩一, 山田博文(豊橋技科大)

学生セッション [1L 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

画像処理 座長 中原 智治(松下電工)

- 1 ROI を用いた JPEG2000 動画配信圧縮方法
○朝井公教(弘前大),
瀧ヶ平将行(メイトック), 吉岡良雄, 一條健司(弘前大)
- 2 シームレステキスト生成法を用いた補完画像の画質評価
○内山勇作, 徳永幸生(芝浦工大)
- 3 インターネット放送を対象とした映像の主観品質に基づいた
映像コンテンツの分析
○宮島 悠, 加藤由花, 箱崎勝也(電通大)
- 4 2次元輪郭図形に対する逐次形スケルトン生成法
○小田原哲大, 中村克彦(電機大)
- 5 通過点削減によるベクトル表現の符号化効率改善
○山本勇樹, 河村 圭, 渡辺 裕, 富永英義(早大)
- 6 人間の色覚特性を考慮した情報ハイディング
○秋山俊宏, 本吉史明, 内田 理, 中西祥八郎(東海大)

学生セッション [2L 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

画像処理・認識 座長 森 靖英(日立)

- 1 渦巻探索の順序を考慮した SSDA 法による相互相関法の並列処理手法
○尾本良子, 佐藤章浩, 佐田宏史, 前川仁孝, 伊與田光宏(千葉工大)
- 2 ビデオカメラを用いた直線移動量の計測に関する基礎的研究
○檜山武浩, 北川悦司, 田中成典, 古田 均, 杉町敏之(関西大)
- 3 (講演取消)
- 4 色相を活用した画像データベースからの索引情報抽出
○中村直人, 高野 茂, 新島耕一(九大)
- 5 Perception-based Evaluation of Segmentation Algorithms
○David Gavilan, 高橋裕樹, 齋藤 豪, 中嶋正之(東工大)
- 6 類似検索エンジンを用いた画像の領域分割
○田中浩康, 橋本周司, Hartono Pitoyo(早大)
- 7 類似画像検索のための画像切り出し法の研究
○曾根博之,
Hector SANDOVAL, 千種康民(東京工科大), 服部泰造(東京国際大)
- 8 TransMedia における圧縮された文書画像に対する文字列検索
○猪村 元, 田中 譲(北大)

学生セッション [3L 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

3次元形状復元 座長 石山 壘(NEC)

- 1 2次元に投影された3次元物体の幾何学的情報量の視点依存性
○池田広志, 橋本周司(早大)
- 2 複数枚画像からの自動三次元モデル復元手法に関する検討
○由良俊樹, 加藤誠己(上智大)
- 3 3次元物体のラン表現とランの操作
○岩瀬寛貴, 東海林健二, 外山 史(宇都宮大)
- 4 自律移動型ロボットのステレオ視センサモデルと3次元地図生成
○洪 起範, 鈴木健嗣, 橋本周司(早大)
- 5 縮小光学系を考慮したフラッドベッド型イメージスキャナによる超高精細
三次元再構成
○周藤一浩, 齋藤 豪, 高橋裕樹, 中嶋正之(東工大)
- 6 画像処理を用いた単眼動画像からのモーションデータ取得の自動化に
関する検討
○武藤麻矢, 加藤誠己(上智大)
- 7 A 3D Interpreter Sketch System for Constructing Solid Models
○劉 偉中, 近藤邦雄(埼玉大), ジュン ミタニ(理研)
- 8 探り動作を用いたロボットによる物体形状の特定
○加藤裕介, 加藤清敏(東理大)
- 9 ビデオ画像の時空間表示方法
○水澤允貴, 中村鎮雄(北海道情報大)

学生セッション [4L 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

検出・追跡技術 座長 二宮 芳樹(豊田中研)

- 1 方向性を持つ類似 Haar フィルタによる物体検出
○東島由佳, 高野 茂, 新島耕一(九大)
- 2 エレベータビデオカメラによる人数計測の基礎的研究
○野中一希, 吉田博哉, 田中成典, 古田 均(関西大)
- 3 出現頻度に基づく注目不要な移動物体の判別手法
○小條正喜, 北澤仁志(農工大)
- 4 背景差分法による移動物体抽出での一時静止物体の扱い
○鍛冶俊平, 小條正喜, 北澤仁志(農工大)
- 5 リフティングウェーブレットフィルタの逐次学習による高速物体追跡
○池浦隆一, 高野 茂, 新島耕一(九大)
- 6 Detection of Moving Humans From Navigating Robot Using Two
Cooperative Vision Platforms
○Thatsaphan Suwannathat(電通大), 金子正秀(電気通信学)
- 7 Interpretation Of Activities of Human Body Parts Based on Sequence of
Joint Angles under Considering Constraint Relationship with Objects.
○Juanda Lokman, 金子正秀(電通大)
- 8 ステレオビデオカメラを用いた交通量算出システムに関する研究開発
○西田義人, 北川悦司, 田中成典,
古田 均, 杉町敏之(関西大), 藤巻重則(アジア航測)

学生セッション [5L 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

人物画像処理・インタフェースでの応用 座長 川出 雅人(オムロン)

- 1 歩行動画像における特徴の安定性検証および SVM による分類
○福永正剛, 宮内 新, 中野秀洋(武蔵工大)

- 2 単眼視画像からの顔方向検出とその応用に関する検討
○大竹 祐, 加藤誠巳(上智大)
- 3 顔画像からの特徴抽出に基づく顔検出システムの設計と実装
○松田啓二, 及川雄揮, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
- 4 デジタル動画像を用いた視線計測システムに関する研究開発
○遠藤 篤, 北川悦司, 田中成典, 古田 均, 杉町敏之(関西大)
- 5 アイ・トラッキング技術を用いた石庭の景観解析
○佐久間大典, 蔡 東生(筑波大)
- 6 手数字による個人認証への遺伝的アルゴリズムの適用
○町田則文, 小林哲二(日本工大)
- 7 顔のアクションに着目した人とロボットとの共感コミュニケーション
○高田元一郎, 金子正秀(電通大)
- 8 携帯メールにおける感情表現についての検討
○西川 健, 進藤祐里(愛知県大),
村田嘉利(NTTdocomo 東海), 井手口哲夫(愛知県大)

学生セッション [6L 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 17:00)

- ゲーム** **座長 伊藤 毅志(電通大)**
- 1 階層型 TD-Q 学習のゲームへの適用
○駒井崇行, 小谷善行, 乾 伸雄(農工大)
 - 2 詰碁における評価関数を使った証明数探索 ○鹿窪秀光(農工大)
 - 3 形式モデルと差分計算にもとづく囲碁局面の静的解析
○肥尾将士(電機大)
 - 4 9路盤対局囲碁における評価関数の研究
○荒澤 智, 近藤秀文, 原田紀夫, 石原孝一郎(拓大)
 - 5 囲碁における終盤探索のための欠け目判定アルゴリズムの開発
○荒張敬一郎, 近藤秀文, 原田紀夫, 石原孝一郎(拓大)
 - 6 ダブルダミー問題の縦型探索による効率的なプログラムの開発
○山村結史, 近藤秀文, 原田紀夫, 石原孝一郎(拓大)
 - 7 コンピュータブリッジにおける並列ゲーム木探索-MPIによる実装-
○小田和友仁, 上原貴夫(東京工科大)
 - 8 コンピュータブリッジにおける各種シグナルの実装
○村上隆志, 小田和友仁, 上原貴夫(東京工科大)
 - 9 任天堂テンビリオンの操作手順抽出アルゴリズムの設計と実装
○竹内 悟, 西田誠幸, 原田紀夫(拓大)

学生セッション [1M 会場] (3月2日 (水) 13:15 ~ 15:15)

- ヒューマノイドロボット** **座長 小野 哲雄(はこだて未来大)**
- 1 遺伝的アルゴリズムを用いた二足歩行ロボットの制御
○村松琢司, 原田義邦, 神林 靖(日本工大)
 - 2 関節スティフネスを利用した二足ロボットの歩行運動生成
○中村智子, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)
 - 3 エージェントの意思決定のための制約充足推論手法の提案
○粉川貴至, 榊 未央, 小川 均(立命館大)
 - 4 ロボットとの協調作業のための RNN による擬似シンボルの獲得
○大谷 拓, 駒谷和範, 尾形哲也(京大), 谷 淳(理研), 奥乃 博(京大)
 - 5 進化的ニューラルネットによるロボットの動作制御 ○上西康太(東大)
 - 6 対話型進化計算を用いたヒューマノイドロボットの動作設計
○柳瀬利彦(東大)
 - 7 体格の差異を考慮に入れたヒューマノイドの見まね学習
○斉藤一樹, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)
 - 8 HMM での動作認識における類似動作からの特徴部位抽出
○井口 茂(早大)

学生セッション [2M 会場] (3月2日 (水) 15:30 ~ 17:30)

- 移動ロボット** **座長 矢入 健久(東大)**
- 1 強化学習に基づく実ロボットによる追跡問題の解決
○唯野隆一, 伊庭斉志(東大)
 - 2 RNN によるロボットの物体操作のための物体ダイナミクスの抽出
○大庭隼人, 大谷 拓, 駒谷和範, 尾形哲也(京大),
谷 淳(理研), 奥乃 博(京大)
 - 3 P2P を利用したシステム統合アーキテクチャに基づくロボットの移動機能の実現
○徳永 稔(早大), 中野鐵兵, 清水健二, 藤江真也, 小林哲則

- 4 ロボットの発話情報を利用した環境センサ情報への意味付け
○大澤博隆, 向井 淳, 今井倫太(慶大)
- 5 行動知識ベースの自動構築による知能ロボットの自律移動方式
○加藤宏幸, 渡部広一, 河岡 司(同志社大)
- 6 学習によるロボットの移動動作獲得に関する研究
○亀田 直(芝浦工大)
- 7 (講演取消)
- 8 逐次学習可能なカオス連想メモリを用いたロボットの行動学習
○出口 誠, 佐藤伸雄, 長名優子(東京工科大)

学生セッション [3M 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- 学習・エージェントモデル** **座長 山田 誠二(国立情報学研)**
- 1 ILP を用いた誤分類の判別による分類器の精度向上
○横山正樹, 松井藤五郎, 大和田勇人(東理大)
 - 2 定性シミュレータにおける木構造に基づく因果モデル作成支援システムの提案
○小松正樹, 松尾徳朗, 大田忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
 - 3 動的な環境を考慮した効率的な強化学習手法
○高田沙都子, 宮内 新, 中野秀洋(武蔵工大)
 - 4 強化学習における状態統合による学習の高速化
○長谷川雄吾, 宮内 新, 中野秀洋(武蔵工大)
 - 5 動的分散制約最適化問題への深さ優先探索木に基づく解法の適用
○松井俊浩, 松尾啓志, 岩田 彰(名工大)
 - 6 マルチエージェントモデルを用いたコンビニ利用行動のシミュレーション
○劉 鳴, 村木雄二, 狩野 均(筑波大)
 - 7 環境の変化に対するマルチエージェントのロバスト性に関する研究
○菊田洋一, 相場 亮(芝浦工大)
 - 8 マルチエージェントシミュレーションによるコミュニティ分析
~興味や感情を考慮したエージェントの導入~
○藤井公司, 高橋貞夫(芝浦工大)

学生セッション [4M 会場] (3月3日 (木) 14:30 ~ 17:00)

- ニューラルネットワーク** **座長 栗原 聡(阪大)**
- 1 距離評価に基づく認識のための次元圧縮
○佐藤美沙紀, 平岡和幸, 三島健稔(埼玉大)
 - 2 確率ゲームの状態遷移モデル化およびクラス判別の一手法
○野田芳誉, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)
 - 3 状況概念の反応処理による実環境への適応機構
○東内秀樹(芝浦工大)
 - 4 色と形状を利用したカオスニューラルネットワークによる類似画像検索
○小菅智史, 長名優子(東京工科大)
 - 5 ニューラルネットワークによるタンパク質三次構造予測の試み
○渡辺和之, 三枝 亮, ピトヨハルトノ, 橋本周司(早大)
 - 6 リカレントネットを用いたオンライン文字認識システム
○槽谷勇児, 山名早人(早大)
 - 7 ニューラルネットワークを用いた衝撃貫通画像処理
○田中正一, 小川毅彦, 金田 一(拓大)
 - 8 自己組織化マップを用いた衝撃貫通画像の解析
○堀内崇弘, 小川毅彦, 金田 一(拓大)
 - 9 ネットワークインバージョンを用いたロボットアームの関節角の逆推定
○松浦広通, 小川毅彦, 金田 一(拓大)

学生セッション [5M 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- 遺伝的アルゴリズム** **座長 西野 哲朗(電通大)**
- 1 GP によるタンパク質の HP モデル二次元格子型構造予測
○矢吹崇広, 伊庭斉志(東大)
 - 2 遺伝的アルゴリズムによる人体モーションの生成・アニメーションへの応用
○原田淳平(筑波大)
 - 3 遺伝的アルゴリズムを用いたオフィスレイアウト支援システム
○橋本 聡, 仲村太郎, 春山和宣, 中嶋豊久, 長名優子(東京工科大)
 - 4 遺伝的プログラミングと隠れマルコフモデルを用いた自動作曲
○宮崎大輔, 石川芳樹, 長名優子(東京工科大)
 - 5 対話型遺伝的アルゴリズムを用いたサイン音生成
○織田博子, 三木光範, 廣安知之(同志社大)

- 6 創発プログラミングのノード作成に関する考察
○中請 隆, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 7 シミュレーテッドアニーリングプログラミングによる群知能の発現
○藤田佳久, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 8 並列分散対話型遺伝的アルゴリズムによる合意形成支援
○富岡弘志, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 9 広域非同期分散対話型遺伝的アルゴリズムの提案
○濱地優希, 三木光範, 廣安知之, 山元祐輝(同志社大)

学生セッション [6M 会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 17:00)

情報検索・自然言語インタフェース 座長 今一 修(日立)

- 1 グルー検出を元にした辞書を用いない英文中のエラー検出
○塩野谷友隆, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 2 保存メールとの関連性を利用する Web ブラウジングシステム
○漆畑航太, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 3 本文中の日付情報を利用したメール仕分けシステムの試作
○若林裕嗣, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 4 検索質問拡張における実証的重みの検証
○小林啓一郎, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 5 RSS を利用して記事の「その後」を検出通知するシステム
○吉田 悟, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 6 自然会話によりドライバを援助する車載器用会話型エージェントに関する検討
○廣瀬有紹, 加藤誠巳(上智大)
- 7 応答文生成にテキストコーパスを用いた会話システムに関する検討
○武蔵利行, 加藤誠巳(上智大)
- 8 ユーザの発話からの嗜好学習により話題を提供する会話エージェントシステムに関する検討
○畑中聖二, 加藤誠巳(上智大)
- 9 会話システムにおける意味ネットワークを用いた知識の表現に関する検討
○堂野心悟, 加藤誠巳(上智大)

学生セッション [1R 会場] (3月2日(水) 13:15 ~ 15:15)

オントロジ・知識ベース 座長 木村 和広(東芝)

- 1 接続詞「にもかかわらず」を含む文からの因果知識の獲得
○富川昌則, 石川 勉(拓大)
- 2 属性に基づく曲の推薦システム WisdomTunes の試作について
○宮下恒雄, 永田雄大, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 3 共起語に基づくトピックの経年変化を利用した情報推薦について
○渡邊 倫, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 4 コールセンターにおける重要なクレームの絞り込み手法について
○梶川泰成, 渡邊 倫, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 5 Web 上におけるエージェント環境 MiSpider の実装
○深萱裕二郎, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 6 書籍情報管理システム MiBook における書籍推薦の説明生成手法について
○堀 和裕, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 7 健康福祉のためのエージェントシステムの設計開発
○藤村幸平(宮城大), 大益知佳(仙台応用情報学研), 湯本純也, 富樫 敦(宮城大)
- 8 オントロジ上の推論機構と推論エンジンの設計開発
○湯本純也(宮城大), 大益知佳(仙台応用情報学研), 藤村幸平, 富樫 敦(宮城大)

学生セッション [2R 会場] (3月2日(水) 15:30 ~ 17:30)

人工生命 座長 服部可奈子(東芝)

- 1 フェロモンを用いたエージェントにおける集団行動の形成実験
○三神佳岳, 小谷善行, 乾 伸雄(農工大)
- 2 PVA を用いた絶滅危惧種の存続性分析について
○上地洋祐(芝浦工大)
- 3 群知能における自己組織化メカニズムの構築
○空門日出来(芝浦工大)
- 4 遺伝子とミームを用いた性選択モデルの一提案
○徳原信哉, 加藤昇平, 武藤敦子, 伊藤英則(名工大)
- 5 心の理論の進化に関する NKC 適応度地形に基づく検討
○加藤正浩, 有田隆也(名大)
- 6 進化と学習に基づく文法の創発モデル
○各務毅志, 有田隆也(名大)
- 7 進化シミュレーションにおける性淘汰が自然淘汰に与える影響
○川口哲司, 有田隆也(名大)
- 8 成長しながら行動する自己組織系の進化
○石川貴士, 有田隆也(名大)

学生セッション [3R 会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

音楽情報科学 座長 青野 裕司(NTT)

- 1 (講演取消)
- 2 遺伝的アルゴリズムを用いた作曲支援システム
○笠瀬秀一郎(金沢学院大)
- 3 MIDI データの画素指向可視化
○渡辺絵理(お茶の水女子大), 藤代一成(東北大)
- 4 楽譜情報の教示による二楽曲間の感性的な類似性の評価法
○中村隆太, 鈴木 寿(中大)
- 5 事例に基づく演奏表情生成システムにおける表情生成式の改良と評価
○金子雄介(芝浦工大), 鈴木泰山(デュオシステムズ), 徳永幸生(芝浦工大)
- 6 ジェスチャによる音楽の再生制御
○小尾正和, 鈴木健嗣, 橋本周司(早大)
- 7 調波構造の抑制によるドラムス発音時刻検出の頑健化
○吉井和佳(京大), 後藤真孝(産総研), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 8 歌声の調波構造抽出を用いた歌手名の同定
○藤原弘将, 北原鉄朗(京大), 後藤真孝(産総研), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 9 スイングバック再生法を用いた時間伸張と圧縮
○中村智朗, 石川智之, 山崎智史, 幹 康(拓大)

学生セッション [4R 会場] (3月3日(木) 14:30 ~ 17:00)

音声認識・対話 座長 畑崎香一郎(NEC)

- 1 擬音語自動認識に基づいた環境音検索システム
○石原一志, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 2 生活環境音を記録し音響的特徴を用いて要約するインタフェースの提案
○大塚昭徳, 伊丹徳重, 坂倉美保, 富塚清史, 大川茂樹(千葉工大)
- 3 マイクロフォンアレイにより分離した環境音による状況認識
○海尻 聡, 石原一志(京大), Jean-Marc Valin(Universite de Sherbrooke), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 4 マイクロホンアレイによる分離音認識のためのミッシングフィーチャーマスク自動生成
○山本俊一(京大), Jean-Marc Valin(Universite de Sherbrooke), 中臺一博(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 5 方向と距離の変化に対してロバストな唇認識
○山口 健, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 6 音声対話システムにおける音韻的類似表現の混同を防ぐための確認の生成
○浜辺良二(京大)
- 7 データベース検索タスクの文脈的制約を用いた音声対話システムの実験的評価
○神田直之, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 8 カルマンフィルタによる音声の時系列特徴を用いた複数移動話者の追跡
○村瀬昌満, 山本俊一(京大), Jean-Marc Valin(Universite de Sherbrooke), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 9 VoiceXML 専用フレームワークの開発と「戻る」の実装
○石塚隆平, 山崎祥行, 大野澄雄, 奥 正廣, 千種康民(東京工科大), 小池 隆(富士ソフト ABC)

学生セッション [5R 会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

Web 情報抽出・文書検索・文書分類 座長 仲尾 由雄(富士通研)

- 1 Web テキスト文からのルール知識の抽出
○小林大祐, 谷口智哉, 石塚 満(東大)
- 2 WEB 情報を用いた用語説明文の自動抽出
○ユスティヌス ジュリ, 石塚 満(東大)
- 3 Weblog 上の評判情報における形容詞の出現位置を考慮した賛否分類
○江崎晃司, 大和田勇人, 松井藤五郎(東理大)
- 4 Weblog における書き手の興味に関する推定分布生成手法の提案
○松山 学, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 5 サポートベクターマシンを用いた属性選択法による Web ページ分類
○齊藤厚志, 板倉弘幸, 若木利子(芝浦工大)

- 6 教師なしメール分類手法を用いたメールボックス自動生成システムの提案
○平岡佑介, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)

- 7 そば口上ビデオデータの収集と自動分類
○阿部智恵, 杉山雅英(会津大)

- 8 TV番組録画システムと好み自動学習 ○真船 勉, 杉山雅英(会津大)

- 9 非専門家による使用を想定した医療情報処理システム
○佐藤敏紀, 上笹正典, 三浦弘之, 渡辺昌貴, 上原貴夫(東京工科大)

学生セッション [6R会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 17:00)

Web・応用システム 座長 河野 浩之(南山大)

- 1 知的人工物における知的構造の解析
○佐野 僚, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 2 知的照明システムにおけるユーザインタフェース -携帯電話による照明コントロールと目的に応じた適応的照明コントロール-
○岩橋崇史, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 3 知的照明システムにおけるユーザインタフェースの構築 -音声認識およびタッチパネルを用いた照明コントロール-
○池田 聡, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 4 Web ページ閲覧支援システム WebPageMarker の試作
○古賀隆浩, 田代慎治, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 5 Web 上の辞書構造を利用したメタ辞書の構築
○青田 匠, 松山 学, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 6 検索結果ページからの情報源の URL 自動抽出を用いた絞り込み検索支援について ○大川原雄也, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 7 WFE における協調的な Web ページの編集について
○田代慎治, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 8 Web ページデザインにおける配色支援システムの試作
○早川潤一, 平岡佑介, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 9 マルチエージェントによるショッピングサイトにおける商品の検索・購入支援システム Baraza の試作
○田辺正喜, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)

学生セッション [1ZA会場] (3月2日(水) 13:15 ~ 15:15)

自然言語解析・自動要約 座長 出羽 達也(東芝)

- 1 経験的性質を考慮した高速な係り受け解析
○生田哲也, 鈴木 寿(中大)
- 2 決定木学習による述語の省略補完
○小林明子, 古宮嘉那子, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)
- 3 決定木学習による敬語の選択ルールの生成
○古宮嘉那子, 小林明子, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)
- 4 単語連想による筋道を用いた物語プロット自動生成システム
○加賀谷卓宏, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)
- 5 形態素対の出現確率を用いた分割された文書の順序決定
○小川和良(農工大)
- 6 形態素の共起確率を用いた国語教科の選択問題の解答システム
○伊倉永賢, 小谷善行, 乾 伸雄, 松井祥峰(農工大)
- 7 複数文の結合を用いた要約システム
○近藤憲司, 横山晶一, 西原典孝(山形大)
- 8 文間の類似性を用いた国会会議録のトピック別要約の検討
○金丸浩司, 西崎博光, 関口芳廣(山梨大)

デモセッション [デモ会場]

デ-10 (3月2日(水), 3月3日(木), 3月4日(金))

ネットコミュニケーションの話題の勢いを用いたコンテンツ

ナビゲーションシステムの提案

○石井 恵, 井沢味奈子, 牛島浩一, 片岡良治(NTT)

第3分冊

(データベースとメディア)

一般セッション [1E会場] (3月2日 (水) 13:15 ~ 15:15)

メタデータ 座長 阪口 哲男(筑波大)

- 1 画像コンテンツ外縁へのメタデータ付加手法の提案と実装
○北原 亮, 廣田啓一, 茂木一男(NTT)
- 2 番組視聴制御方式におけるプロトタイプの評価と語彙拡張の検討
○細野一樹, 関亜紀子(早大), 土居清之, 浦野丈治, 宮林 聡(日本テレビ放送網), 亀山 渉(早大)
- 3 視聴者入力情報からの時系列キーワード抽出システムの試作
○大黒泰平(早大), 加藤友規, 土居清之(日本テレビ放送網), 亀山 渉(早大)
- 4 Web ページの重要語を利用した RDF メタデータ付与支援ツールの開発
○佐藤邦俊, 桂田浩一, 新田恒雄(豊橋技科大)
- 5 電子タグ属性情報の異種プラットフォーム間相互翻訳技術の検討
○福尾哲洋, 村山弘城, 畑 恵介(NTT データ)
- 6 SemCode2: オントロジーに基づくアノテーションとトランスコーディング
○長尾 確(名大)

一般セッション [2E会場] (3月2日 (水) 15:30 ~ 17:30)

情報検索技術 座長 岸田 和明(駿河台大)

- 1 Web 情報検索における Markov Cluster algorithm を用いたクラスタリング手法
○加藤一民, 松尾啓志(名工大)
- 2 文書間の差異に着目したクラスタリング手法の提案
○渡辺 匡(都立大)
- 3 ページタイプと閲覧目的による WEB ブラウジング支援
○小田寿則, 石井 恵, 岡岡良治(NTT)
- 4 Mining Web logs for personalized recommender system
○suthera puntheeranurak, 辻 秀一(東海大)
- 5 文書属性に基づく可視化手法を用いた特許情報検索システムの試作
○岡野祐一, 平野 敬, 亀代泰三, 岡田康裕(三菱)

一般セッション [3E会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

コンテンツ管理 座長 吉田 稔(東大)

- 1 コンテンツ循環における権利管理の基礎的検討
○関亜紀子, 亀山 渉(早大)
- 2 多様な販売形態に対応したコンテンツ利用権管理方式の考察
○松田光弘, 北上真二(三菱)
- 3 Web サービスへのアクセス部品の導入による 3次元情報アクセス空間の構築
○伊藤正彦, 田中 謙(北大)
- 4 Web ページ作成におけるデザインイメージの検討支援ツール
○有賀紗子(同志社女子大), 渡部隆志(阪電通大)
- 5 障害対処のためのシステム状態管理ユーザインタフェース
○池上輝哉, 加藤清志, 中村暢達, 平池龍一(NEC)
- 6 文書解析と設定検証に基づく情報漏洩脅威分析方式 (1)
コンセプトとシステムの概要
○小川隆一, 細見 格, 榊 啓, 矢野尾一男(NEC)
- 7 文書解析と設定検証に基づく情報漏洩脅威分析方式 (2)
文書内容解析と構造解析を用いた機密度判定
○細見 格, 榊 啓, 小川隆一(NEC)
- 8 文書解析と設定検証に基づく情報漏洩脅威分析方式 (3)
設定検証を用いた不正アクセス経路発見
○榊 啓, 矢野尾一男, 小川隆一, 細見 格(NEC)

一般セッション [1K会場] (3月2日 (水) 13:15 ~ 15:15)

データウェアハウス 座長 原田リリアン(富士通研)

- 1 A HYBRID CLUSTERING CRITERION FOR R*-TREE ON BUSINESS DATA
○Yaokai Feng(九大), 王 志斌, 牧之内顕文(九大)
- 2 連合データベースにおける列関数使用時の結合検索最適化
○小池 聡, 河瀬 健, 木村昌臣(芝浦工大)
- 3 データウェアハウスシステムにおける大規模マスタデータアクセス方法
○八木綾子, 金田典久, 佐藤重雄, 早川孝之(三菱)

4 Web 環境における OLAP ツールの実装

○秩父かおり, 佐藤重雄, 佐久間孝夫, 早川孝之(三菱), 井原好美(三菱電機インフォメーションテクノロジー)

5 データベース同期複製のための JavaAPI の拡張

○藤山健一郎, 中村暢達, 平池龍一(NEC)

一般セッション [2K会場] (3月2日 (水) 15:30 ~ 17:30)

画像 DB 座長 野村 直之(リコー)

- 1 新しい特徴量に基づく画像領域の分類
○川内貴志, 牧之内顕文(九大)
- 2 画像データベースにおける Mathematical Morphology Library の開発
○城戸英彰, 牧之内顕文(九大)
- 3 注視点を考慮した映像索引付け方式の提案と評価
○西岡欣亮(関西大), 住野 優(無所属), 大西真晶(関西大), 上田真由美(阪大), 上島紳一(関西大)
- 4 アノテーションに基づくスポーツ映像要約とナレーション生成
○大平茂輝, 長尾 確(名大)
- 5 カメラアングルと被写体の位置情報を用いた画像分類の検討
○伊藤 学(東大), 小池真由美(エスパリエ), 池田佳代(エクセリードテクノロジー), 日高宗一郎(国立情報学研), 青木輝勝(東大)
- 6 Digital Patients のための 3次元人体データベース
○森井 喬, 二反田慎, 牧之内顕文(九大)

一般セッション [3K会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

XML 座長 天笠 俊之(奈良先端大)

- 1 XML 処理の類型化に基づく高速化手法の検討
○増塩智宏, 渡邊圭輔, 今村 誠(三菱)
- 2 構造化文書データベースにおける要素横断検索の実装
○村井昭子(東芝)
- 3 ヒューマノイドロボット用マルチモーダルプレゼンテーション記述言語 MPML-HR の開発
○櫛田和貴, 西村義隆, 土肥 浩, 石塚 満(東大), 竹内崇羽, 辻野広司(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)
- 4 XML データベースと自然言語処理技術を用いた設備情報提供プロトタイプシステムの開発
○宮下美貴, 野末道子, 渡辺義夫(鉄道総研)
- 5 知人ネットワークを用いた情報共有手法の提案
○福井宏幸(関西大), 上田真由美(阪大), 上島紳一(関西大)
- 6 XML データベースによる大学評価システムの構築
○杉本典子, 関 隆宏, 石野 明, 金丸玲子, 竹田正幸, 廣川佐千男(九大)
- 7 シラバスデータベースシステムの実用化
○井田正明, 芳鐘冬樹, 野澤孝之, 宮崎和光(大学評価・学位授与機構), 喜多 一(京大)

一般セッション [4K会場] (3月3日 (木) 14:30 ~ 17:00)

データ発掘 座長 安形 輝(亜細亜大)

- 1 サンプルの隣接関係に着目した多次元データに内在する特徴間の共変関係検出に関する考察
○名見耶厚, 石川慎也(電機大), 小野裕次郎(十文字学園女子大), 市野 学(電機大)
- 2 つながりを重視した Web コミュニティからの知識発見手法
○福島健吾, 今泉 忠, 出原至道(多摩大)
- 3 監視映像におけるオブジェクト移動履歴検索
○松井康作, 浜田玲子(東大), 井手一郎(名大), 坂井修一(東大)
- 4 (講演取消)
- 5 Web からの意見抽出システムにおける意見要約方式の評価
○立石健二, 福島俊一(NEC), 松本裕治(奈良先端大)
- 6 宿泊施設の公式サイト検索エンジン「オフィシャルゲート」の開発について
○川村秀憲, 本山恵子, 山本雅人, 大内 東(北大)

一般セッション [5K会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

地理 DB 座長 遠山 元道(慶大)

- 1 空間データベースシステム Hawk's Eye の実装と評価
○金子邦彦, 田中美智子, 陸 応亮, 牧之内顕文(九大)
- 2 Reducing The Data Size of Spatial Databases by Compact Cell Position Vectors
○陸 応亮, 金子邦彦, 田中美智子, 牧之内顕文(九大)

- 3 incidence graph を利用した非有界 cell の分割アルゴリズム
○田中美智子, 金子邦彦, 陸 応亮, 牧之内顕文(九大)
- 4 物体間の関係記述に基づく実世界中のイベント検索手法
○柳沢 豊(NTT)

一般セッション [6K 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

情報流通 座長 橋本 泰一(東工大)

- 1 動画コンテンツを安定的かつ安全に配信する方式に関する一考察
○荒木信行, 楯 武士, 岡野正見(NTTコムウェア)
- 2 デジタル放送を利用した低コスト場面録画手法の提案
○桐村昌行, 佐々木幹郎, 齋藤正史(三菱)
- 3 P2P によるセキュア情報流通プラットフォーム "P2PWeb"
○神谷俊之, 加藤大志, 仁野裕一, 福岡秀幸, 谷 幹也(NEC)
- 4 P2P ネットワークにおける情報の流通監視方式の提案
○仁野裕一, 加藤大志, 福岡秀幸, 谷 幹也(NEC)
- 5 ユーザー設定を簡易にする IPv6 情報家電 P2P ミドルウェアの提案
○江守拓実, 江副敏晴, 西 健治(アルファシステムズ),
松田和宏(インターネット総研), 石川和民(三洋電機)
- 6 A Proposal on an Advertisement Model and Next Generation of Advertisement Distribution
○Pao Sriprasertsuk, 関亜紀子, 亀山 渉(早大), 木下信幸,
井上竜生, 中西康浩(メロディーズ & メモリーズグローバル)

学生セッション [3Q 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

Web 応用 座長 酒井 哲也(東芝)

- 1 オンラインとオフラインの融合によるショッピング支援システム
○佐々木幸一, 加藤由花(電通大),
坂東忠秋(日立 / 電通大), 箱崎勝也(電通大)
- 2 既存 Web ページ上での Push 型情報発信環境の実現
○西健太郎, 大岡忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 3 バナーを使った Web 予定表の構築 ○並松鏡友, 田村浩一郎(中京大)
- 4 Web サービス自動選択のためのサービスブローカの導入とその一実装
○張 晨, 山根一樹, 深沢良彰(早大)
- 5 プロキシサーバによる WEB アプリケーションの WEB サービス変換
○高橋健一, 紫合 治(電機大)
- 6 携帯用画像編集サービス方式の提案 ○城所正洋, 小林 洋(東海大)
- 7 Mpeg7 による映像検索と配信のためのクラスタサーバ構築
○木ノ本純也, 塚本享治, 合谷木孝(東京工科大)
- 8 コピーレフトに基づく芸術コンテンツの Web データベース
○小川正人, 穴山大輔, 久原泰雄(東京工芸大)

学生セッション [4Q 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

コンテンツの管理・認証システム 座長 亀田 能成(筑波大)

- 1 IC カードによる認証システムの構築法
○斉藤祐輔, 並木美太郎(農工大)
- 2 自然言語処理技術を利用した電子メールのデータベース化についての提案と検証
○喜名真魚, 片岡信弘(東海大)
- 3 ソフトウェア更新情報表現の標準化によるソフトウェア更新管理システム
○濱野一二三, 紫合 治(電機大)
- 4 マルチプラットフォームに対応した 非文字データ管理モデルの提案
○松尾剣冴, 宇津木敏人, 能登正人(神奈川大)
- 5 JXTA を用いた P2P ネットワークにおける認証機能委託と知的検索
○志田匡士, 杉原健司, 吉永 努, 曾和将容(電通大)
- 6 ECA ルールによる知識メディアの動的オーケストレーション
○三浦陽介, 田中 謙(北大)
- 7 著作物利用行為に関する推論システムの試作
○田中慶之(東京工科大)
- 8 遺伝的アルゴリズムを用いた対話的名刺作成支援システム
○原田周一, 森長佳代子, 平川正人(島根大)
- 9 カテゴリ分けとメタデータによるブックマークの実装
○安達央一郎(慶大)

学生セッション [5Q 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

情報検索技術 座長 岩山 真(日立)

- 1 (講演取消)
- 2 多様体埋め込み手法を用いた類似時系列データの検索
○西崎克俊, 林 朗, 末松伸朗(広島市大)
- 3 OBBTree 表現を形状特徴とする類似検索システム
○加来啓太郎, 岡田義広, 新島耕一(九大)
- 4 ダイナミックにインタラクションを生成する質問応答システムの一考察
○宮本達也, 金久保正明, 菱沼千明(東京工科大)
- 5 産学連携マッチング支援システムの研究 - 日英二ヶ国語から構成される専門用語の抽出 -
○木浪孝治, 高山 毅, 池田哲夫(岩手県大)
- 6 領域分割線と風景アイコンによる画像検索に関する一検討
○石川 厚, 林 貴宏, 尾内理紀夫(電通大)
- 7 音楽データベース感性検索システムにおける
視覚的検索インターフェースでの検索結果への満足度の向上
○橋本祐大, 高橋宜弘, 菊池 繁, 橋場雄太,
高山 毅, 池田哲夫, 黒田成行(岩手県大)
- 8 感性検索におけるパーソナライゼーションの
適合性多段階フィードバックによる実現方式と評価
○高橋宜弘, 橋本祐大, 橋場雄太, 菊池 繁,
高山 毅, 池田哲夫(岩手県大), 佐々木博隆(無所属)
- 9 複合特徴量を用いた音楽検索手法の提案と評価
○二本 真, 高山 毅, 池田哲夫, 奥村一守(岩手県大)

学生セッション [6Q 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

Web を用いたコミュニケーション 座長 中野美由紀(東大)

- 1 Web ページの部分的表示による伝送量削減手法の提案
○小長谷武志, 大岡忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 2 共通の趣向を持つユーザを発見するソーシャルネットワークシステム
○嶋田陽介, 加藤貴之, 廣嶋拓也, 豊田陽一, 萩野達也(慶大)
- 3 PureP2P ネットワークモデルを題材としたセキュアなオンライン・コミュニティ形成
○望月洋介, 山本浩之, 森本 雄,
豊田陽一, 直江健介, 武藤佳恭(慶大)
- 4 ソーシャルネットワークにおけるコミュニケーションのスコアリング
○大橋裕三, 平山巧馬(立命館大)
- 5 カスタマイズ情報を自動的に生成する Web ポータルシステムに関する研究
○瀬高昌弘, 天野直紀(東京工科大)
- 6 構造化アノテーションを用いた知識再利用性の高い電子掲示板
○松本和之, 長尾 確(名大)
- 7 Web コラボレーションツール Wiki を用いた文書生成
○天野善一, 藤田 毅(九産大)

学生セッション [1U 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

Web マイニング 座長 浦本 直彦(日本 IBM)

- 1 Web からの意見情報抽出とその集約
○鷺田 基, 岡崎直観, 石塚 満(東大)
- 2 ユーザの興味に関連する文抽出に付いての一考察
○横田修作, 金久保正明, 菱沼千明(東京工科大)
- 3 Web コンテンツマイニングシステム ○本田哲也(中大), 久保田光一
- 4 Web 上の情報を用いた研究者ネットワークのための研究分野の抽出
○浅田洋平(東大), 松尾 豊(産総研), 石塚 満(東大)
- 5 XPath 式と正規表現を用いた Web 情報抽出
○松本大貴, 塚本享治(東京工科大)
- 6 興味の派生を考慮した Web コンテンツ推薦システムの提案
○橋本雅幸, 東 基衛(早大)
- 7 データマイニング向けデータキューブ機構によるログ分析の評価
○成瀬正英, 大森 匡, 山下由展, 星 守(電通大)
- 8 電子番組表と Web 情報の関連付けに関する基礎的研究
○古堅則之, 物部寛太郎, 田中成典, 古田 均(関西大)

学生セッション [2U 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

Blog 座長 赤峯 享(NEC)

- 1 専用エディタを用いない WYSIWYG 性の高い Weblog 構築ツール
○川村 修, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 2 シームレスな Web 編集技術を用いたカレンダーメタファに基づく Weblog の試作
○向井康人, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 3 Weblog ネットワークにおけるユーザ間の関係と閲覧行動の分析
○古川忠延, 松澤智史(東理大), 松尾 豊(産総研), 内山幸樹(ホットリンク), 武田正之(東理大)
- 4 Blog 記事を用いた選定支援システム
○山名健悟, 滝沢敏裕, 湯浅将英, 大山 実(電機大)
- 5 blog 記事推薦システム MineBlog への話題性を考慮したスコアリング法の導入
○森本和伸, 林 貴宏, 尾内理紀夫(電通大)
- 6 Blog を利用したメタデータ流通に関する考察
○大勝琢巳, 亀山 涉(早大)
- 7 複数ユーザの利用情報を用いた RSS リーダ
○滝沢敏裕, 山名健悟, 湯浅将英, 大山 実(電機大)
- 8 RSS に基づく内容型情報推薦システムの提案
○向井 誠, 青野雅樹(豊橋技科大)

学生セッション [3U 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

情報フィルタリング・推薦システム 座長 鈴木 優(東芝)

- 1 情報フィルタリングを用いた Web 情報検索システムの提案
○八鍬健太, 辻 秀一(東海大)
- 2 協調フィルタリングにおける相関係数法の重み関数正規化手法の提案
○平山巧馬, 小柳 滋(立命館大)
- 3 コンテンツ・ベースド・フィルタリングを用いた Web 情報検索システムの提案
○萩田盾一, 辻 秀一(東海大)
- 4 有害サイトフィルタリングのためのリンク構造に基づくブラックリストの拡張について
○永田雄大, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
- 5 顧客像の類似性をプロファイリング分析した書籍推薦システム
○山村武司, 大野澄雄, 奥 正廣, 千種康民(東京工科大), 小池 隆(富士ソフト ABC)
- 6 高度なパーソナライズサービス実現のためのユーザプロファイル収集エージェントの提案
○山崎賢悟, 勅使河原可海(創価大)
- 7 パーソナリゼーションを利用した WEB サイト推薦システム
○松本和博, 與良光一郎, 内田 理, 中西祥八郎(東海大)
- 8 個人の音楽嗜好データの OWL による表現とその応用
○武内裕一, 青野雅樹(豊橋技科大)
- 9 個人支援型 WEB 情報推奨方式の提案
○太田浩章, 辻 秀一(東海大)

学生セッション [4U 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

Web ページの検索 座長 石田 栄美(駿河台大)

- 1 Gooots- 検索目的に沿ってカテゴリ名を取捨選択してクラスタリングする検索エンジン
○金子大輔, 高山 毅, 池田哲夫, 長内 亘(岩手県大)
- 2 個人プロフィールと検索履歴を用いた WWW 情報検索支援モデルの提案
○臼井大介, 塚本享治(東京工科大)
- 3 検索エンジンを利用した地理的距離に基づく Web ページ検索方法
○鳴原久幸, 松井藤五郎, 大和田勇人(東理大)
- 4 (講演取消)
- 5 WEB 検索におけるキーワード関連語提案システムの検索性能精練とその応用について
○梅永明寛, 長谷川隆三, 藤田 博, 竹下日出男, 久本 学(九大), 大石哲也(NTT データ九州)
- 6 オーバレイネットワークを用いた個人サイト特化型分散 Web 検索システムの設計
○豊田正隆, 山崎賢悟, 勅使河原可海(創価大)
- 7 情報検索におけるユーザの検索目的を考慮した Web コンテンツの種類・形式分類の提案
○田村祐介, 東 基衛(早大)
- 8 インターネット上の画像抽出に基づく発想支援ツール
○久下哲生, 金久保正明, 菱沼千明(東京工科大)
- 9 FTP サイトを検索するポートレットの開発
○渡邊泰治, 井堀佑美, 三浦孝夫(法大)

学生セッション [1W 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

データ発掘 座長 市川 哲彦(山口大)

- 1 非一様データによる高次元空間での最近傍検索手法の性能評価
○金森竜太, 秋山裕信, 三好涼介, 三浦孝夫(法大)
- 2 ベイジアンネットによる降雨予測
○宇田川周二, 西尾 茂, 木村昌臣(芝浦工大)
- 3 同定性検索手法の組み合わせによる検索精度向上
○滝沢雅俊, 山田真介, 山名早人(早大)
- 4 遺伝子解析の研究
○島田公敬(芝浦工大)
- 5 マルチドメインに注目したモチーフ検索システムの開発
○瀬下真吾, 松井藤五郎, 大和田勇人(東理大)
- 6 OLAP やデータマイニング技術の生体情報処理分野への適用評価
○秋野俊治, 新本昌弘, 不破 拓, 和田雄次(電機大)
- 7 熱処理 CAE に支援する知的発見システムの開発
○顧 強, 巨 東英(埼玉工大)
- 8 ユーザビリティの高い GUI ベースの決定木学習ツールの開発
○並木 翼, 菊池浩明(東海大)

学生セッション [4W 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

XML・地理 DB 座長 石谷 康人(東芝)

- 1 XML データからのグラフィメージ生成方法
○戸澤侑子, 塚本享治(東京工科大)
- 2 XML を用いた非文字デジタルアーカイブの構築
○穂苅正浩, 宇津木敏人, 能登正人(神奈川大)
- 3 携帯電話向け DOM パーサ「cDOM」の開発
○山口真吾, 並木美太郎(農工大)
- 4 不均一なデータに対する階層的分類
○葛西正裕, 古川哲也(九大)
- 5 DTD マッチングによる大学シラバスの相互変換
○平野健太郎, 青野雅樹(豊橋技科大)
- 6 個人情報を用いた意味的地図検索方式
○福田一行(慶大)
- 7 地理空間データマイニングのためのデータクレンジングツール
○井口祐喜, 和田雄次(電機大), 樋口 博(三菱)
- 8 XML を使った相互交流型電子地図システムの開発
○梅山直樹, 高村禎二(高知工科大)
- 9 空間分割量子化と曲線単純化を用いたモーション検索システム
○江藤弘明, 岡田義広, 新島耕一(九大)

デモセッション [デモ会場]

デ-03 (3 月 3 日 (木))

ユーザプロファイリングを用いた就職支援システム
○金澤孝俊, 山崎祥行, 大野澄雄, 奥 正廣, 千種康民(東京工科大), 小池 隆(富士ソフト ABC)

デ-04 (3 月 4 日 (金))

オーディオのアナログ耐性電子透かし埋め込み技術の開発
○茂出木敏雄(大日本印刷)

デ-11 (3 月 4 日 (金))

XML データベースによる大学評価システムの構築
○杉本典子, 関 隆宏, 石野 明, 金丸玲子, 竹田正幸, 廣川佐千男(九大)

デ-12 (3 月 4 日 (金))

共通の趣向を持つユーザを発見するソーシャルネットワーキングシステム
○嶋田陽介, 加藤貴之, 廣嶋拓也, 豊田陽一, 萩野達也(慶大)

(ネットワーク)

一般セッション [1A 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

ネットワーク家電 座長 奈古屋広昭(一橋大)

- 1 ホームネットワークゲートウェイにおけるプレゼンテーション自動生成方式
○大塚義浩(三菱), 古村 高(ルネサスソリューションズ)
- 2 メディアフォーマットを考慮したコンテンツサーバの提案とその評価
○森部博貴, ダミエン レモアル, 朝日 猛, 水谷美加(日立)
- 3 組み込み JavaTM による家電機器制御システム
○前岡 淳, 伊藤昭博, 中野正樹, 森本義章(日立)

- 4 Distribution of Streaming Media using Cache-and-relay and Layer-Encoded Streaming Technique ○Barath Kumar Rajendran, 松尾啓志(名工大)
- 5 独立アクセスモデルに基づく CDN とアクセス解析
○石井 充, 加藤 崇, 服部進実(金沢工大)
- 6 各種テレビ電話端末対応ビデオコールセンターシステム
○町井義亮, 伊藤俊之(三菱)

一般セッション [2A 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

ネットワークシステム 座長 渥美 幸雄(専修大)

- 1 センサネットワークのためのトポロジ情報収集方式の提案
○茂木信二, 吉原貴仁, 堀内浩規(KDDI 研)
- 2 ラベルスイッチング技術を利用した仮想 IP 層の提案
○内田良隆(NTT ドコモ), 三瓶史彦(NTT-AT), 石川憲洋(NTT ドコモ)
- 3 ネットワーク機器設定方法の検討
○川村秀男, 引野 慎, 名和仁志, 蓬田 仁(三菱)
- 4 機器制御のための通信ミドルウェアの検討
○増田大樹, 大谷治之, 落合真一(三菱)
- 5 自律分散型ロボット間通信プロトコル AR-TDMA の運搬性能評価
○荒井順平(山形県立産業技術短大), 小山明夫(山形大), レオナルド パロリ(福岡工大)

一般セッション [3A 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ネットワークセキュリティ (3) 座長 菊池 浩明(東海大)

- 1 モバイルネットワークにおける安全性評価情報提供サービス
○東 雄介, 小畑直裕, 川口信隆(慶大), 塩澤秀和(玉川大), 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 2 情報漏えい対策システム InfoCage のアクセス制御方式
○矢野尾一男, 川北 将, 小川隆一(NEC)
- 3 階層的な方向性データのセキュアな管理方式とその評価
○高橋 修, 山崎修司(はこだて未来大), 宮西洋太郎(宮城大), 小西 修(はこだて未来大)
- 4 情報漏洩防止ソリューション(1) - 全体構成 -
○近藤誠一, 大沼聡久, 小宮 崇, 中嶋春光, 樋口 毅(三菱), 遠藤 淳(三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 5 情報漏洩防止ソリューション(2) - アクセス制御情報統合管理 -
○小宮 崇, 大沼聡久, 近藤誠一(三菱), 遠藤 淳(三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 6 情報漏洩防止ソリューション(3) - ファイル暗号化 -
○中嶋春光, 宮崎一哉, 今井 功, 近藤誠一(三菱), 遠藤 淳(三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 7 情報漏洩防止ソリューション(4) - ログ収集管理 -
○樋口 毅, 菅野幹人, 村田 篤(三菱), 遠藤 淳(三菱電機インフォメーションシステムズ), 近藤誠一(三菱)

一般セッション [6A 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

モバイルネットワークアーキテクチャ 座長 丹 康雄(北陸先端大)

- 1 Mobile IPv6 における Home Agent 負荷算出方法の一検討
○本多泰理(NTT)
- 2 QoS を保証するスケーラブルな Mobile IPv6 通信方式の設計
○劉 偉, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 3 モバイル IP ネットワークにおけるハンドオフと伝送誤りの双方を考慮した TCP 高速化方式の評価
○海老原成, 糸川一也, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 4 有線リンクと無線リンクの混在するネットワークにおける AODV ルーティング方式に関する実験的検討
○高梨健一(消防研), 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大), 菅田明則, 児島史秀, 藤瀬雅行(NICT)
- 5 SCTP for Ad-hoc Multi-route Communication
○内藤壮司(富士通関西中部ネットテック), Mehdad Nori Shirazi(NICT)
- 6 アドホックネットワークにおけるプロトコル非標準ノードの振舞いと
その評価
○横山 信(日本情報通信コンサルティング), 高橋 修, 宮本衛一(はこだて未来大), 中根由和(日本情報通信コンサルティング), 下斗米弘成(はこだて未来大)
- 7 認証のポート開閉に向けたデータリンク層パケットフィルタの実装
○後藤真孝, 谷澤佳道(東芝)

一般セッション [1B 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

ネットワークセキュリティ (1) 座長 村山 優子(岩手県大)

- 1 利便性とセキュリティを考慮したネットワーク認証システム
○原 元司, 加藤 章, 谷口雅康(松江高専)
- 2 オンデマンド VPN における構成情報生成に関する一検討
○有馬一閑, 早川晃弘, 高橋成文, 鎌仲裕久(NTT データ)
- 3 オンデマンド VPN における機器とチップの連携に関する一検討
○國分 誠, 星川知之, 鎌仲裕久, 高橋成文(NTT データ)
- 4 オンデマンド VPN アーキテクチャの提案
○早川晃弘, 星川知之, 高橋成文, 鎌仲裕久(NTT データ)
- 5 オンデマンド VPN におけるポリシー制御機能に関する一検討
○竹内陽一, 早川晃弘, 高橋成文, 鎌仲裕久(NTT データ)
- 6 機器間連携を実現するための多機能 IC チップチップマネージャの
機能拡張
○那須大輔, 大山永昭, 谷内田益義, 小尾高史, 鈴木裕之(東工大)

一般セッション [2B 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

ネットワークセキュリティ (2) 座長 寺田 真敏(日立)

- 1 随伴者の有無に基づく動的アクセス権設定
○森田陽一郎, 中江政行, 小川隆一(NEC)
- 2 whois サービスを用いたフィッシング詐欺防止技術の提案
○河内清人(三菱)
- 3 ワーム検知システムの検討
○北澤繁樹, 河内清人, 榎原裕之, 大越丈弘, 藤井誠司(三菱)
- 4 New hash chain for signature amortization schemes
○Qusai Abuein, 渋谷 進(茨城大)
- 5 W3C XKMS による証明書更新および失効機能の開発(その 1)
○阿部玲子, 武田 哲, 北山泰英, 砂田英之(三菱)
- 6 W3C XKMS による証明書更新および失効機能の開発(その 2)
○武田 哲, 阿部玲子, 北山泰英, 砂田英之(三菱)

一般セッション [3B 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ユビキタスコンピューティング 座長 斉藤 健(東芝)

- 1 利用権管理技術を用いたリモートアクセス制御方式の考察
○釜坂 等(三菱)
- 2 異種間プラットフォームでのアプリケーションの状態情報の移動技術の開発
○井谷茂寛(富士通), 藤田卓志(富士通研)
- 3 個人近傍情報を用いたユビキタス環境把握方法の検討
○山田辰美, 平松 薫, 服部正嗣, 岡留 剛(NTT)
- 4 ユビキタスコンピューティングを構成する自律センサノードの
セキュアな統合システムの開発
○大林真人(都立産業技術研), 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
- 5 (講演取消)
- 6 ユビキタス情報蓄積システムにおける体験記録データの複製方式
○井上知洋, 中村隆幸, 中村元紀, 山口正泰(NTT)
- 7 対話型ロボットにおける連想しりとり型対話戦略とその評価
○佐藤 淳(奈良先端大/NICT), 近間正樹, 上田博唯(NICT), 木戸出正継(奈良先端大/NICT)

一般セッション [4B 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

センサネットワーク 座長 渡辺 尚(静岡大)

- 1 ユビキタス環境向けセンサ管理アーキテクチャ
○中尾敏康, 三津橋晃丈, 小西勇介, 田口大悟(NEC)
- 2 ノードの交換が容易なセンサネットワークについて
○湯浅雄一, 萬代雅希, 渡辺 尚(静岡大)
- 3 センサネットワークの機能を利用したマンナビゲーション(1)
～システム全体構成～
○鷺尾元太郎(三菱), 大島正晴, 浅見可津志(三菱電機インフォメーションシステムズ), 高梨郁子, 石渡要介, 近藤誠一(三菱)
- 4 センサネットワークの機能を利用したマンナビゲーション(2)
～センササーバの役割と実装～
○石渡要介, 鷺尾元太郎, 平岡精一, 山口智久, 田中 聡(三菱), 秋間文和(三菱電機インフォメーションシステムズ)

- 5 P2P 通信アダプタを用いたセンサー情報管理システム
○平松 薫(NTT), 小倉康樹(楽墨堂), 岡留 剛(NTT)
- 6 家庭内ユビキタス環境における探し物サービスの実現
○藤井哲也, 上田博唯, 美濃導彦(NICT)
- 7 確率モデルに基づく意図推定と生活支援タスク制御に関する検討
○宮脇健三郎, 佐野陸夫(阪工大), 上田博唯(NICT)

一般セッション [4C 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

- RFID** **座長 戸辺 義人(電機大)**
- 1 ISO/IEC15961 規格に準拠した RFID リーダライタ装置基本 S/W の実装
○松本良央, 八木綾子, 佐久間孝夫, 高山茂伸(三菱)
- 2 RFID 情報収集システムへの蓄積伝播型情報流通方式の適用
○備瀬竜馬(大日本印刷)
- 3 異種 RFID システムにおけるプラットフォーム連携モデルの提案
○國廣健太郎, 布田寿康, 高橋成文, 桑田喜隆, 山本修一郎(NTT データ)
- 4 電子タグプラットフォーム判別技術に関する提案
○布田寿康, 高橋成文, 田中 武(NTT データ)
- 5 オフィス向け多用途 RFID サービス・プラットフォーム
○山口智治, 松本 晃, 高岡真則, 宮本 剛, 阿部憲一(NEC 通信システム)
- 6 多用途 RFID サービス・プラットフォームにおけるサービス識別と業務サーバ
○高岡真則, 松本 晃, 山口智治, 宮本 剛, 阿部憲一(NEC 通信システム)
- 7 多用途 RFID サービス・プラットフォームによる回覧板システム
○阿部憲一, 三宅吉成, 飯塚宏之, 松本 晃, 高岡真則, 宮本 剛, 山口智治(NEC 通信システム)

一般セッション [5C 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- ワイヤレスシステム** **座長 石原 進(静岡大)**
- 1 状況適応型 PNS アルゴリズムの検討
○川端将之, 岩橋真紀(関西大), 日裏博之(日立ソフトウェアエンジニアリング), 上田真由美(阪大), 上島紳一(関西大)
- 2 ユーザの利用履歴に基づく携帯端末上での WEB ブラウジング効率化
○深澤佑介, 長沼武史, 黒宮 寧, 倉掛正治(NTT ドコモ)
- 3 近傍から発信される操作要求により動作を決定する携帯端末機能制御
○高橋三恵(NEC), 山口智治(NEC 通信システム), 細見 格(NEC), 松本 晃(NEC 通信システム)
- 4 携帯端末機能制御における操作要求の競合問題と解決
○松本 晃, 山口智治(NEC 通信システム), 高橋三恵, 細見 格(NEC)
- 5 携帯電話による小規模会議用の無記名電子投票
○小林哲二(日本工大)
- 6 携帯電話機用サーバ・クライアント型ブラウザの開発
○置田 誠, 山口典男, 重松隆之(日本ビューレット・バックカード), 高橋 修(はこだて未来大)
- 7 ネットワーク家電向け機能協調基盤”ゆかりコア”
—無線センサシステムとの融合システム試作
○山内雅喜(沖電気), 多鹿陽介(東芝), 山崎達也(NICT)

一般セッション [2D 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

- 分散システム** **座長 松浦 敏雄(大阪市大)**
- 1 電子商取引システム適用に向けた構成制御技術の開発
○松浦陽平, 飯塚 剛, 塚本幸辰, 吉川幸司, 北川哲也(三菱)
- 2 計算機環境の運用・構築を容易化する計算機リソース管理
○高本良史, 宇都宮直樹(日立), 三林弘和, 船生真紀子(日立超 LSI システムズ)
- 3 システム構成情報を用いたポリシ流用可能性判定方式
○大野允裕, 加藤清志, 平池龍一(NEC)
- 4 セキュリティ情報センターの開発
○榊原裕之, 藤井誠司, 牛田亘一, 中野初美(三菱)
- 5 ネットワーク認証システムを用いたキャンパスワイド無線 LAN システム
○岡田 康, 天野 順, 原 元司(松江高専)
- 6 UPnP AV プロキシ技術によるコンテンツサービスの宅外拡張
○坂本拓也(富士通研)

一般セッション [4E 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

- 位置情報** **座長 堀内 浩規(KDDI 研)**
- 1 マルチアクティブ RFID タグを用いた位置・方向検出とその評価
○古川宗孝, 森本訓貴, 伊藤冬子, 金田重郎, 渡辺陽一郎(同志社大)
- 2 加速度センサ付 RFID と動画処理を用いた位置検出手法の提案
○森本訓貴, 古川宗孝, 清水宏章(同志社大), 金田重郎(同志社大/NICT)
- 3 アドホックネットワークにおけるパネモデルを適応した端末位置決定手法
○佐藤雅幸, 松尾啓志(名工大)
- 4 野外学習を目的とした地図作成における主観的情報の利用
○中澤啓介, 山本友里(慶大), 井上智雄(筑波大), 岡田謙一, 重野 寛(慶大)
- 5 地図上の情報推薦システムにおける投稿情報の信頼度
○山本浩司, 片上大輔, 新田克己(東工大), 相場 亮, 宮城政雄, 桑田 仁(芝浦工大)
- 6 スケジュールと GPS 情報を利用した認証方法
○長谷谷子, 青木輝勝, 安田 浩(東大)

一般セッション [6F 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

- ITS** **座長 屋代 智之(千葉工大)**
- 1 ITS を考慮した実環境におけるネットワークモビリティ技術の検証
○植原啓介(慶大), 堀内浩規(KDDI 研), 田村俊之(KDDI), 横田知好(京セラ)
- 2 モバイルネットワークにおけるマルチホーム環境の実装評価
○今井尚樹, 田坂和之, 磯村 学, 堀内浩規(KDDI 研)
- 3 移動ネットワーク環境下でのアプリケーションの動的適応性
○三屋光史朗(慶大), 磯村 学(KDDI 研), 植原啓介, 村井 純(慶大)
- 4 相互接続の実現に向けたモバイルルータの実装実験
○田坂和之, 今井尚樹, 磯村 学, 堀内浩規(KDDI 研)
- 5 時刻類似度を用いた最近隣法による広域 VICS 情報の予測手法
○塚原莊一, 古川武志, 原 健太, 狩野 均(筑波大)
- 6 車載ステレオカメラによる周囲車両の検出と距離の獲得
○西山大介, 中谷広正, 稲熊孝直(静岡大)
- 7 歩行者空間情報認知特性に基づいた認知地図作成提供システム
○梅原直樹, 加藤誠己(上智大)

学生セッション [6P 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

- 情報家電とホームネットワーク** **座長 坂東 忠秋(日立)**
- 1 情報家電における機能の自動検出に関する研究
○塚田裕之, 藤澤公也(東京工科大)
- 2 複数センサの取得音声による分散型ホームネットワーク制御手法
○古庄亮一, 桧垣博章(電機大)
- 3 PLC を用いた既存家電製品のホームネットワーク化に関する検討
○栗山 央, 峰野博史(静岡大), 妹尾康宏, 古村 高(ルネサス ソリューションズ), 水野忠則(静岡大)
- 4 PLC と ZigBee を併用した相互補完ネットワークにおける信頼性評価
○金山隆志(静岡大), 山田罔裕(ルネサスソリューションズ), 峰野博史, 水野忠則(静岡大)
- 5 安全で快適な生活に支援するモバイル遠隔管理システムの開発
○高橋正哉(埼玉工大), 吉原貴仁, 堀内浩規(KDDI 研), 巨 東英(埼玉工大)
- 6 ユーザプロファイルの管理・制御方式
○泊里祐治, 新津善弘(芝浦工大)
- 7 AV 機器状態通知エージェントの設計と実装
○鈴木尚宏, 北川和裕, 清水智公, 加藤文彦, 上村 亮(慶大)

学生セッション [2S 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

- 分散・無線ネットワーク** **座長 秋山 康智(三菱)**
- 1 ネットワークプロセッサにおける IPv4/v6 トラフィック量に応じた動的な資源割り当ての再構成方式の実現
○船橋 聡, 木村成伴, 海老原義彦(筑波大)
- 2 遅延測定に基づくネットワーク仮想環境グループ化の提案
○十川 基(電機大), Niwat Thepvilojanapong(東大), 齊藤裕樹(電機大), 瀬崎 薫(東大), 戸辺義人(電機大)

- 3 サービスの動的な切り替えによるサービス指向システムの頑健性の向上
○本間喬寛, 高田眞吾(慶大), 土居範久(中大)
 - 4 階層構造型ダブル空間に基づく自律協調の情報場
○矢島研自, 坂下善彦(湘南工科大)
 - 5 無線ネットワークにおける連続メディア転送のためのパケットロス制御
○高橋 淳, 橋本浩二(岩手県大), 高畑一夫(埼玉工大), 柴田義孝(岩手県大)
 - 6 無線 LAN における複数チャネルを用いた通信の優先制御
○伊藤 淳, 塩地朋則, 鈴木和久, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
 - 7 複数の無線 LAN 基地局を用いた QoS 制御システム
○塩地朋則, 伊藤 淳, 鈴木和久, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
- 学生セッション [3S 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)**
- ロボネット・ネットワーク 座長 上田 博唯(NICT)**
- 1 複数無線 LAN インタフェースを用いた監視用ロボット・アドホックネットワーク構成方式
○王 彪, 大坐畠智, 川島幸之助(農工大)
 - 2 移動可能ルート情報の共有によるロボット・アドホックネットワーク協調制御方式
○森木正人, 王 彪, 大坐畠智, 川島幸之助(農工大)
 - 3 COSPI: コミュニケーションロボットのための対話する意思を探り出すセンサネットワーク
○石井健太郎, 今井倫太(慶大)
 - 4 ロボットアドホックネットワークに適した障害通知機構の提案
○金花賢一郎, 斉藤裕樹, 戸辺義人(電機大)
 - 5 インターネットを用いた遠隔操作型ロボットの開発
○蒔田考志, 橋本周司, 鈴木健嗣(早大)
 - 6 GPS を用いた屋外自律移動ロボット
○青山 暁, 橋本周司, pitoyo haurono, 鈴木健嗣(早大)
 - 7 (講演取消)
 - 8 ネットワーク・ヒューマノイド型ロボット融合システムにおける信頼性評価
○左合佳美, 奥田隆史, 井手口哲夫(愛知県大)
- 学生セッション [4S 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)**
- データ転送方式 座長 佐藤 文明(静岡大)**
- 1 物理層及びデータリンク層プロトコルのみを用いたマルチメディアデータ伝送基盤の開発
○鶴丸 武, 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)
 - 2 複数種 NIC による広帯域通信のための TCP 再送抑制手法
○小野真和, 加藤剛史, 松垣博章(電機大)
 - 3 個人用途向けインターネット VPN 自動設定方式の実装と評価
○堀 賢治, 吉原貴仁, 堀内浩規(KDDI 研)
 - 4 信頼性マルチキャストプロトコル eTRAM の実装
○高橋健輔, 松澤智史, 武田正之(東理大)
 - 5 LX(X=2,3,4) router における付加機能
○寺内智也(阪工大)
 - 6 MPLS 網における優先度付きルーティングアルゴリズムのための非マルチメディアトラフィックを考慮した重み付け方式の提案
○金子まどか, 木村成伴, 海老原義彦(筑波大)
 - 7 ネットワーク構成変更に対応した WDM 波長選択手法の性能評価
○柚 信吾, 松垣博章(電機大)
 - 8 ダブルホールディング手法を用いた WDM ネットワークにおける波長予約方式
○宮沢 徹, 小山明夫(山形大), レオナルド バロリ(福岡工大), 松下浩一(山形大)
 - 9 部分ウェイト型 WDM 波長予約プロトコルの性能評価
○高須晴久, 松垣博章(電機大)
- 学生セッション [5S 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
- センサネットワークと RFID 座長 佐藤 一郎(国立情報学研)**
- 1 大規模センサネットワークにおける GUI の提案
○上原雄一, 牧村和慶, 斉藤裕樹, 戸辺義人(電機大)
 - 2 高密度センサネットワークの階層化のための中継用ランドマークの選出方法
○牛島準一, 沖野正宗, 加藤聰彦, 伊藤秀一(電通大)
 - 3 温度センサー付き IC タグの一応用について
○赤名武志, 福岡久雄(松江高専)
 - 4 人へのタギングを想定したセンサデバイス
○谷 清人, 西尾信彦(立命館大)
- 5 CRUISE/r: RFID を用いた鉄道遺失物探索システムの設計
○半澤 修, 清水博文, 金花賢一郎, 牧村和慶, 斉藤裕樹, 戸辺義人(電機大)
 - 6 RFID による顧客動線を用いた最適商品配置法
○三枝隼也, 金久保正明, 菱沼千明(東京工科大)
 - 7 非選定行為を考慮した商品推奨アルゴリズムの研究
○吉原大悟, 金久保正明, 菱沼千明(東京工科大)
 - 8 近接通信モバイル機器による価値流通システムの提案と実装
○尾崎 啓, 棟上昭男(東京工科大)
 - 9 高さ情報を考慮に入れた三次元歩行者ナビゲーションシステムに関する検討
○小出祥平, 加藤誠己(上智大)
- 学生セッション [6S 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)**
- モバイルネットワークと応用 座長 森 英悟(ノキア・ジャパン)**
- 1 モバイルエージェントに基づく情報共有のための情報伝達経路の管理
○山谷孝史, 大岡孝親, 伊藤孝行, 新谷虎松(名工大)
 - 2 MANET における一貫性のあるチェックポイントの実現手法
○小野真和, 松垣博章(電機大)
 - 3 無線マルチホップ型ネットワークにおける安定記憶実現手法の評価
○平川達也, 松垣博章(電機大)
 - 4 モバイル PAN におけるアドレス割り当て方法の検討
○四條雅博(静岡大), 田中希世子, 鈴木偉元, 石川憲洋(NTT ドコモ), 石原 進(静岡大)
 - 5 アドホックネットワークのリンク分断を前提とした位置依存情報共有アプリケーションの実装
○野本明寛, 土田 元, 石原 進(静岡大)
 - 6 WAPL を適用した車車間通信の実現
○大石泰大, 渡邊 晃(名城大)
 - 7 災害時における電子メールによる安否通信方法の検討
○竹山裕晃, 渡邊 晃(名城大)
 - 8 WAPL における端末の IP アドレス割当て方法の検討
○小島崇広, 市川祥平, 渡邊 晃(名城大)
 - 9 無線 LAN 統合認証方式の実装
○山下真純, 西村俊和, 小川 均(立命館大)
- 学生セッション [1T 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)**
- グリッドコンピューティング 座長 串田 高幸(日本 IBM)**
- 1 グリッドコンピューティングをプロバイダーが運用するビジネスモデルの提案と検証
○和中健一郎, 中村祐貴(東海大)
 - 2 Grid におけるネットワーク負荷を考慮したスケジューリングシステムの設計
○橋本浩二, 溝口文雄, 西山裕之(東理大)
 - 3 グリッド環境における自律的な資源統合ソフトウェアの設計と実装
○大迫勇哲, 山崎 航, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
 - 4 省電力と効率化のトレードオフに基づく GRID システムの設計と実装
○田島英佑, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
 - 5 PC グリッドの性能評価を行うためのベンチマークシステムの設計と実装
○畑 寛之, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
 - 6 GridRPC アプリケーションデバッグ支援ツール
○小林孝嗣, 渡邊啓正, 本多弘樹(電通大)
 - 7 分散システムによるオンラインマネジメントシステムの構築
○坂本侑基, 貫井 崇, 巨 東英(埼玉工大)
 - 8 Linux 分散サーバ環境の構築
○西村 悟(阪工大)
- 学生セッション [2T 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)**
- マルチメディアネットワーク 座長 西山 智(YRP)**
- 1 ファイルシステムレイヤによるリモートマルチメディア情報へのアクセス
○久保亮介(阪市大), 山井成良, 嘉藤将之(岡山大), 安倍広多, 石橋勇人, 松浦敏雄(阪市大)
 - 2 キーワード関連と物理的近さを反映した P2P ネットワーク
○相田貴史, 吉田紀彦(埼玉大)
 - 3 P2P ネットワーク上の呼制御と階層化ルーティング手法
○木原佳紀, 西村俊和(立命館大)
 - 4 大規模 3 次元仮想空間におけるユーザビリティ向上のための QoS 制御手法の提案
○中井優志, 柴田義孝(岩手県大)
 - 5 異なる送受信モデルの混在を許容したマルチメディアチェックポイントの一貫性評価
○小野真和, 木下稔也, 松垣博章(電機大)

- 6 個人で運営する WWW サーバのための動的負荷分散システムの設計と実装
○塚本純一, 原 大輔, 中山泰一(電通大)

- 7 WWW サーバにおけるログの多次元階層化に基づく柔軟なトラフィック
管理手法の検討

○石塚宏紀, 十川 基, 斉藤裕樹, 戸辺義人(電機大)

- 8 モバイルアドホックネットワークにおける階層型認証機構の一検討

○小原奈緒子, 小口正人(お茶の水女子大)

学生セッション [3T 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ (ウィルス・攻撃解析) 座長 鳥居 悟(富士通研)

- 1 INSTAC-8 を用いたサイドチャネル攻撃に関する一考察

○和田崇臣, 甲斐切皇男, 岩井啓輔, 黒川恭一(防衛大)

- 2 FPGA に実装された暗号回路に対するサイドチャネル攻撃

○後藤兼人, 黒川恭一, 岩井啓輔(防衛大)

- 3 パケット解析による DoS 攻撃の検知と識別

○筆谷光雄, 西村俊和, 小川 均(立命館大)

- 4 MAC アドレスを用いた IP トレースバック技術の提案

○播磨宏和, 渡邊 晃, 竹尾大輔(名城大)

- 5 TCP のフラグを用いたポートスキャンの検出法

○鈴木和明, 岡部古彦, 後藤滋樹(早大)

- 6 スタックの改ざん検知による侵入検知システムの一考察

○長野文昭, 鏑 講平, 田端利宏, 櫻井幸一(九大)

- 7 遺伝的アルゴリズムを用いたスパイウェアについての考察

○麻生亜耶, 久原泰雄(東京工芸大)

- 8 メール添付型ウィルスの振る舞い検出

○池田健太(芝浦工大)

- 9 アセンブリ言語レベルでの未知ウィルス検出方法

○田中秀和, 直江健介, 中井 斉,

堀田貴之, 下江啓次郎, 武藤佳恭(慶大)

学生セッション [4T 会場] (3月3日 (木) 14:30 ~ 17:00)

SIP・ビデオ通信 座長 中後 明(富士通研)

- 1 柔軟性の高いセッション確立のための SIP 規格拡張の提案

○南 宏規, 斉藤裕樹, 戸辺義人(電機大)

- 2 IP 電話における迷惑コール防止方式に関する一考察

○大島浩太, アヤ イトウ, 但馬康宏, 寺田松昭(農工大)

- 3 ENUM を応用した三者間の通信法

○杉田隆俊(早大), 宮嶋 晃(パナソニックコミュニケーションズ),
後藤滋樹(早大)

- 4 フィルタドライバを用いたネットワーク透過な周辺機器制御に関する検討

○桑原純吾, 峰野博史(静岡大), 田中希世子,

鈴木偉元(NTT ドコモ), 水野忠則(静岡大)

- 5 多次元情報タイムクリティカル通信における送信前破棄方式の検討

○臼井隆二, 西川 健, 井手口哲夫, 奥田隆史(愛知県大)

- 6 全方位映像通信のためのミドルウェアの研究

○米田祐也, 橋本浩二, 柴田義孝(岩手県大)

- 7 オンラインビデオコンテンツを中心としたコミュニティ支援システム

○山本大介, 大平茂輝, 長尾 確(名大)

- 8 JXTA を用いた P2P 型グループウェアの試作 - ビデオ会議システム -

○高柳智行, 山本富士男, 宮崎 剛(神奈川工科大)

- 9 Pure-P2P ライブストリーミングシステムにおける配信安定化手法の提案

○岩本哲明, 但馬康宏, 寺田松昭(農工大)

学生セッション [5T 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

アドホック・ネットワーク 座長 尾上 裕子(NTT ドコモ)

- 1 アドホックネットワークにおける競合解消のための経路変更プロトコル

○小野真和, 西島康之, 松垣博章(電機大)

- 2 センサネットワークのためのアドホックルーティング

○小野真和, 高橋秀彰, 松垣博章(電機大)

- 3 アドホックネットワークにおけるリンク切断を回避する経路制御方式の
実装と評価

○田内雅之, 井手口哲夫, 奥田隆史(愛知県大)

- 4 双方リンクを優先したアドホックネットワークルーティング

プロトコルにおけるオーバヘッドに関する検討

○草野光寿, 松山 実, 安井浩之(武蔵工大)

- 5 アドホックネットワークにおける参照と更新の負荷を反映した
コンテンツ複製配置

○山口 健, 吉田紀彦(埼玉大)

- 6 動的無線アドホックネットワークにおけるノード密度による
通信可能性に関する実験

○有川 隼, 永松大和, 宇津木敏人, 能登正人(神奈川大)

- 7 通信ノード間の見通しを考慮に入れたアドホックネットワークプロトコル
通信品質評価

○武藤誠三, 大坐畠智, 川島幸之助(農工大)

- 8 モバイルアドホックネットワークを用いた基地局位置情報広告
プロトコルの通信性能評価

○椎名 敬, 大坐畠智, 川島幸之助(農工大)

- 9 アクセスポイント利用エリアを拡大する A2P2 の提案

○田中宏明, 井手口哲夫, 田 学軍(愛知県大)

学生セッション [6T 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 17:00)

ルーティング・パフォーマンス 座長 廣森 聡仁(阪大)

- 1 iBGP におけるルートリフレクターのスケラビリティに関する研究

○長橋賢吾, 江崎 浩(東大)

- 2 ルートリフレクタを用いた大規模 IP-VPN 網の安定化および負荷軽減
手法の一提案

○草名保雄, 江崎 浩(東大)

- 3 エニキャスト技術を用いた広域マルチリンク接続プロバイダにおける
経路最適化手法の提案

○坂巻俊明(東大)

- 4 OSPF ネットワークにおける疑似経路広告手法を用いた動的経路制御
手法の提案

○吉田 薫, 江崎 浩(東大)

- 5 エンドホストにおけるパケット処理負荷の計測方法の提案

○石田真一(東大)

- 6 (講演取消)

- 7 通信回線共有方式における動的トラフィック分配方式の提案

○菅 洋輝, 江崎 浩(東大), 峰野博史, 石原 進(静岡大)

- 8 拡張可能なネットワーク処理を行うオペレーティングシステム
アーキテクチャ

○藤田 祥(東大),

奥村貴史(University of Pittsburgh), 江崎 浩(東大)

- 9 パケットフローを利用したマルチキャスト品質測定に関する研究

○山本成一, 江崎 浩(東大)

学生セッション [5U 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

モバイル通信方式 座長 後藤 真孝(東芝)

- 1 屋内位置情報システムの基準点設定自動化に関する検討

○竹中友哉, 峰野博史(静岡大),

徳永雄一, 宮内直人(三菱), 水野忠則(静岡大)

- 2 ネットワーク主導強制ハンドオーバーによる無線 LAN 負荷分散に関する検討

○吉田智哉(静岡大), 宮本 剛,

黒田正博(通信総研), 石原 進(静岡大)

- 3 低軌道衛星通信システムにおける同時ハンドオーバー方法の提案

○佐藤一正(青学大), 若原 恭(東大), 水澤純一(青学大)

- 4 低軌道衛星ネットワークにおける位置情報管理コストの削減方法

○土谷紘子(青学大), 若原 恭(東大), 水澤純一(青山学院)

- 5 モバイル通信におけるユーザ・キャリア間の SLA 利益最大化方式の検討

○長野純一, 阿部伸俊, 勅使河原可海(創価大)

- 6 Mobile PPC における認証方式の提案

○瀬下正樹, 竹内元規, 渡邊 晃(名城大)

- 7 Mobile PPC を利用したネットワーク単位の移動通信の提案

○坂本順一, 鈴木秀和, 竹内元規, 渡邊 晃(名城大)

- 8 携帯電話を利用した P2P 通信によるグループウェアの提案

○池田篤史, 片岡信弘(東海大)

- 9 (2T セッションに移動)

学生セッション [6U 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 17:00)

モバイルアプリケーション (2) 座長 横田 英俊(KDDI 研)

- 1 携帯電話インターネット接続サービスを利用した講義支援システム

○宇都宮光之, 服部 武(上智大)

- 2 iアプリとウェブログを用いたコミュニケーション支援システムの提案

○佐藤大輔, 片岡信弘(東海大)

- 3 携帯電話用 Java アプリケーション検索に向けたメタデータ構成方法の提案

○後藤和之, 片岡信弘(東海大)

- 4 携帯端末による Web ページ閲覧のためのコンテンツ変換手法
○畑中貴生, 吉川裕章, 中村英治, 内田 理, 中西祥八郎(東海大)
- 5 フレームが用いられた Web コンテンツの携帯端末向け変換手法
○小林圭一, 吉川裕章, 杉浦直哉, 張 ティ, 内田 理, 中西祥八郎(東海大)
- 6 モバイルユーザのニーズを考慮した情報取得支援型ポータルサイトの構築
○張 ティ, 吉川裕章, 富沢和也, 内田 理, 中西祥八郎(東海大)
- 7 (5Z セッションに移動)
- 8 (5Z セッションに移動)
- 9 (5Z セッションに移動)

学生セッション [2W 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

- プライバシー・運用** **座長 井上 真杉(NICT)**
- 1 地域密着型防犯システムの開発 ○岡岡真里帆, 西尾信彦(立命館大)
 - 2 子供の保護のためのインターネット利用監視支援システム
○上田達巳, 高井昌彰(北大)
 - 3 (講演取消)
 - 4 接続端末セキュリティ度判定方法の提案
○服部正尚, 辻 秀一(東海大)
 - 5 コミュニティセキュリティにおける共通プラットフォームに関する研究
○渡邊利晃, 井手口哲夫(愛知県大), 村田嘉利(NTT ドコモ東海)
 - 6 プライバシー重視の分散協調型グループコミュニケーションモデルの提案
○鎌田浩嗣, 小瀬木浩昭, 武田正之(東理大)
 - 7 プライバシー保護のための OS におけるネットワーク機構
○西村和憲, 一柳淑美, 鈴木和久, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
 - 8 利用ネットワークのセキュリティポリシーを考慮してネットワーク利用時のユーザ要求を実現する方式の提案
○加藤弘一, 安田俊一郎, 勅使河原可海(創価大)

学生セッション [3W 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- 画像処理** **座長 内藤 整(KDDI 研)**
- 1 (5Z セッションに移動)
 - 2 (5Z セッションに移動)
 - 3 (5Z セッションに移動)
 - 4 ベクター変換における符号化効率の改善
○河村 圭, 山本勇樹, 渡辺 裕(早大)
 - 5 時空間画像の符号化に関する一考察
○加藤幸一, 渡辺 裕, 安田靖彦(早大)
 - 6 居眠り運転検知を目的とした画像処理による瞬き時間計測に関する検討
○蔭山貴幸, 籠谷徳彦, 加藤誠巳(上智大)
 - 7 眼鏡装着時における画像処理による目の位置検出に関する検討
○籠谷徳彦, 蔭山貴幸, 加藤誠巳(上智大)
 - 8 CMOS カメラを用いた小型状況認識システム
○品川泰英, 長名保範, 今井倫太(慶大)
 - 9 モバイルによる形状計測 ○田淵博之(和歌山大)

学生セッション [5W 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- ネットワークセキュリティ** **座長 田端 利宏(九大)**
- 1 内部ネットワークからの送信データ監視システムの提案
○新井裕子, 辻 秀一(東海大)
 - 2 ケーブル認証アクセス制御システムの提案
○神谷謙吾, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温(東京工科大)
 - 3 iSCSI ターゲットにおける安全な通信を行うシステムの実装と性能評価
○神坂紀久子(お茶の水女子大), 山口実靖(東大), 小口正人(お茶の水女子大)
 - 4 SMTP における汎用圧縮アルゴリズムを導入した TLS の有効性の評価とその検討 ○真部大五, 木村成伴, 海老原義彦(筑波大)
 - 5 SNMP 情報に応じた動的なネットワーク管理方式の提案
○小田木秋人(筑波大)
 - 6 IPv6 アドレスを用いたノード間暗号化に関する研究
○田中宏幸(日本工大)
 - 7 ポートフォワード方式を用いた SSL-VPN によるメール受信システムの開発
○後藤亮太, 藤田健太, 菊池浩明(東海大)
 - 8 DNS の階層キャッシングによる効率的な名前解決法
○竹谷賢二, 後藤滋樹(早大)

学生セッション [6W 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

- 認証・分散セキュリティ** **座長 田中 俊昭(KDDI 研)**
- 1 企業ネットワークにおける認証基盤の構築に関する研究
○坂野文男, 保母雅敏, 渡邊 晃(名城大)
 - 2 (講演取消)
 - 3 簡易電子証明書発行システムの提案 ○岡田大輔, 辻 秀一(東海大)
 - 4 ネットワーク上の余剰ディスクを利用した分散バックアップシステム
○西村 淳, 石橋勇人, 安倍広多, 松浦敏雄(阪市大)
 - 5 鍵不要のセキュアネットワークの提案と Web サービスへの適用
○大矢健太, 小瀬木浩昭, 武田正之(東理大)
 - 6 P2P ネットワークにおける相互認証法の提案
○矢部宏樹(阪工大), 佐野陸夫(阪工大/NICT)
 - 7 ハイブリッド型 P2P アプリケーショントラフィック制御方式の一考察
○伊藤 洋, 貫名 東, 大坐昌智, 川島幸之助(農工大)
 - 8 MO-Serv におけるグリッド計算サービスのための分散認証機構に関する考察
○甲斐啓文, 伊東栄典, 大庭淳一, 青柳 睦(九大)

学生セッション [5Z 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- モバイルアプリケーション (1)** **座長 藤野 信次(富士通研)**
- 1 地域通貨支援システムの提案—従来方式とモバイル端末方式の並行運用—
○久良木健次, 辻 秀一(東海大)
 - 2 地域通貨の利用履歴を用いた個人適応型コミュニケーション支援システム
○利川基秀, 西村俊和(立命館大)
 - 3 携帯電話と地図を利用した釣り情報システム
○田部井俊彦, 山下和也, 伊藤小琴, 前川仁孝, 伊與田光宏(千葉工大)
 - 4 個人用知的移動体における追体験支援システム
○小酒井一稔, 長尾 確(名大)
 - 5 個人用知的移動体における実世界に連動した情報コンテンツの利用
○佐橋典幸, 長尾 確(名大)
 - 6 個人用知的移動体におけるヒューマントレースの実装と評価
○土田貴裕, 長尾 確(名大)

学生セッション [5ZA 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- ナビゲーションシステム** **座長 関 清隆(鉄道総研)**
- 1 アンケートに基づく路面凍結情報システムの拡張と 2004 年度実証実験
○阿部聖純, 千葉力也, 高山 毅, 元田良孝, 池田哲夫, 佐野嘉彦(岩手県大), 竈淵真介(富士通東北システムズ), 大久保博人(NTT データ東京 SMS)
 - 2 拡張現実感を用いた実写動画による歩行者経路案内システムに関する検討
○塚越義明, 加藤誠巳(上智大)
 - 3 三次元地図による歩行者向けシミュレーションシステムに関する検討
○船戸恭子, 梅原直樹, 塚越義明, 加藤誠巳(上智大)
 - 4 飲食店に対する評判情報の Web マイニングに関する検討
○中原史貴, 加藤誠巳(上智大)
 - 5 歩行者のランドマークへの嗜好を反映した経路案内地図提供システムに関する検討
○祖山伸太郎, 梅原直樹, 加藤誠巳(上智大)
 - 6 目的地までの到達時間に基づく地図描画
○小川貴裕, 久保田光一(中大)
 - 7 骨格地図記述の正規化 ○藤野真一, 久保田光一(中大)
 - 8 パターンによる地理情報検索 ○佐藤鉄也, 久保田光一(中大)

学生セッション [6ZA 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

- 位置検出手法** **座長 久保田浩司(NTT)**
- 1 携帯電話の位置情報を用いた速度算出法の検討
○佐々木直哉, 小笠原直人, 佐藤 究, 布川博士(岩手県大)
 - 2 位置情報を利用した地域安全情報確認システム Using Position Information from GPS: The Regional Safety Information System
○廣田政人, 柴田義孝(岩手県大)
 - 3 ユーザ位置予測による放送基地局選択手法
○永野健治, 松垣博章(電機大)
 - 4 ベイズ推定を用いた位置推定システムとその応用アプリケーション
○伊藤誠悟, 佐藤弘和, 河口信夫(名大)
 - 5 Bluetooth を用いた位置検出方法に関する一考察
○太田和宏, 下間晶子, 福岡久雄(松江高専)

- 6 超音波センサを用いた相対位置認識デバイスの設計
○金子 歩, 菅野裕介, 矢谷浩司, 杉本雅則(東大),
橋爪宏達(国立情報学研)
- 7 超音波センサを用いた相対位置認識技術における通信及び測距技術
○菅野裕介, 金子 歩, 矢谷浩司, 杉本雅則(東大),
橋爪宏達(国立情報学研)
- 8 指向性アンテナを用いた無線 LAN 基地局位置推定手法に基づく
基地局探索支援システムの設計と実装
○佐藤弘和, 伊藤誠悟, 河口信夫(名大)
- 9 携帯電話からの web ブラウジングにおけるユーザの嗜好と状況を考慮した
コンテンツ推薦システム ○酒井 亮, 東 基衛(早大)
- デモセッション [デモ会場]
- デ-01 (3月2日 (水))
ユーザ嗜好による被写体ごとの強調 / 隠蔽システムの開発
○井田 孝, 金子敏充, 大盛善啓, 堀 修(東芝)
- デ-05 (3月3日 (木))
位置予測可能な携帯端末による位置情報共有システム
○小俣勝弘, 山崎祥行, 本田善照, 大野澄雄,
奥 正廣, 千種康民(東京工科大), 小池 隆(富士ソフト ABC)
- デ-06 (3月2日 (水))
組み込みJava™ による家電機器制御システムの試作
○伊藤昭博, 前岡 淳, 中野正樹, 森本義章(日立)

第4分冊

(インタフェース)

一般セッション [1H会場] (3月2日 (水) 13:15～15:15)

仮想現実感 座長 近藤 邦雄(埼玉大)

- 剛体の同時多点衝突モデルの提案とそのパラメータ同定に関する研究
○児玉哲也, 登尾啓史(阪電通大)
- 仮想レオロジー物体のモデリングとそのパラメータ同定に関する研究
○村田康幸, 登尾啓史(阪電通大)
- 3Dblogの提案と応用 ○西尾吉男(金城学院大), 横井茂樹(名大)
- 仮想空間ボイスチャットシステムにおけるアバタの擬似視線制御
○宮島俊光, 下地 崇, 藤田欣也(農工大)
- 仮想空間協調作業支援システムにおけるうなずき反応の影響
○大久保雅史(同志社大), 渡辺富夫(岡山県大)

一般セッション [2H会場] (3月2日 (水) 15:30～17:30)

感性情報処理 座長 高田 眞吾(慶大)

- 空間的要因に依存する指示語を用いたインタラクション
○杉山 治(慶大), 神田崇行(ATR), 今井倫太(慶大)
- 操作時の把持力を利用したポインティングデバイスの研究
○中橋佑介, 福井幸男(筑波大), 佐藤 滋, 北島宗雄(産総研)
- 歩行者の滞留のし易さを考慮した歩行空間の混雑度判定
○豊沢 聡, 河合隆史(早大)
- (講演取消)
- Web セーフカラーを用いた一対比較による視認性の年代別比較
○齋藤大輔, 斎藤恵一(電機大), 納富一宏(神奈川工科大), 斎藤正男(電機大)

- 会話に付随する非言語情報の分類と評価 ○善本 淳(NICT)

一般セッション [3H会場] (3月3日 (木) 9:30～12:00)

コミュニケーションとインタフェース 座長 坂根 裕(静岡大)

- 自在壁面ディスプレイを活用した身体行為の空間表現手法に関する研究
○鈴木伸嘉, 上杉 繁, 三輪敬之(早大)
- 実空間における複数人3次元描画システムの開発
○村岡至紘, 大崎章弘, 谷口裕之, 三輪敬之(早大)
- 音声駆動型身体引き込みキャラクタ InterActor を用いた患者・看護師
コミュニケーション支援システム
○村上生美, 加藤裕代, 渡辺富夫(岡山県大)
- 音声駆動型身体のレーザーポインタ InterPointer によるうなずき反応
提示の効果 ○長井弘志, 渡辺富夫, 山本倫也(岡山県大)
- 実用性と親和性を融合するロボットインタフェース
- 親和行動導入による使いやすさの評価 -
○山本大介(東芝), 土井美和子, 松日栄信人(東芝), 上田博唯(NICT), 木戸出正継(奈良先端大)
- 視線・表情を持つ擬人化エージェントのインタラクションによる印象変化
○黒木裕己, 武川直樹, 湯浅将英(電機大)
- 力覚コミュニケーションの合成的解析のためのバーチャル腕相模システム
○山田貴志(香川大), 渡辺富夫(岡山県大)

一般セッション [4H会場] (3月3日 (木) 14:30～17:00)

マルチモーダルインタフェース 座長 志築文太郎(筑波大)

- サラウンド感覚の付与による快走支援機能の開発
○坂根 裕, 黒木孝志, 青島大悟, 安念克洋, 采 泰臣, 大谷尚文, 杉山岳弘, 竹林洋一(静岡大)
- 車載用イメージセンサを基軸とするマルチモーダルコンテンツの応用
○杉山岳弘, 荒井雄一, 白井正博, 山本 剛, 竹林洋一(静岡大)
- ジェスチャー入力による3次元図形描画インタフェース
○田中祐子(東京工科大)
- 音声ブラウザコンテンツ変換システムの実装
○羽藤淳平, 佐々木幹郎, 齋藤正史(三菱)
- 電子メモパッド搭載ノートパソコンの特徴 ○伊藤博司(日本IBM)
- シラバスデータによる教育課程の分析と視覚化に関する考察
○井田正明, 野澤孝之, 芳鐘冬樹, 宮崎和光(大学評価・学位授与機構), 喜多 一(京大)
- 指先端の解剖学的特徴点の位置推定 ○伊納進平, 井芹大智, 矢原弘樹, 水野一徳, 福井幸男, 西原清一(筑波大)

一般セッション [5H会場] (3月4日 (金) 9:30～12:00)

グラフィクスとCAD 座長 山口 泰(東大)

- 接触制約に基づく3次元オブジェクトの自動配置手法
○赤澤由章, 新島耕一, 岡田義広(九大)
- 2値ボクセルからの境界表現モデルの自動生成に関する一手法
○中村徳裕, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)
- (講演取消)
- 拳動モデル統合型高品位レンダリングシステム
○田坂 仁, 柴田義行(エクサ), 金井 理(北大)
- デジタルペインティングにおける拡散・エッジ表現のリアルタイム処理
○渡辺賢悟, 宮岡伸一郎(東京工科大)
- フラクタルトップを用いたアーティステックレンダリング
○望月茂徳, 蔡 東生(筑波大)
- Structural Rendering of Morpho Butterfly Wings using Numerical Simulation
○朱 棟, 蔡 東生, James Cole(筑波大)

一般セッション [6H会場] (3月4日 (金) 14:30～17:00)

グループウェア 座長 関 一也(電通大)

- 心的イメージ伝達媒体としての多義性を考慮した画像の管理手法
ー テキスタイルデザイン企画書を例として ー
○小川泰右, 林 雄介, 池田 満(北陸先端大)
- Web ベース協調型マルチメディア会議録システムの設計と開発
○平島大志郎, 勅使河原可海, 田中 充(創価大)
- ディスカッションマイニング: 議事録集合からの知識発見
○友部博教, 長尾 確(名大)
- 案件分類のための業務フロー特徴定義の検討 ○駒場祐介(富士通研)
- 多重ワークの研究 - その可能性についての展望 (1) コンセプト -
○松永義文, 小村晃雅, 湯澤秀人, 矢後友和(富士ゼロックス)
- 多重ワークの研究 - その可能性についての展望 (2) 初期実験報告 -
○小村晃雅, 湯澤秀人, 矢後友和, 松永義文(富士ゼロックス)
- 地図とXMLを利用した情報組織化共有方式
○山口勇樹, 小嶋弘行(広島工大)

学生セッション [1X会場] (3月2日 (水) 13:15～15:15)

知的ヒューマンインタフェース 座長 藤代 一成(東北大)

- 電子的な保存を妨げる仕組みを持つチャットシステムの開発
○松野拓馬, 吉野 孝(和歌山大)
- 地域の特徴を取り入れたユーザ適合型地図検索インタフェース
○米田信之, 南野謙一(岩手県大)
- ユーザ背景を考慮した柔軟なマルチメディアプレゼンテーションシステムの
研究 ○石井俊匡, 柴田義孝(岩手県大)
- Web サービス用リッチクライアントの自動生成に関する研究
○城野公臣(早大)
- 空間内における相対的位置関係を考慮した知能ロボットとユーザとの
インタラクション ○立木翔一(電通大)
- 安定した動作を生成する姿勢補間法の検討
○蒲野佳一, 河村啓介, 高橋友一(名城大)
- 多関節モデルにおけるモーションデータの生成・利用・制御に関する研究
○松田洋和, 鈴木 寿(中大)

学生セッション [2X会場] (3月2日 (水) 15:30～17:30)

協調作業のインタフェース 座長 大平 雅雄(奈良先端大)

- 発言とメモ入力によるインタラクティブゼミ支援システムに関する一検討
○久保岳史, 林 貴宏, 尾内理紀夫(電通大)
- 高速ネットワーク上における協調バーチャル伝統工芸システム
○石田智行(岩手県大), 宮川明大(石川県七尾市), 柴田義孝(岩手県大)
- 復習時における学習者の個人的要求に適した電子ノート推薦手法の提案
○三谷幸久(阪大), 倉本 到(京都工繊大), 萩原兼一(阪大)
- 自然言語による物語風シナリオからのWebサイト構造導出システム
○村松千英子, 郷健太郎(山梨大)
- 紙メディア変換によるWebデザインのプロトタイプ作業支援システム
○平山順一, 郷健太郎(山梨大)
- チャットにおける距離感がユーザの振る舞いに及ぼす影響
○仲辻正幸, 郷健太郎(山梨大)

学生セッション [3X会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

計算機システムのインタフェース 座長 椎尾 一郎(玉川大)

- 1 携帯電話向けユーザインタフェース構築システム
○朝日啓太(電通大)
- 2 ゲームコントローラを用いた文字入力法
○尾花智史(電通大)
- 3 個人向けキーボードの作成と実験
○友森崇善(電通大)
- 4 (講演取消)
- 5 板書支援ツールの作成
○横江省宏, 角田博保, 赤池英夫(電通大)
- 6 時系列データの可視化システム
○濱野智明, 平川正人(島根大)
- 7 (講演取消)
- 8 キーボード入力による平文を用いたコマンド実行方法の提案
○三輪正浩(阪電通大)
- 9 握るという行為を用いた個人認証システム
○佐藤勝規, 佐藤 究, 小笠原直人, 布川博士(岩手県大)

学生セッション [4X会場] (3月3日 (木) 14:30 ~ 17:00)

コミュニケーションとインタフェース 座長 加藤 直樹(学芸大)

- 1 抑揚の視聴覚表現を用いたコミュニケーションツールの開発
○田村陽介, 日野優介, 福岡久雄(松江高専), 小堀康功(群馬大)
- 2 ベイジアンネットによる料理レシピ検索コミュニケーション制御の検討
○仲川 潤, 西平達紀, 宮脇健三郎(阪工大), 佐野睦夫(阪工大 / NICT)
- 3 顔のエッジ表現を用いたコミュニケーションシステムの会話特性
○大石貴也, 徳永幸生(芝浦工大), 米村俊一(NTT), 大谷 淳(早大)
- 4 IRCにおけるNickname衝突問題の解決方法の提案
○丸山洋平, 松澤智史, 武田正之(東理大)
- 5 音声情報と顔画像情報の統合によるパラ言語レベルの感情認識
○松本祥平, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 6 利用者のイメージによる Web 上での画像検索法
○内海弘一, 戴 瑩, 柴田義孝(岩手県大)
- 7 音楽の協調的創作活動を支援するタンジブルインタフェース
○大橋裕太郎, 有澤 誠(慶大)
- 8 音声駆動型身体引き込み動物型キャラクタ InterAnimalの開発
○加藤裕代, 渡辺富夫, 山本倫也(岡山県大)
- 9 新しいコミュニケーションメディアを用いた親密別居間の
コミュニケーション促進に関する研究 ~自宅外生とその家族を例に~
○樂山 博(芝浦工大)

学生セッション [5X会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

感性情報処理 座長 高田 真吾(慶大)

- 1 顔部品の形状と配置に対する固有空間を用いた性別・表情分析と
似顔絵生成
○西野史康, 金子正秀(電通大)
- 2 顔部品の大きさや形状の特徴を分離して扱うことが可能な
似顔絵生成システム
○佐藤タ介, 金子正秀(電通大)
- 3 生体情報と視線情報を利用した感性的インタフェースの検討
○真川 純, 土肥 浩, 石塚 満(東大)
- 4 (講演取消)
- 5 (講演取消)
- 6 コンピュータによる羽ばたき音の擬音合成
○中嶋広晴, 徳永幸生(芝浦工大)
- 7 緊張緩和の遠隔支援システムの提案
○村本達哉, 野地 保, 木下善皓, 松浦純士(東海大)
- 8 外食産業における哀情報収集支援システムの提案
○高 穎, 野地 保, 木下善皓, 吉野央朗(東海大)

学生セッション [6X会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 17:00)

マルチモーダルインタフェース 座長 安村 通晃(慶大)

- 1 車載用イメージングセンサを用いたマルチモーダルクルージングアシスト
○田森裕邦, 藤城卓巳, 坂根 裕, 竹林洋一(静岡大)
- 2 多指標視線入力を用いた Web 閲覧システム
○松金朗啓, 緑川剛史, 湯浅将英, 大山 実(電機大)
- 3 全方位画像からのインタラクション認識を用いた会議記録の編集・
閲覧システム
○大江展弘, 平野 靖, 梶田将司, 間瀬健二(名大)
- 4 音声情報を用いた会議における雰囲気把握支援方法の検討
○加藤雄一, 大江展弘, 平野 靖, 梶田将司, 間瀬健二(名大)

- 5 ロボットによる人間親密度の空間マッピングとインタラクションへの適用
○田崎 豪, 松本祥平, 大庭隼人, 村瀬昌満,
大谷 拓, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 6 ドメイン間マッピングによる環境音に呼応したロボット動作生成
○服部佑哉(京大), 小嶋秀樹(NICT),
駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 7 人型ロボットによるスライドプレゼンテーションに関する研究
○岸本有玄, 向井 淳, 今井倫太(慶大)
- 8 視聴覚情報の統合に基づく全周方向での音源位置推定
○高橋哲史, 金子正秀(電通大)
- 9 楽曲イメージに合わせたグラフィックス自動生成に関する一検討
○高柳 直, 林 貴宏, 尾内理紀夫(電通大)

学生セッション [1Y会場] (3月2日 (水) 13:15 ~ 15:15)

レンダリング (1) 座長 松岡 裕人(NTT)

- 1 セルオートマトン法を利用した染めのビジュアルシミュレーション
○阿部美幸(お茶の水女子大), 山本高美(和洋女子大), 藤代一成(東北大)
- 2 布形状シミュレータに演出機能を付加した3DCGアニメーションシステムの
開発 -パラメータの時空的制御による演出効果の強化-
○河辺 郁(神戸大),
高森 年(国際レスキューシステム研究機構所属), 田所 諭(神戸大)
- 3 佐賀錦の CG による表現の研究
○三上健一(拓大)
- 4 ソフトエッジとハードエッジに着目したコンピュータによる絵画作成法
○新原雄介(芝浦工大), 棚沢 順(千葉商科大),
大谷 淳(早大), 徳永幸生(芝浦工大)
- 5 多様な曲率を持つストローク生成のための毛筆調レンダリングの改良
○岡部雄太, 齋藤 豪, 高橋裕樹, 中嶋正之(東工大)
- 6 複数の主曲線抽出アルゴリズムを搭載した自動ペン入れシステムの開発
○黒岩直子(お茶の水女子大), 藤代一成(東北大)
- 7 特徴に基づく絵画風画像の補完
○日詰遼子(お茶の水女子大), 藤代一成(東北大), 山口 泰(東大)

学生セッション [2Y会場] (3月2日 (水) 15:30 ~ 17:30)

レンダリング (2) 座長 柿本 正憲(日本 SGI)

- 1 主観品質を考慮したリアルタイムレイトレーシングの開発
○石井 温, 志田晃一郎, 横山孝典(武蔵工大)
- 2 フォトンマッピングの影表現の高精度化
○安西卓也, 曾根順治(東京工芸大)
- 3 法線の平滑化による液体の描画手法
○高橋 勤, 土井章男(岩手県大)
- 4 ドット絵の描画手法の分析と輪郭線描画手法
○鈴木和明, 近藤邦雄(埼玉大)
- 5 領域分割と色誇張を用いたイラスト画像の生成
○宇波由紀子, 近藤邦雄(埼玉大)
- 6 監視カメラのための非写実的画像表示
○佐々木貴弘, 瀬川大勝, 宮村(中村)浩子, 斎藤隆文(農工大)
- 7 広視野3次元CGにおける歪除去
○加藤 崇, 石井 充, 服部進実(金沢工大)

学生セッション [3Y会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

モデリング及びCAD 座長 山内 結子(NHK放送技研)

- 1 3次元輪郭曲線を用いた遺物の復元
○大村晃宏, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)
- 2 Force Field による空間認識補助を考慮した自由曲面制御法
○浅沼克俊, 堀川彬夫, 熊谷昌也, 松田浩一(岩手県大)
- 3 Axi-Vision を用いた三次元モデリング
○山田英樹(東工大),
白井曉彦, 河北真宏(NHKエンジニアリングサービス),
三ツ峰秀樹(NHK), 中嶋正之(東工大)
- 4 セルアニメキャラクターの頭部3Dモデル構築支援
○吉田武史(北大), 高井那美(北海道情報大), 高井昌彰(北大)
- 5 ソリッドモデルにおける細分割曲面の生成方法
○吉井ゆかり, 徳山喜政(東京工芸大), 今野晃市(岩手大)
- 6 最適曲線選択を特徴とするCADを用いた型紙自動生成システム
○山口真司, 松井藤五郎, 大和田勇人(東理大)

7 修辞軸座標系を用いたデザイン支援システムの試作
○大谷光義(和歌山大)

8 Design and Implementation of an independent 3D character motion library
○アルトゥロ ナカソネ(東大)

9 簡易入力された2次元画像からの3次元立体化手法の提案
○鈴木 聡, 土井章男(岩手県大)

学生セッション [4Y 会場] (3月3日(木) 14:30～17:00)

可視化 座長 茅 暁陽(山梨大)

1 ボリューム骨格木に基づく自動断面生成
○森 悠紀(お茶の水女子大), 高橋成雄, 五十嵐健夫(東大), 竹島由里子(原子力研), 藤代一成(東北大)

2 ブラウン運動による複雑曲面の衝突ループ検出 ○城 良友, 田中 覚, 仲田 晋(立命館大), 木村彰徳(科学技術振興機構), 長谷川恭子, 岡 将史(立命館大), 柴田章博(高エネルギー研)

3 リアルタイム3DCGプログラミングにおける、ビジュアルプロファイラの有用性に関する研究 ○竹内亮太, 渡辺大地(東京工科大)

4 階層的因果関係の視覚解析システムの開発
○我妻静香(お茶の水女子大), 藤代一成(東北大), 堀井秀之(東大)

5 二色塗り分け法による大規模気象観測データの可視化 ○星谷有香, 山本光義, 斎藤博貴, 斎藤隆文, 宮村(中村)浩子(農工大)

6 監視カメラのための効率的な総覧手法の検討
○降旗千弘, 宮村浩子, 斎藤隆文(農工大)

7 ネットワークログデータの可視化によるネットワーク管理の支援に関する研究 ○山根 寿, 土井章男(岩手県大)

8 大規模ネットワーク管理情報の可視化
○坂本良平, 瀬川大勝, 宮村浩子, 斎藤隆文(農工大)

9 二色塗り分け法による鉄道の利便性の可視化
○小林真弓, 斎藤隆文, 宮村(中村)浩子(農工大)

学生セッション [5Y 会場] (3月4日(金) 9:30～12:00)

アニメーション 座長 藤木 淳(産総研)

1 擬人エージェントにおける社会的表情表出手法
○石川朱香音, 渡辺大地(東京工科大)

2 3Dアニメーションのためのカトゥーンブラー
○大林正一, 近藤邦雄(埼玉大)

3 形状変形を用いたメンタルメーションの表現
○栗山 仁(埼玉大), 今間俊博(尚美学園大), 近藤邦雄(埼玉大)

4 仮想環境内での簡易な群集歩行アニメーション
○塩田真之, 古谷雅理, 斎藤隆文, 宮村浩子(農工大)

5 スクリプトによる3DCGアニメーション生成のためのコンポーネントベースのプレイヤーの実装 ○義山琢也, 岡田義広, 新島耕一(九大)

6 カオスダイナミクスを用いた開花シミュレーション
○頼 冠香, 蔡 東生, 若林一葉(筑波大)

7 オーロラのビジュアルシミュレーション
○米山孝史, 近藤邦雄(埼玉大)

8 捕食者-被食者生態系に基づき個体数の変動する群れのアニメーション作成
○佐藤大輔, 吉田典正(日大)

学生セッション [6Y 会場] (3月4日(金) 14:30～17:00)

CG一般 座長 穴井 宏和(富士通研)

1 (講演取消)

2 線の延長可能性を表す場を用いた不連続な輪郭線の延長
○岡本 稔, 齋藤 豪, 高橋裕樹, 中嶋正之(東工大)

3 レーブグラフを用いた多面体の展開図作成
○岩泉朋樹, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)

4 切り起こし180度型折り紙建築の設計支援に関する研究
○藤原大三郎, 渡辺大地(東京工科大)

5 3角形ポリゴンデータにおける精度保証を可能にしたデータ削減方式の提案
○古川隆志(岩手県大), 土井章男

6 植物生長モニタリングのための時間短縮映像の作成
○海野将範, 高馬祐子, 斎藤隆文, 宮村浩子(農工大)

7 3次元形状の特徴を用いた類似検索に関する一考察
○山口貴央(阪工大), 手島裕詞(静岡理工科大), 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)

8 スケッチに基づいた3次元メッシュモデルの類似検索手法
—輪郭線画像と内部稜線画像を用いた、回転不変検索手法—
○鎌田雄喜, 金井 理, 岸浪 建(北大)

学生セッション [1Z 会場] (3月2日(水) 13:15～15:15)

仮想現実感 座長 井上 智雄(筑波大)

1 ペン型力覚インタフェースを用いた表面ラフネスの提示
○谷道健治, 酒井幸仁, 橋本周司(早大)

2 力覚を考慮したバーチャルドラムシステムの開発
○福地雅人, 宮里智樹, 玉城史朗(琉球大)

3 全方位画像を用いた擬似三次元空間構築のための画像補間法に関する検討
○中山慎哉, 加藤誠己(上智大)

4 地下水流動仮想実験環境の構築 ○吉岡尚秀, 田中 譲(北大)

5 データグローブによる自然な把持姿勢の学習及び摩擦を考慮した把持姿勢の評価 ○渡部智之, 齋藤 豪, 高橋裕樹, 中嶋正之(東工大)

6 サイクリング体験記録における外界に対する関心事の抽出
○西面将樹(名大)

7 実体模型操作と3D画像表示による実時間顎矯正手術支援システム
○下永吉達成, 青木義満(芝浦工大), 不島健持(かなざわ矯正歯科クリニック), 小林 優(神奈川歯科大)

8 簡易的インタフェースを用いた仮想空間移動のための歩行感覚の補償
○小鷹研理, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)

学生セッション [2Z 会場] (3月2日(水) 15:30～17:30)

コミュニケーション支援 座長 星 徹(東京工科大)

1 コンテキスト共有による対面コミュニケーション支援モバイルツールの提案
○小泉聖吾, 辻 貴孝, 加藤由花(電通大), 坂東忠秋(日立/電通大), 箱崎勝也(電通大)

2 プレゼンス情報を利用した最適コミュニケーション支援システムの試作
○千葉達也, 大屋鷹史, 千葉洋明, 勝岡田仁(日本工大)

3 異文化間コミュニケーションのためのセマンティックチャットシステムの開発
○藤井薫和, 吉野 孝(和歌山大)

4 多人数参加型会議システムのための発言者映像表示法
○富野 剛, 山田貴弘, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温(東京工科大)

5 多人数参加型会議のためのマイクロホンアレイによる話者位置推定法
○山田貴弘, 富野 剛, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温(東京工科大)

6 XMLの構造を利用した分散エディタの開発
○藤原 健, 水口諒一, 松岡宣明, 塚本享治(東京工科大)

7 分散エディタのためのスクリプトの実現
○水口諒一, 藤原 健, 塚本享治(東京工科大)

8 XPathをベースとしたWEBサービスフロー管理実行系の実現
○丸山朝也, 金澤典子, 塚本享治(東京工科大)

学生セッション [3Z 会場] (3月3日(木) 9:30～12:00)

学習支援・ナレッジマネジメント 座長 吉野 孝(和歌山大)

1 ソフトウェア演習を対象とした発想支援システムの開発
○関口和人, 南野謙一, 阿部昭博, 渡邊慶和(岩手県大)

2 グループワークにおけるソフトウェア開発テンプレートを用いた進行状況把握支援システム
○林 祐治, 松浦佐江子, 松下永寿(芝浦工大)

3 グループワークによるソフトウェア開発におけるインスペクション支援ツール
○松下永寿, 松浦佐江子, 林 祐治(芝浦工大)

4 総合学習時のポートフォリオ評価の支援に関する基礎的研究
○葛和拓哉, 吉田博哉, 田中成典, 古田 均(関西大)

5 講義自動収録システムにおける板書静止画記録法
○森田達也, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温(東京工科大)

6 遠隔協調作業支援システムの開発及びその評価実験
○北川雄樹(神戸大), 志波栄也(コベルコ建機), 長松 隆, 嶋田博行, 大辻友雄(神戸大)

7 P2Pをもちいた情報共有ネットワークの開発
○大塚雅史, 上原貴夫, 佐藤敏紀, 金井尚樹(東京工科大)

8 ディスカッションマイニングにおける会議支援のための情報提示
○本村可奈子, 長尾 確, 友部博教(名大)

9 業務コンテキストに基づく協調作業支援
○山縣綾乃, 小嶋弘行(広島工大)

学生セッション [4Z会場] (3月3日 (木) 14:30～17:00)

コミュニティ支援・ネットワークエンターテインメント

座長 爰川 知宏(NTT)

- 1 移住希望者主導型ネットワークコミュニティ形成支援システムの提案
○新沼孝徳, 高橋定義, 佐々木淳, 米田多江, 船生 豊(岩手県大)
- 2 分譲型仮想都市を利用したコミュニティ形成支援システム
○北脇啓史, 西村俊和(立命館大)
- 3 加速度センサを用いたステップエクササイズチャットシステム
DancingChatの開発 ○村上豊聡, 吉野 孝(和歌山大)
- 4 DJのミキシング技術を利用した音楽の連続再生法
○天野玲奈, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温(東京工科大)
- 5 My Drum:舞ドラム ○イエンス バルビ, 宮地泰造(東海大)
- 6 ユーザーの興味を反映したRSSリーダー ○柳内啓司(東大)

デモセッション [デモ会場]

デ-07 (3月2日 (水))

- 視覚と色覚の障害者に対応したスタイルシート生成システム
○久保田直人, 福元雅司, 山崎祥行, 千種康民(東京工科大)
- デ-15 (3月2日 (水))
FreeWalk/Qによる参加型避難シミュレーション
○中西英之(京大), 石田 亨(京大/JST)

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [5A会場] (3月4日 (金) 9:30～12:00)

CAI・教育学 (2) 座長 山崎 謙介(学芸大)

- 1 保育者の気づきを喚起する行動量に視点をのいた観察手法の提案
-歩数計とクラスター分析を用いた発達段階の自動抽出-
○糠野亜紀(常磐会短大), 上田真梨, 三木紀佳(同志社大),
新谷公朗(常磐会短大), 金田重郎(同志社大)
- 2 親子のコミュニケーションを促進する幼児教育の一検討
○川口紗季(静岡大), 坂根信一(七田チャイルドアカデミー北大阪教室),
坂根 裕, 竹林洋一(静岡大)
- 3 シラバスからの関連用語収集手法の検討と関連用語検索システムの試作
○芳鐘冬樹, 井田正明, 野澤孝之,
宮崎和光(大学評価・学位授与機構), 喜多 一(京大)
- 4 法科大学院生のための法令・判例検索支援システム
○金井 貴(明治学院大)
- 5 物理的連鎖運動を用いた論理回路学習教材の試作
○南雲秀雄(新潟青陵大)
- 6 教育用物理モデル記述法の検討 ○高木 茂(沖縄工業高等専門学校)
- 7 習熟度の異なる学習者に対応する一斉教育用の WBT コンテンツ
○榎本守伸(別府大)

一般セッション [5B会場] (3月4日 (金) 9:30～12:00)

情報と人間社会 座長 神沼 靖子(埼玉大)

- 1 社会科学(経済工学)におけるマイクロシミュレーションの実装
-仮想社会の構築と老人介護需要および地域市民所得の推測-
○川島秀樹(九大)
- 2 ユビキタス環境におけるユーザニーズの考察
○伊藤雅博(アクセンチュア)
- 3 地域ネットワークコミュニティにおけるロコモ情報の評価法に対する検証
○矢野浩仁, 川上賢一郎, 本間弘一(日立)
- 4 コード化社会システム ○上田謙一(ADEU.NEK)
- 5 情報法科学(Information Forensics)体系化を目指して
○内田勝也, 向山宏一(情報セキュリティ大)
- 6 固定パスワード(Reusable Password)再考
○内田勝也(情報セキュリティ大)

一般セッション [3D会場] (3月3日 (木) 9:30～12:00)

CAI・教育学 (1) 座長 宮寺 庸造(学芸大)

- 1 自己説明による算数文章題の解決の支援 ○中津橋男(愛知教育大)
- 2 算数の文章題を対象とした知的学習支援環境の利用効果
○中野 明(久留米高専), 平嶋 宗(広島大), 竹内 章(九工大)

- 3 知的生産における理解度分析方法論 ○志水信幸, 太田秀昭,
林 俊樹(ソフピアジャパン), 角 行之(情報文明文化研)
- 4 組み込みエンジニアの実践教育の経験と考察
○御村武生, 大山将城, 松下真悟, 磯貝太郎, 清水尚彦(東海大)
- 5 物理実験の知識映像コンテンツをベースにした対面教育の
授業デザインの実践 ○武 義信, 杉山岳弘(静岡大)
- 6 インターネット利用による高大連携授業の仕組みと分析
○鶴 将幸, 大西莊一, 榎原道夫,
村山真一, 秋山雄亮, 青嶋 智(岡山理大)
- 7 リファクタリングプロセスの再利用によるオブジェクト指向
プログラミング学習支援の提案 ○藤原 巧, 松浦佐江子(芝浦工大)

一般セッション [4D会場] (3月3日 (木) 14:30～17:00)

教育システム 座長 高岡 詠子(千歳科技大)

- 1 SIEM アセスメント尺度によるプログラミング教育の分析
○土肥紳一, 宮川 治, 今野紀子(電機大)
- 2 授業評価 Web アンケートシステムの開発と実践
○芝 治也, 山口 巧, 赤松重則, 勇 秀憲,
島内功光, 前田公夫(高知工業高等専門学校)
- 3 リアルタイム授業評価システム ○鳥巢泰生(大手前大)
- 4 ソフトウェア開発プロジェクト演習支援システム EtUDE
○磯崎友香, 山下公太郎, 石川達也, 橋浦弘明, 古宮誠一(芝浦工大)
- 5 授業管理支援システム WebLec 4.0について ○内田智史(神奈川大)
- 6 プログラミング演習総合システムにおける学生アシスト機能の検討
○内藤広志(阪工大)
- 7 コース管理システム WebCTとプログラミング評価支援システムの連携
○渡辺博芳, 武井恵雄(帝京大)

一般セッション [5D会場] (3月4日 (金) 9:30～12:00)

情報教育 座長 立田 ルミ(独協大)

- 1 XMLによる歴史年表データの流通とその利用について
○林 良雄(秋田大)
- 2 KNOPPIXを利用したハードディスクレス実習室のCF化
○小菅貴彦, 丸山 亮, 外川明子(日本電子専門学校),
松元絹佳, 千葉大作(アルファシステムズ)
- 3 ノートパソコンの全学生への貸与の実施とその検証
○河野 稔(兵庫大)
- 4 情報教育におけるグループ学習の効果-II
○寺川佳代子(常磐会学園大), 喜多 一(京大)
- 5 情報リテラシーを踏まえた情報処理教育の検討
○小林 仁(鎌倉女子短大)
- 6 相互評価システムを利用したプレゼンテーション演習
○竹田尚彦, 吉田宏史(愛知教育大)

一般セッション [6D会場] (3月4日 (金) 14:30～17:00)

CAI・教育学 (3) 座長 角田 博保(電通大)

- 1 場の雰囲気収集機能を持つ遠隔地教育もしくはe-learningシステムの提案
-コンセプト、デザイン、そして開発上の課題-
○水島賢太郎(神戸女子短大)
- 2 ロボットコンテストを教材として用いた教育における調整段階での
情報支援について ○熊丸憲男, 中野 明(久留米高専)
- 3 博物館での教育効果を高めるユビキタステクノロジー
○深谷拓吾(ATR)
- 4 OPE プロジェクトの進捗状況とその課題について
○原 元司(松江高専), 山本喜一(アルファオメガ),
白石啓一(詫間電波高専), 白濱成希(北九州高専),
本間啓道(奈良高専), 桐山和彦(鳥羽商船高専), 岡田 正(津山高専)
- 5 OPE システムの概要と利用方法
○桐山和彦(鳥羽商船高専), 山本喜一(アルファオメガ),
原 元司(松江高専), 白濱成希(北九州高専), 本間啓道(奈良高専),
岡田 正(津山高専), 白石啓一(詫間電波高専)
- 6 拡張オーバレイモデルに基づくブランディング型教授ロジックの実現方法
○馬場純子, 山本洋介, 小野寺直樹,
中溝昌佳, 橋浦弘明, 古宮誠一(芝浦工大)

一般セッション [5E 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

情報システムの運用監視 座長 清水 則之(名桜大)

- データマイニングを用いたプラント異常発見
○森田千絵, 久保田和人, 波田野寿昭, 仲瀬明彦(東芝)
- プラント異常発見システムにおける内部状態分類手法
○久保田和人, 森田千絵, 波田野寿昭, 仲瀬明彦(東芝)
- IT マネジメントシステムにおけるサーバ運用監視手法の設計と活用
○菅野幹人(三菱)
- 複数の監視装置を統合する運用監視技術の開発
○金子洋介, 菅野幹人, 村澤 靖, 村田 篤(三菱)
- End-to-End 監視によるアプリケーション監視システム
○佐藤雅之, 村澤 靖, 町井義亮, 金子洋介(三菱)
- 遠隔監視システム構築に向けた機器仮想化オブジェクトプラグインの可能性について(第一報)
○相馬臣彦, 森本喜一郎, 松家英雄(産能大)

一般セッション [6E 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 17:00)

情報システムの事例 座長 阿部 昭博(岩手県大)

- RFID を用いたインタラクティブ商品棚システム
○加藤 守(Mitsubishi Electric Research Laboratories), 石井 篤, 東 辰輔(三菱), 清元俊晴(三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 分散環境における健康情報データベースシステムの構築
○蓬萊一郎(東北大), 板橋吾一(サイエンティア), 山本光璋(東北福祉大), 布川博士(岩手県大), 木下哲男(東北大), 富樫 敦(宮城大), 野口正一(仙台応用情報学研)
- (講演取消)
- Web サイト活用による住民との情報共有
~ NewsML を用いたワンストップサービス化 ~
○石田達朗, 小林 聡(同志社大), 井上 明(甲南大), 永井智子, 佐野嘉紀, 長澤知津子, 吉村考昌, 金田重郎(同志社大)
- アートツーリズムを支援するコミュニティ Web の構築に関する考察
○斎藤 一, 西村 誠(北海道情報大), 大内 東(北大)
- (講演取消)
- CSCW による震災時意思決定支援システムの研究
○村本 卓(八戸大), 前川 守(電通大)

学生セッション [1P 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

CAI・教育工学 座長 志水 信幸(ソフトピアジャパン)

- コンパイルブラウザを備えた教育用計算機システムシミュレータの実現と評価
○三浦義之, 金子敬一, 中川正樹(農工大)
- 物理授業におけるシミュレーション型 e ラーニング教材の学習効果の検証
○糸井俊哲, 佐藤 敬, 松永信介, 橋本 勉(東京工科大)
- 学習履歴収集のためのモニタリングツールの開発
○土屋貴明, 渡辺博芳(帝京大)
- PDA を利用したティーチングアシスタントによる演習授業支援システム
○井上真由美, 大即洋子, 中川正樹(農工大)
- (3D セッションに移動)
- 学習者の興味を引き出す学習支援環境について
○松田 武, 鄭 成, 齋藤健司, 斎藤 一, 前田 隆(北海道情報大)
- キーワード集合の位相構造とその可視化
- ケアセサメント文書への応用 -
○坂本将樹, 川島健志, 江藤 香, 樺澤康夫(日本工大)
- (講演取消)

学生セッション [2P 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

教育システム (1) 座長 曾我 真人(和歌山大)

- 仮想 OJT による PM 教育手法の提案
○丸山 広, 野々田峰寛, 相原祐介, 中村太一(東京工科大)
- ソフトウェア工学教育用プロジェクトコース支援システムに関する研究 ~ 診断プロセス ~
○鈴木善晴, 高野佑一, 海谷治彦, 海尻賢二(信州大)
- ランダムに生成される数値パラメータをもった問題を用いた遠隔教育システム
○室谷佳紀, 上原 稔, 森 秀樹(東洋大), 酒井義文(東北大)

- 仮想実験環境のメタデータを用いた実験の半順序同定
○山根伸平, 國近秀信(九工大), 平嶋 宗(広島大), 竹内 章(九工大)
- マルチカメラからの動画像と BBS との関連付けによる双方向コミュニケーションシステムの提案
○駒井一喜, 清水宏章(同志社大), 新谷公朗(常磐会短大), 芳賀博英, 金田重郎(同志社大)
- アノテーションに基づく協調学習支援システムの実装について
○鄭 成, 杜 娟, 斎藤 一, 齋藤健司, 前田 隆(北海道情報大)
- グループ作業能力訓練のための共有仮想空間描画システムの試作
○船越誠人, 池田裕泰, 藤田欣也(農工大)
- 独立した複数組織の連携教育用 Web システム
○秋山雄亮, 大西莊一, 榊原道夫, 鶴 将幸, 村山真一, 青嶋 智(岡山理大)

学生セッション [3P 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

教育システム (2) 座長 石田 喬也(三菱)

- Java プログラミング初学者のためのテスト学習支援
○上河内頌之, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 非定型 Java 演習問題に対する自動採点システムの試作
○小河原直行, 山本富士男, 宮崎 剛(神奈川工科大)
- 初心者用プログラミング言語「ビギン」の開発
○平野恵一, 藤平祥吾, 二見瑞樹, 丸山真佐夫(木更津高専)
- プログラミング言語 e-learning システム Angels の構築
○石井和佳奈, 佐々木雅啓, 中川朝博, 辻 健史, 内海貴博, 澤田英敏, 高岡詠子(千歳科技大)
- 図面を利用したデータベースシステムの教育
○劉 程華, 飯倉道雄, 伊原征治郎, 林田 熙(日本工大)
- プラグインによる授業単位での機能拡張可能な授業支援システムの提案
○熱田智士, 松浦佐江子(芝浦工大)
- PCCS 色立体の 3 次元表示による配色学習支援
○木村美江(岩手県大)
- 個人の学習ペースを配慮した効率的自主学習システム
○長嶋純平(東京工科大), 中村亮太, 井上亮文(慶大), 市村 哲, 松下 温(東京工科大)
- マルチビュー検索提示機能をもつ生物分布学習支援ツール
○横野友紀, 曾我真人(和歌山大)
- e-Learning 環境下を想定した Readability 公式開発
○工藤良一, 宮崎佳典(静岡産大)

学生セッション [4P 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

教育支援 座長 中平 勝子(長岡技科大)

- プログラミングを通じた課題解決型グループ学習の検討と実践
○上野山智, 吉正健太郎, 高田秀志(京大), 上善恒雄(阪電通大), 酒井徹朗(京大)
- e ラーニング用学習者指向型知識セット自動抽出法に関する一提案
○松世栄寿(東海大)
- 学習塾向け授業単元選択アドバイス支援システム
○元木 要, 松浦佐江子(芝浦工大)
- シラバス文書からの情報抽出支援システムの試作
○渡辺将尚, 絹川博之(電機大), 芳鐘冬樹, 井田正明, 野澤孝之(大学評価・学位授与機構), 喜多 一(京大)
- ReKOS を用いた情報教育用コンポーネント構成型教材の開発
○谷野智章, 表 寛幸, 渡辺博芳(帝京大)
- 学習者映像への書き込みによる舞踊通信添削教材
○佐藤 健, 花邑裕斗, 松田浩一(岩手県大), 海賀孝明, 長瀬一男(わらび座デジタルアートファクトリー)
- 映像心理学に基づいた講義映像の最適提示法
○野島雄一(東京工科大), 中村亮太(慶大), 井上亮文, 市村 哲, 松下 温(東京工科大)
- TabletPC を用いた講義の細粒度な記録再生
○平川良太, 海尻賢二, 海谷治彦(信州大)
- 学習用 3D 二足歩行ロボットシミュレータの試作
○宇賀神匡孝, 中川秀一, 平山晴久, 神林 靖(日本工大)

学生セッション [5P 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

教育システム (3) 座長 福村 好美(長岡技科大)

- 1 「総合的な学習の時間」における興味抽出のための事前学習システムの構築
○谷井勇介, 阿部光敏, 安川直樹, 守屋和幸, 酒井徹朗(京大)
- 2 絵を用いた作問学習支援システムの開発
○森 哲也(九工大), 平嶋 宗(広島大), 竹内 章, 國近秀信(九工大)
- 3 幾何用 e ラーニング教材が論理的思考力の向上に及ぼす効果に関する実験的研究
○小松 令, 松永信介, 稲葉竹俊(東京工科大)
- 4 相互評価システムを利用した教科「情報」の授業実践
○吉田宏史(愛知教育大), 野田正幸(愛知教育大附属高校), 高橋岳之, 竹田尚彦(愛知教育大)
- 5 自動生成型誤用コーパスを利用した日本語学習用 e ラーニングシステムの開発
○林 彰英, 稲葉竹俊, 中野裕也(東京工科大)
- 6 (3P セッションに移動)
- 7 英作文支援システムの構築
○相原祐介, 石塚美佳, 丸山 広, 中村太一(東京工科大)
- 8 Web 上の素材を利用する英語トレーニングシステムの開発
○辻口真理子, 青柳龍也(津田塾大)
- 9 英語リーディングにおける行き詰まり検知のための学習状況把握支援システムの提案
○立川一生, 東 基衛(早大)

学生セッション [1V 会場] (3 月 2 日 (水) 13:15 ~ 15:15)

情報システムの社会への応用 座長 刀川 真(NTT データ)

- 1 地域バス路線における停留所の最適配置方法の研究
○泉田幸永, 池田哲夫(岩手県大)
- 2 住民向け次世代行政サービス提供システムの構築
○本田創大, 伊藤明代(岩手県大), 富田民則(日立), 塚本英雄(アイシーエス), 小笠原直樹(岩手県滝沢村), 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 3 中山間地における独居高齢者見守りネットワークの構築
○菅 美佳, 赤坂 豊, 斎藤建児, 米田多江, 小川晃子, 佐々木淳, 米本 清, 船生 豊(岩手県大)
- 4 大規模運用が可能な安否情報データベースシステム
○越後博之(岩手県大), 湯瀬裕昭(静岡県大), 干川剛史(大妻女子大), 高畑一夫(埼玉工大), 柴田義孝(岩手県大)
- 5 地震の細密度実震度予測システムの検討
- 操作機能及びユーザインタフェースの検討 -
○三田地道明, 深田秀実(岩手県大), 泉田 淳(FIC), 高山 毅(岩手県大), 山本英和(岩手大), 池田哲夫(岩手県大)
- 6 災害発生時における web を用いた情報収集配信システムに関する検討
○鈴木雄太, 加藤誠巳(上智大)
- 7 分散処理環境における洪水シミュレーターの一実現方法
○谷川昌也, 高橋友一(名城大)
- 8 公開地図データにおける建物の自動生成方法
○高橋寛典, 谷川昌也, 高橋友一(名城大)

学生セッション [2V 会場] (3 月 2 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

医療画像処理 座長 井宮 淳(千葉大)

- 1 3 次元医用画像における剛体的位置合わせ処理の評価関数への影響
○加藤公德, 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)
- 2 3 次元医用画像の融合における 3 次元フィルタの設計
- MR と PET の画像の 3 次元融合手法 -
○松尾成浩, 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和, 岡沢秀彦, 米倉義晴(福井大)
- 3 複数のモダリティによる脳画像重層表示方式の提案
○三浦哲矢, 望月孝夫, 藤村大紀, 斎 洋佑, 土井章男(岩手県大)
- 4 共焦点レーザ顕微鏡画像からの脳神経の三次元形態解析
○佐藤康平, 青木義満(芝浦工大), 俣賀宣子, Takao K Hensch(理研)
- 5 オプティカルフローによる内視鏡の奥行き検出
○藤田 梢, 濫澤貴裕, 福井幸男(筑波大)
- 6 局所移動補正 DSA 画像の画質改善
○韓 旭, 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)

学生セッション [3V 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

情報システムの構築 座長 富澤 眞樹(前橋工科大)

- 1 Augmented Library における CCD カメラを用いた書籍認識と書籍データベースの自動更新
○新木英明, 寺本晋輔, 吉田 誠, 小島哲平, 芳賀博英(同志社大)
- 2 Augmented Library における書籍の位置情報の物理的可視化と携帯電話を用いた書棚への誘導
○坂下浩理, 寺本晋輔, 高橋 章, 斗谷有希, 芳賀博英(同志社大)
- 3 車椅子利用者コミュニティ支援のための地域情報基盤システムの機能検証のための実験(1)
○北城修平, 遠藤哲重, 相場 亮, 桑田 仁(芝浦工大), 新田克己, 山本浩司(東工大)
- 4 車椅子利用者コミュニティ支援のための地域情報基盤システムの機能検証のための実験(2)
○遠藤哲重, 北城修平, 相場 亮, 桑田 仁(芝浦工大), 新田克己, 山本浩司(東工大)
- 5 無線 IC タグによる実世界の位置情報を考慮した図書管理システム
○中瀬良和(芝浦工大)
- 6 学校間交流のための電子観察日誌システムの提案
○高瀬明浩, 佐々木淳, 米田多江, 船生 豊(岩手県大)
- 7 ユビキタスな栄養情報取得手段を用いた栄養バランスの分析システム
○高見英悟(電通大)
- 8 3 次元仮想空間を利用した商品陳列支援
○山下和也, 田部井俊彦, 伊藤小琴, 前川仁孝, 伊與田光宏(千葉工大)
- 9 博物館ガイドシステム「Go!Go!ガイド」の開発と運用に関する研究
○中川千種, 守屋和幸, 酒井徹郎, 大野照文(京大)

学生セッション [4V 会場] (3 月 3 日 (木) 14:30 ~ 17:00)

情報システムの分析・設計・運用 座長 中挾知延子(東洋大)

- 1 アジャイル型開発における Web アプリケーション用ドキュメンテーション手法の提案
○下向宏昌, 矢野日高, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 2 ビジネスプロセスモデルから実行可能なプラットホームに依存しない UML のモデルに変換する手法の提案と検証
○波山智宏, 池田鈴太郎, 石原 純, 木村英明, 高橋 誠, 山本洋平, 片岡信弘(東海大)
- 3 複雑なシステム連携を容易に開発するシステム設計方式の提案
○大澤貴彦, 片岡信弘(東海大)
- 4 Web Services to Manage a Supply Chain Business System
○布金エン, 辻 秀一(東海大)
- 5 物品に貼付された RFID ラベルを利用した情報共有システム
○徳永和仁, 加藤誠巳(上智大)
- 6 ヘルプデスクの顧客サポート効率化に関する一提案
○黒田和男, 瀧本健太郎, 金久保正明, 菱沼千明(東京工科大)
- 7 ラーニングテクノロジー活用授業を支援する学生参加型支援システムの構築
○鈴木 崇, 渡辺博芳, 武井恵雄, 高井久美子, 及川芳恵(帝京大)
- 8 教育機関におけるネットワーク管理のあり方の検討
- IT 資産総合管理システム NetKEEPERPro の検証 -
○松岡勇樹, 水越友之, 大塚達司(帝京大), 吉田宏志(シンセベース), 武井恵雄(帝京大)
- 9 ログ情報およびヘッダー情報を用いたインストールソフトウェア判別法の開発
○佐藤 充, 石沢千佳子, 西田 眞(秋田大)

学生セッション [5V 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

意思決定支援システム 座長 伊東 俊彦(愛知淑徳大)

- 1 映像の視聴が距離感覚と移動する意思に与える影響の検討
○太田宏佑, 有澤 誠(慶大)
- 2 (6E セッションに移動)
- 3 マルチエージェントによるテーマパークでの混雑情報とファストパスの効果に関する検討
○刀根哲也, 小原和博(千葉工大)
- 4 自己組織化マップと AHP を用いた商品購入の意思決定支援
○磯前 守, 小原和博(千葉工大)
- 5 集団意思決定ストレス区間値法を用いた ANP による集団の合意形成
○比嘉希和乃, 姜 東植, 宮城隼夫(琉球大)

- 6 blogを用いたWebマーケティングの信頼性評価に関する基礎的研究
○上原加奈子, 吉田博哉, 田中成典, 古田 均(関西大)
- 7 新規商品の発注予測支援システム
○鈴木 智, 野地 保, 木下善皓, 小野田誠(東海大)
- 8 嗜好を考慮した商品検索手法の提案
○総三 望, 阿部武彦(金沢工大), 木村春彦(金沢大)
- 9 個人のニーズに特化したWeb情報の自動収集提供システムに関する検討
○増田雄紀(上智大), 加藤誠巳

学生セッション [6V会場] (3月4日(金) 14:30～17:00)

医療情報処理 座長 山口 高平(慶大)

- 1 論理回帰分析法によるfMRIデータの解析
○岡本智幸, 月本 洋, 竹迫信宏, 森田晋一郎(電機大)
- 2 ブロードバンド通信網を活用した遠隔医療システムの実装と評価
○佐々木聡, 安孫子忠彦, 小山明夫(山形大), 成田徳雄(米沢市立病院)
- 3 決定木とベイジアンネットと自己組織化マップの医療診断問題への適用
○青木克佳, 小原和博(千葉工大)
- 4 PDAを用いた在宅医療支援のための医療従事者間情報共有システム
○本山由利菜, 吉野 孝(和歌山大), 紀平為子, 入江真行(和歌山医大)
- 5 診療の均一化を目的とする診療支援システムの提案
○木下善皓, 野地 保(東海大)
- 6 データマイニング手法を用いた投薬ヒヤリハット事例解析
○高橋雄太, 木村昌臣, 大倉典子(芝浦工大),
土屋文人(東京医科歯科大病院)

(特別トラック (1) バイオ情報学)

特別トラック (1) [2TT1 (第2イベント) 会場] (3月2日(水) 15:30～17:00)

バイオ情報学 座長 小長谷明彦(理研)

- 1 生体高分子の表面積・体積・溶媒和自由エネルギーの
高速計算アルゴリズム ○升屋正人(鹿児島大)
- 2 (講演取消)
- 3 文献からの蛋白質機能部位情報抽出支援システム PROFESS
○兼田佳和, 沼 雅之, Munna Md. Ahaduzzaman,
櫻井洋平, 大川剛直(阪大)

(特別トラック (2) 経営に貢献する IT)

特別トラック (2) [5TT2会場] (3月4日(金) 9:30～12:00)

方法論 座長 坂下 善彦(湘南工科大)

- 1 新興市場と成熟市場における製品ライフサイクルの分析
○藤原香織, 小出昭夫(日本IBM)
- 2 生産スケジューリング業務のためのガントチャートインタフェースシステム
○藤村 茂, 禹 棋允(早大)
- 3 (講演取消)
- 4 意思決定モデルを用いた効率的なビジネスモデリング手法
○西澤 実, 位野木万里, 吉田和樹(東芝ソリューション)
- 5 Enterprise Architecture Decision-Making Process: Dealing with Uncertainty
○Utako Tanigawa(Nova Southeastern University)

特別トラック (2) [6TT2会場] (3月4日(金) 15:20～17:20)

システム事例 座長 辻 秀一(東海大)

- 1 顧客の嗜好に合わせた商品のリコメンデーションシステムの提案
○石野正彦, 市川照久, 八巻直一(静岡大)
- 2 大学経営における大学評価システムの活用
○田中省作, 関 隆宏, 石野 明,
金丸玲子, 杉本典子, 竹田正幸, 廣川佐千男(九大)
- 3 三菱汎用ワークフローシステム MELDandy の開発と全社展開
○高杉秀樹, 忠内 康, 大川 勉, 岡崎隆夫(三菱)
- 4 AFAIS:効果的情報システム構築の一方法
○今野良彦, 武田翔子, 鎌田沙耶香, 樺 慶子, 宇都宮公訓(筑波大)

(特別トラック (3) システム検証技術 - その可能性・方向性)

特別トラック (3) [1TT3 (第3イベント) 会場] (3月2日(水) 14:30～16:00)

システム検証応用 座長 櫻田 英樹(NTT)

- 1 広域ネットシステムへのソフト配信検証および総合試験での
検証ポイント見直し
○北村和彦(アルファテック・ソリューションズ)
- 2 鉄道信号システムのモデル検査による検証(I)-連動図表の検証 -
○大神茂之, 清水 亮, 越村三幸(九大),
川村 正(三菱), 藤田 博, 長谷川隆三(九大)
- 3 鉄道信号システムのモデル検査による検証(II)-連動装置の検証 -
○清水 亮, 大神茂之, 越村三幸(九大),
川村 正(三菱), 藤田 博, 長谷川隆三(九大)

第67回全国大会委員名簿

第67回全国大会組織委員会

委員長 松田 晃一 (NTTアドバンステクノロジー) 副委員長 湯淺 太一 (京大)
委員 植村 俊亮 (奈良先端大), 寛 捷彦 (早大), 菊池 純男 (日立), 佐々木 良一 (電機大), 下條 真司 (阪大),
竹内 郁雄 (電通大), 田中 穂積 (東工大), 萩谷 昌己 (東大), 増井 俊之 (産総研)

第67回全国大会プログラム委員会

委員長 竹内 郁雄 (電通大)
委員 安藤 利光 (日立), 岩崎 英哉 (電通大), 上野 浩一郎 (三菱), 加納 健 (NEC), 櫻田 英樹 (NTT),
清水 尚彦 (東海大), 田中 穂積 (東工大), 平原 正樹 (NICT), 廣安 知之 (同志社大), 望月 久稔 (大阪教育大),
森 辰則 (横浜国大), 森岡 澄夫 (ソニー), 山田 敬嗣 (NEC), 湯淺 太一 (京大), 渡辺 創 (産総研)

第67回全国大会現地実行委員会

委員長 岩崎 英哉 (電通大)
委員 赤池 英夫 (電通大), 河野 健二 (電通大), 小林 聡 (電通大), 鈴木 貢 (電通大), 武永 康彦 (電通大),
楯岡 孝道 (電通大), 中山 泰一 (電通大), 林 貴宏 (電通大)

第67回全国大会プログラム編成WG

委員長 竹内 郁雄 (電通大)
委員 天野 英晴 (慶大), 安崎 篤郎 (日立), 一井 信吾 (東大), 今井 亨 (NHK放送技研), 大木 幹雄 (日本工大),
片山 薫 (都立大), 木原 民雄 (NTTレゾナント), 串田 高幸 (日本IBM), 香山 健太郎 (NICT), 斉藤 健 (東芝),
渋谷 哲朗 (東大), 杉本 晃宏 (国立情報学研), 高汐 一紀 (慶大), 高村 誠之 (NTT), 但馬 康宏 (農工大),
土屋 英亮 (電通大), 中田 潤也 (北陸先端大), 中平 勝子 (長岡技科大), 中村 文隆 (東大),
永吉 功 (メディアグレー), 西岡 大祐 (日立), 新田 祐介 (ルネサステクノロジ), 樋山 淳雄 (学芸大),
原田 隆史 (慶大), 平原 正樹 (NICT), 堀内 浩規 (KDDI研), 松岡 裕人 (NTT), 松永 賢次 (専修大),
森 辰則 (横浜国大), 屋代 智之 (千葉工大), 脇田 建 (東工大), 渡辺 創 (産総研), 渡邊 裕治 (日本IBM)

第67回全国大会 イベント企画協力

- TT1. 特別トラック (1) : バイオ情報学
加納 健 (NEC), 小長谷 明彦 (理研)
- TT2. 特別トラック (2) : 経営に貢献するIT
上野 浩一郎 (三菱)
- TT3. 特別トラック (3) : システム検証技術—その可能性・方向性
櫻田 英樹 (NTT)
- TS1. 特別セッション (1) : 情報系21世紀COEの現在と今後の展望
森 辰則 (横浜国大)
- TS2. 特別セッション (2) : これからはプロセッサはいらない?
森岡 澄夫 (ソニー)
- TS3. 特別セッション (3) : 情報漏洩対策
林 淑隆 (キヤノンシステムソリューションズ), 望月 久稔 (大阪教育大)
- TS4. 特別セッション (4) : 平成18年度 教科『情報』入学試験シンポジウム
城 和貴 (奈良女子大), 中條 拓伯 (農工大), 中森 真理雄 (農工大), 廣安 知之 (同志社大),
古瀬 慶博 (三菱スペース・ソフトウェア)
- TS5. 特別セッション (5) : 組込みシステム産業の将来とそれを支える技術者の育成
清水 尚彦 (東海大), 猪狩 秀夫 (IPA), 渡辺 登 (IPA)
- TS6. 特別セッション (6) : 温故知新
竹内 郁雄 (電通大)
- シンポジウム: 高度IT技術者の育成と産業界からの期待
アクレディテーション委員会 掛下 哲郎 (佐賀大)
- 研究会企画: 研究会の新分野開拓シンポジウム
調査研究運営委員会 萩谷 昌己 (東大)
- 標準化セッション (1) : ISO/IEC JTC1/SC25 情報機器間の相互接続に関する国際標準化の動向
情報企画調査会 SC25専門委員会 佐藤 和弘 (NTT東日本)
- 標準化セッション (2) : ISO/IEC JTC1/SC32における「データの管理と交換」標準化活動の紹介
情報企画調査会 SC32専門委員会 堀内 一 (東京国際大)

今大会では、電気通信大学様に会場を無償でご提供頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。